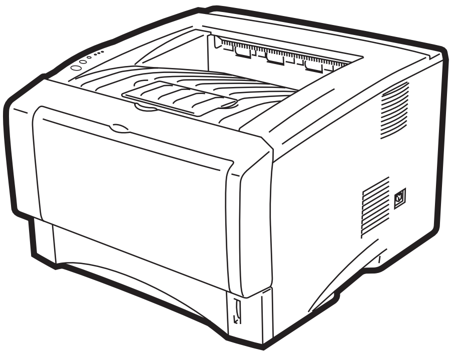
本書をよくお読みになって、製品をご利用ください。

レーザープリンタ

HL-5040/HL-5070DN

取扱説明書

やりたいこと目次
やりたいこと別の目次があります。



お客様相談窓口 052-824-3378

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、
上記のダイヤルにお気軽にお申し付けください。
■受付時間／9：00～12：00・13：00～17：00
■営 業 日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

● 本書およびCD-ROMは大切に保管してください。

Version5

マニュアルの種類のご案内

本機を正しくお使いいただくため、また幅広く活用していただくため、次のマニュアルを用意しています。
本機をお使いになる前に必ずお読みください。

クイックセットアップガイド

本機の設置、プリンタドライバやソフトウェアのインストール方法など、本体をセットアップするために必要な情報を記載しています。
本書をお読みになる前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

HL-5040/5070DNの取扱説明書です。
本機の基本的な機能の説明、トレイや用紙ごとの印刷方法、オプションの追加や本機のメンテナンスについて説明しています。
また、紙づまりの解決方法などのトラブルシューティングも記載していますので、トラブルの原因や対処方法を調べたいときにお読みください。

ネットワーク取扱説明書（HL-5070DNユーザー用）

ネットワーク上で本機を使用して印刷するときに必要な情報について説明しています。
ネットワーク環境の基本的な説明から、ブラザープリントサーバーの設定方法、プロトコルの追加方法などについて記載しています。手順に従って設定してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/jp/printer/recycle/index.html

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI規格

この装置は、情報処理設置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス1レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高周波

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機および類似の機器の高周波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

SERVICE EXPRESS
ブラザー サービス エクスプレス

プリンタ　1年間無償保証

ブラザープリンタは下記のアフターサービスメニューをご用意致しております。

故障かな？と思ったら．．．

STEP 1

まずは、本書のトラブルシューティングをお読みください。
接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

STEP 2

それでも異常があるときは
コールセンターへお電話ください。

E-mailでのお問い合わせ：http://www.brother.co.jp/jp/mail_service_id/index.html
TEL　：052-824-3378
FAX　：052-819-5904

STEP 3

48時間以内に、貸出機を発送。*1,*2,*3（修理が必要と判断された場合のみ）
*1　一部地域を除く
*2　整備した機械（トナー、ドラム、電源コードなど付属品付）
*3　消耗品は除く

STEP 4

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便による故障機の回収を手配。
引き取り料は無料。お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不用です。
お客様の機械の修理を行った上でご返却いたします。貸出機に同梱の着払い伝票でお送りください。

ブラザーサービスパック

1年間の無償保証期間“Service Express”に加え、さらに充実した保守サービスメニューをご用意しております。（有料）

サービスパック

製品購入と同時に購入して頂けるサービスプログラムです。
2年もしくは3年間の長期保証契約ですので、割安にサービスを受けられるメリットがあります。

年間保守サービス

製品ご購入後、いつでもご契約できる1年単位のサービスプログラムです。

※各保守契約については、［出張修理］か［引取修理］を選択していただけます。
※年間保守サービスは、製品購入後3年以内かつ当社基準に適合した製品であることが条件になります。

・上記2つの保守契約には、技術料／部品代が含まれます。
・出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。出張修理契約には、出張料が含まれております。
・引取修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取修理契約には、送料も含まれております。
・サービス提供時間：月～金（除く祝祭日、弊社休業日）9:00～17:00

各保守契約についての料金体系・サービス内容の詳細は、下記の窓口へお問い合わせください。
TEL : 052-824-3253
http://www.brother-hanbai.co.jp/brother_support/index.html

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様お問い合わせ窓口】

お客様相談窓口	TEL：052-824-3378
受付時間	午前 9：00 ～ 12：00
	午後 1：00 ～ 5：00
営業日	月曜日～土曜日

（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）

【消耗品のご注文窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒 467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL：（052）824-3410
FAX：（052）825-0311
インターネット：**http://www.brother.co.jp/direct/**

- 消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAX にてご注文いただく場合は、「ご注文シート」を印刷してご活用ください。
- トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をお使いください。当社指定以外の品物をお使いいただくと、故障の原因になります。
  純正品のブラザートナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。
- 本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。
  海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
- These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.
- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造締め切り後 5 年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- Brother Solution Center（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp**）では、最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをダウンロードすることができます。また、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しております。ぜひご利用ください。

brother

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1

ご注文シート

- 消耗品はお近くの家電量販店でもお取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAX によるご注文も承っております。
- FAX にてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上の場合は全国無料です。
  5,000 円未満の場合は 500 円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

＜代引き＞　・・・・ご注文後 **2** ～ **3** 営業日後の商品発送
※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。
＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・ご入金確認後 **2** ～ **3** 営業日後の商品発送
※　代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振込みください。)
※　振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞　・・・・カード番号確認後 **2** ～ **3** 営業日後の商品発送
※　カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの発送とさせて頂きます。

【ご注文先】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
インターネット　：http://www.brother.co.jp/direct/
FAX　：052-825-0311
フリーダイヤル　：0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 17 時）
振込先　：口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357
郵便：振り込み番号　00860-1-27600

お客様ご住所〒

お名前　TEL　FAX

お支払い方法　銀行前振込・郵便前振込・代引き・カード

カード種類　① VISA　② JCB　③ UC　④ DINERS　⑤ CF　⑥ Master　⑦ JACCS

カード No.

カード名義人名　有効期限　年　月

HL-5040/5070DN

商品名	コード	単価 (税込)	ご注文数	金額
トナーカートリッジ（6500 枚 A4/5%印字時）	TN-36J	13,650 円		
トナーカートリッジ（3300 枚 A4/5%印字時）	TN-33J	8,085 円		
ドラムユニット	DR-30J	21,000 円		
ローワートレイユニット	LT-5000	26,250 円		
配送料および消費税は変わる可能性があります。(消費税：2004 年 2 月現在)			合計	

●ブラザーサービスパック・年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧下さい。

必要な場合は恐れ入りますが、コピーを取ってお使い下さい。

安全にお使いいただくために

お使いになる前の注意事項

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水に濡らしてはいけません		火気に近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		
	特定しない危険通告		感電の危険があります		火災の危険があります		火傷の危険があります

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口 052-824-3378 へご連絡ください。
- 取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはダイレクトクラブへ申し出ていただければ購入できます。

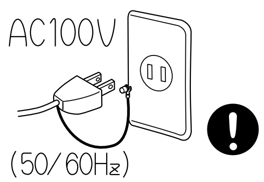
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

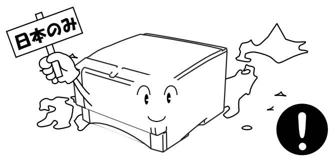
火災や感電、やけどの原因になります。

警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。



国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

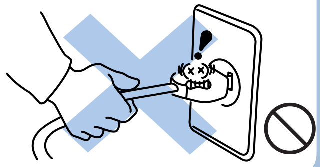


ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

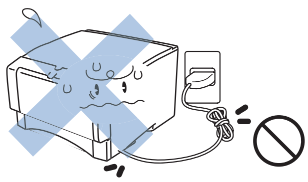
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

警告

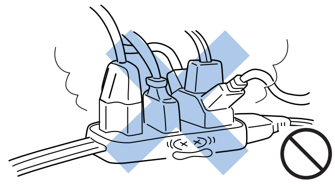
電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。



電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、束ねたりしないでください。



タコ足配線はしないでください。

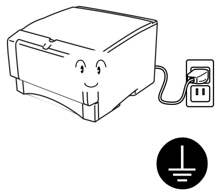


保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

必ず接地接続をしてください
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース線を接地してください。
接地接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外すときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。

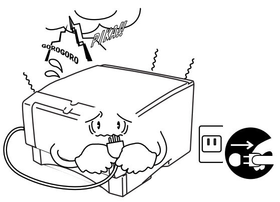
接地するところ
例）
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
・設置工事（第 3 種）が行われている設置端子

絶対に接地してはいけないところ
例）
・電話専用アース線
・避雷針

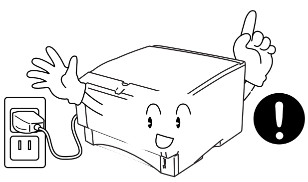


注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。



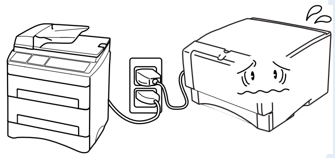
電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。



同梱されている電源コードセットは本製品専用です。本製品以外には使用しないで下さい。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットを本製品に使用しないで下さい。

お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などと同じ電源は

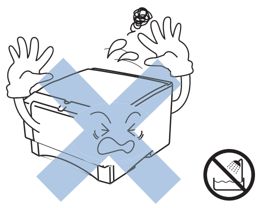


このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

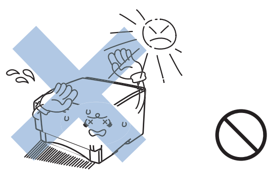
警告

湿度の高い場所
ふろ場や加湿器のそばなどに置かないでください。

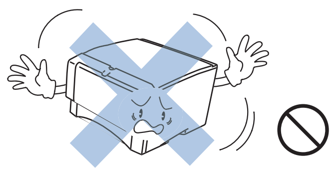


注意

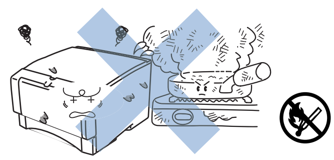
温度の高い場所
直射日光の当たるところ、暖房設備のそばなど



不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

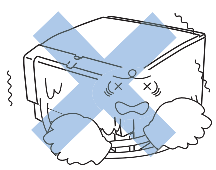


油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

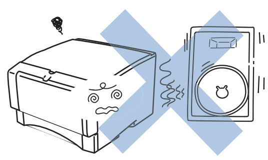


お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など



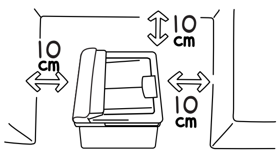
磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど



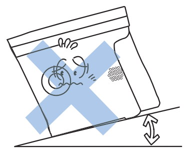
高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80％
（結露なし）

お願い

壁のそば
本体を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。



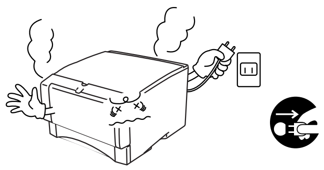
◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所
（クーラー、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上

もしもこんなときには

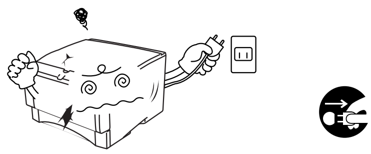
下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

警告

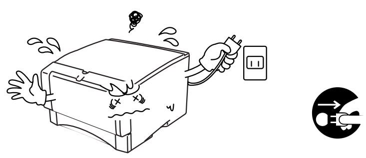
煙が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



本機を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



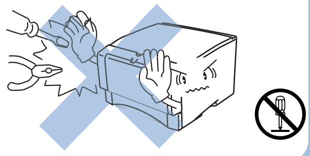
内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

その他のご注意

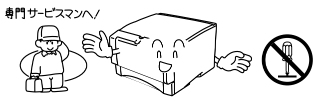
故障や火災、感電、けがの原因となります。

警告

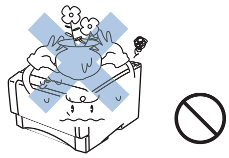
分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。



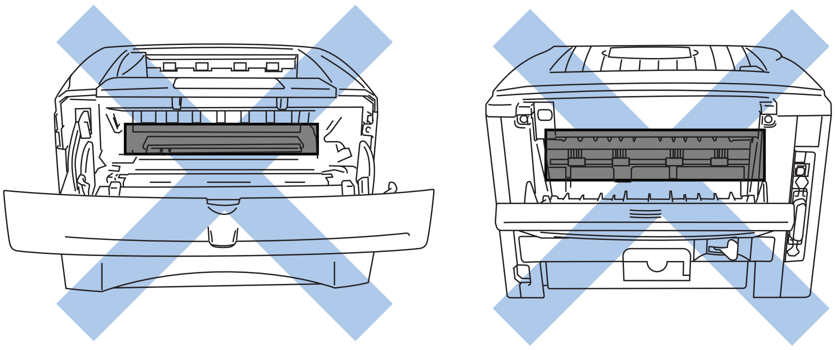
改造しないでください。
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。



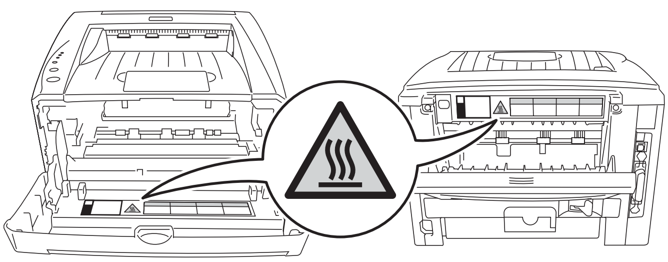
本機の上に水、薬品などを置かないでください。



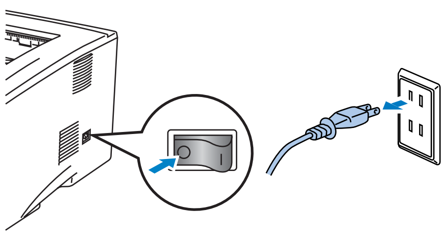
本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。



本機は下図のような警告ラベルが表示されています。各警告ラベルの内容を十分に理解し、記載事項を守って作業を行ってください。また、警告ラベルがはがれたり、傷ついたりしないように十分に注意してください。。

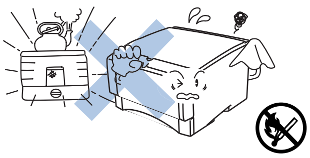


本機の内部には、電圧の高いものがあります。本機のクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

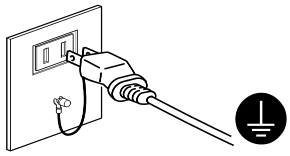


注意

火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。



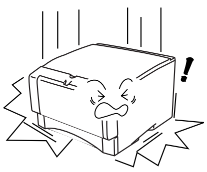
アース線について
万一漏電した場合の感電防止や外部から雷などの電圧がかかったときに本機を守るため、アース線を取り付けてください。



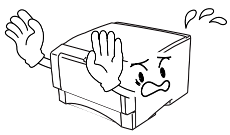
- クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性液体を使用すると、本機の表面が損傷を受けます。
- アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。本機とトナーカートリッジが損傷を受けます。

お願い

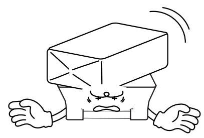
落下、衝撃を与えないでください。



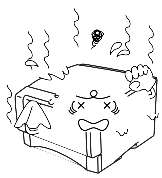
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



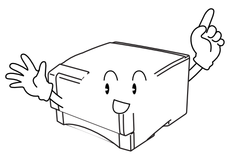
本機の上に重い物を置かないでください。



室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露する恐れがあります。



指定以外の部品は使用しないでください。

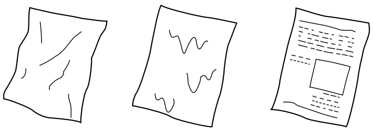


本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

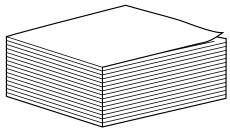
用紙について

お願い

使用する用紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、多湿を避けてください。



やりたいこと目次

普通紙に
印刷したい。
P.2-41

ハガキに
印刷したい。
様
P.2-49

手差しトレイ
(HL-5040)
から印刷したい。
P.2-44

多目的トレイ
(HL-5070DN)
から印刷したい。
P.2-46

封筒に
印刷したい。
様
P.2-58

複数ページを
1枚にまとめて
印刷したい。
1
2
3
4
P.2-84

両面
印刷したい。
P.2-75

用紙サイズを
変えて拡大縮小
印刷したい。
A
A
P.2-86

目　次

本書の読みかた

本書のレイアウトについて

参照ページです。
クリックすると、関連する情報が記載されているページに移動します。

大見出しです。

小見出しです。

注意項目です。

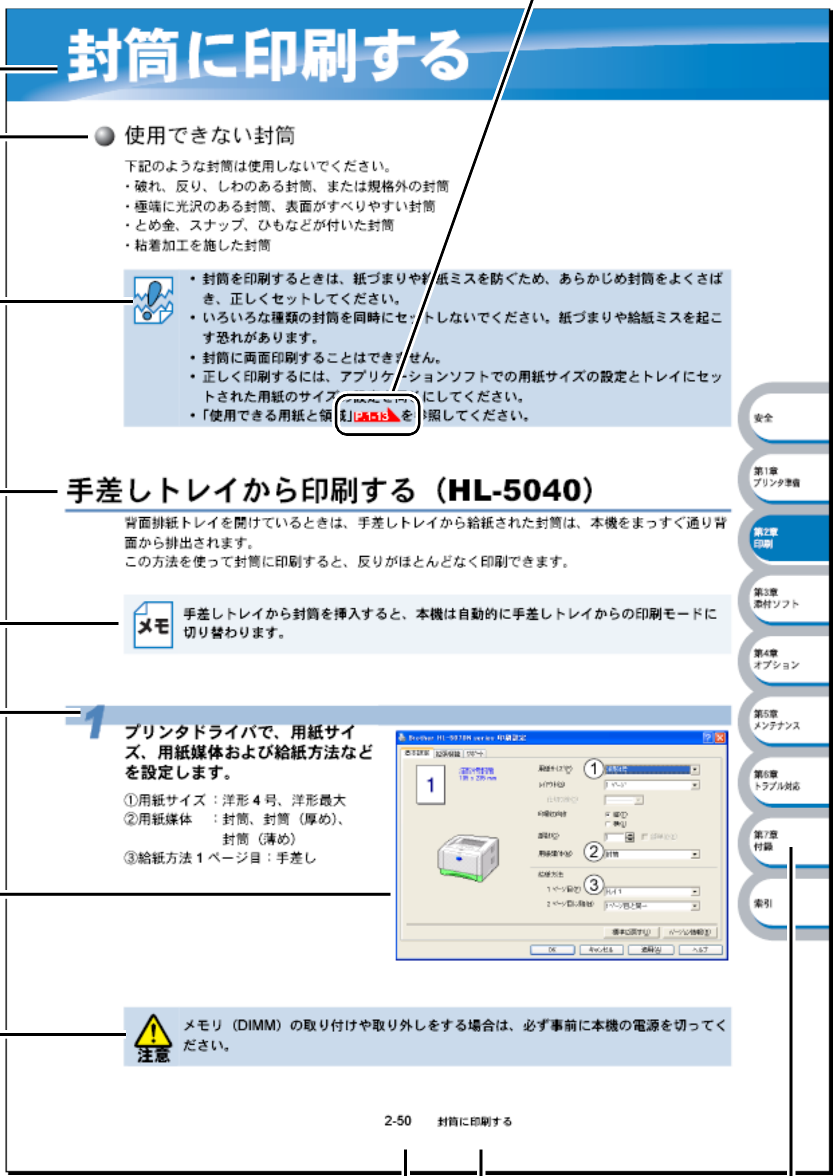
中見出しです。

メモです。

操作手順です。

操作手順を補足する手順画面やイラストです。

警告や注意です。ここに記載されている事項を遵守しない場合、製品の故障につながる恐れがあります。



大見出しを示します。

ページ番号です。

インデックスです。
現在の章を青色で示します。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

本書で使われている記号やマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本機をお使いになるにあたって、厳守していただきたいことがらを説明しています。
	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
メモ	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

Brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows®95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中では Windows NT® と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh®、Mac OS® は、アップルコンピュータ社の登録商標です。また TrueType は同社の商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Photoshop および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
エネルギースターは米国における登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

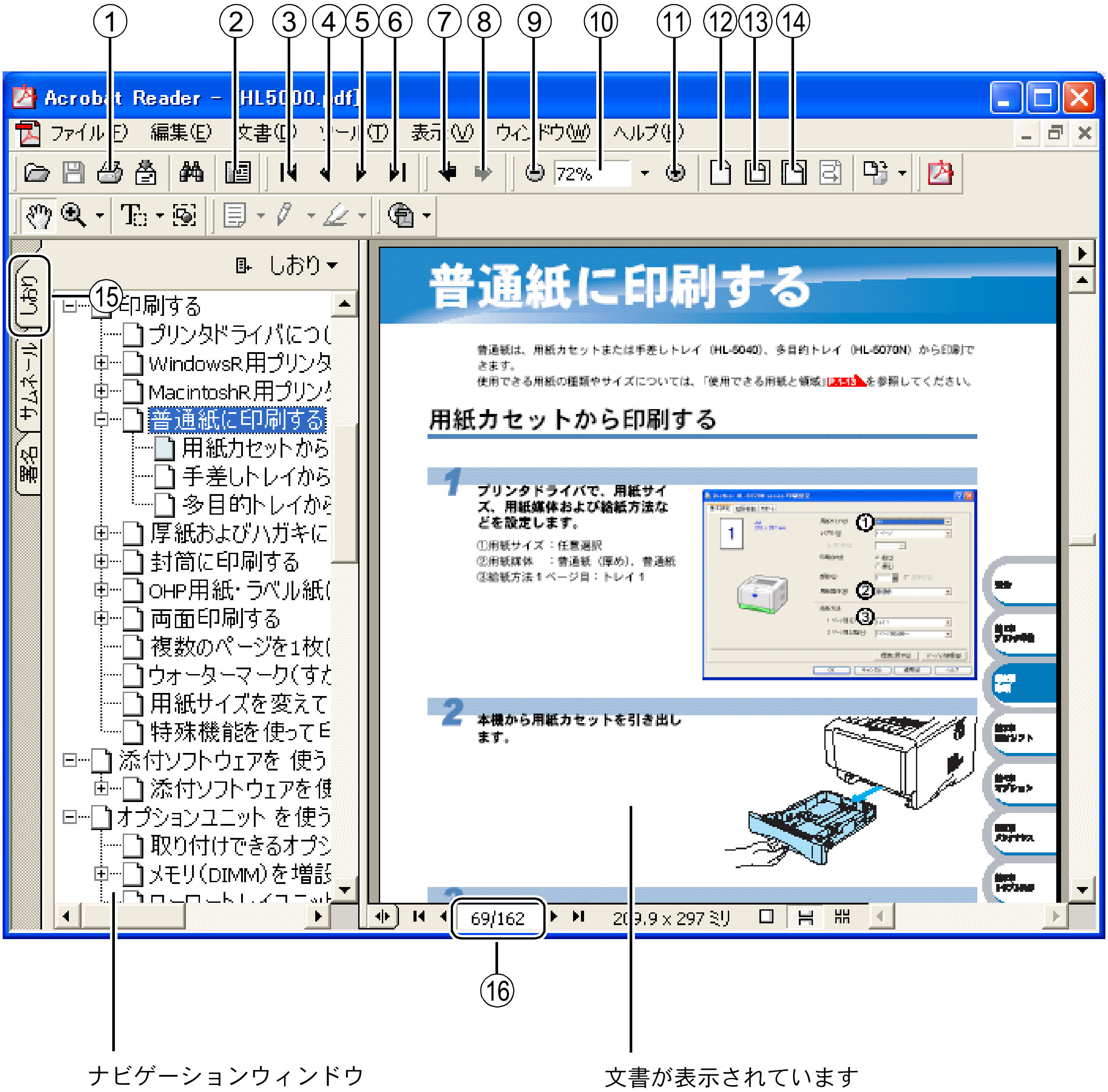
編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

Acrobat® 簡単な機能・便利な機能

本書をお読みになるときに、知っておくと便利な Acrobat® Reader の基本機能について説明します。

Acrobat® Reader の基本機能



安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

	機能名称	説　明
①	印刷	開いている文書を印刷します。 本書は分割された PDF です。「すべてのページ」を選択して印刷した場合は、章単位で印刷されます。
②	ナビゲーションウィンドウの表示 / 非表示	「ナビゲーションウィンドウ」の表示 / 非表示を切り替えます。
③	最初のページ	開いている文書の最初のページを表示します。
④	前ページ	前ページを表示します。
⑤	次ページ	次ページを表示します。
⑥	最後のページ	開いている文書の最後のページを表示します。
⑦	前の画面	ページを移動したり、表示倍率を切り替えたときなど、それまで見てきた文書表示を 1 操作単位で逆に戻ります。
⑧	次の画面	「⑦前の画面」で戻った文書の画面を 1 操作単位で次に進んで表示します。
⑨	ズームアウト	クリックするごとに、文書を縮小表示します。
⑩	倍率ボックス	任意の倍率を数値入力して、文書を拡大 / 縮小表示します。▼をクリックして表示されたメニューから選択して、拡大 / 縮小表示することもできます。
⑪	ズームイン	クリックするごとに、文書を拡大表示します。
⑫	実際の大きさ	文書の実際の大きさで表示します。
⑬	全体表示	ページ全体を表示できる大きさで、画面に表示します。
⑭	幅に合わせる	画面幅いっぱいに文書の横幅を合わせて表示します。
⑮	しおり	「ナビゲーションウィンドウ」を表示している場合、［しおり］タブでしおりを表示できます。階層表示されている見出しをクリックすると、該当ページに移動します。
⑯	ページ番号ボックス	“現在のページ / 総ページ”の形式で、現在何ページ目を表示しているかを示しています。表示したいページ番号を数値入力して、表示することもできます。

メモ

Acrobat® Reader 5.0 または Acrobat® 5.0 をお使いの方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。

① PDF を開きます。

② ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］を選択します。
（Acrobat 5.0 の場合は、ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］－［一般］を選択します。）

③ 画面右側の項目から［表示］を選択します。

④［スムージング］の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。

⑤［OK］をクリックします。

第1章

プリンタをお使いになる前に

本製品の機能と特長

高速 18 枚 / 分の印刷速度

ハイスピードなプリンティングを実現する 18PPM エンジンと、スムーズなデータ処理を実現する高速 RISC チップを搭載しています。
部数の多いドキュメント出力の場合や、複数の人が使用する状況、効率化が求められる現場でも、快適なプリントアウトを実現できます。

高品質なドキュメント作成

高解像度 2400dpi × 600dpi（HQ1200）により、細かい文字や罫線もくっきりと、写真のリアルな質感も繊細、かつ豊かにプリントアウトできます。写真やグラフィックスを多用したプレゼン資料でも、美しさが際立つ高性能を実現しましたので、ドキュメントの説得力に差を付けることができます。

Hi-Speed USB2.0/ パラレルインターフェース標準装備

パラレルインターフェース、USB インターフェースに加え、データの高速通信が可能な Hi-Speed USB2.0 にも対応しています。パソコンの電源が入ったままでも USB ケーブルの抜き差しが可能なため、簡単かつ便利にパソコンと接続できます。さらにインターフェース自動切替により、複数のパソコンでの共有も容易です。

大容量 250 枚のカセット給紙

普通紙 250 枚セットが可能な用紙カセットを標準装備しています。さらにオプションのローワートレイユニット（LT-5000）（250 枚）をセカンドカセットとして装着することができます。

ランニングコストを節約する分離型カートリッジを採用

経済的な設計のトナーとドラムの分離型カートリッジを採用しています。トナーのみの交換ができるため無駄がなく、約 6,500 枚（TN-36J）または約 3,300 枚（TN-33J）印刷可能なトナーによって交換時 2 円／枚（A4 サイズで 5％印字時）という低ランニングコストを実現します。

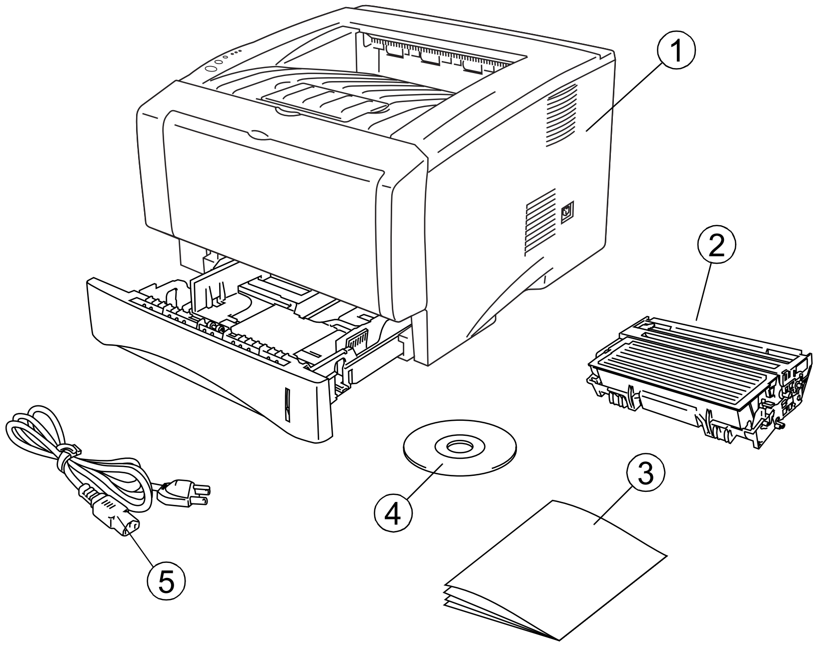
多様なネットワーク環境に対応（HL-5070DN のみ）

高速大容量転送を実現する 10BASE-T/100BASE-TX イーサネットをサポートし、Windows®、NetWare や Macintosh® などさまざまなネットワーク環境に対応するネットワークボードを標準装備しています。さらに Windows® ではピアツーピア印刷にも対応しており、簡単にネットワーク印刷を実現できます。

梱包内容の確認

同梱物

本機を箱から取り出したら、最初に以下の同梱物があることを確認してください。



① プリンタ本体
② ドラムユニット（トナーカートリッジ含む）
③ 印刷物
- クイックセットアップガイド他

④ CD-ROM
⑤ 電源コード

インターフェースケーブル

インターフェースケーブルは標準添付品ではありません。
パソコンによっては USB ポートとパラレルポートの両方を備えているものがあります。ご使用になるインターフェースに適したケーブルをお近くの販売店でご購入ください。

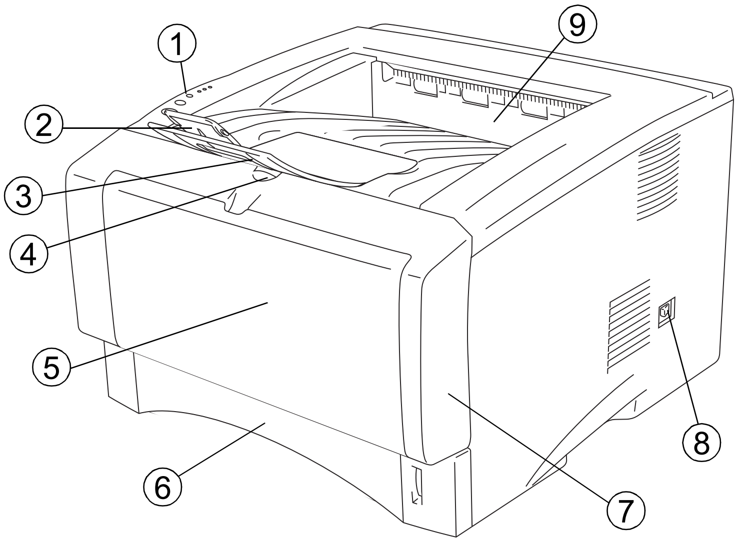
パラレルインターフェースをご使用になる場合
- プリンタの機能を最大限に引き出すため、IEEE1284 のパラレルケーブルをお使いいただくことをお勧めします。
- 2 メートルを超えるパラレルケーブルは使用しないことをお勧めします。

USB ケーブルをご使用になる場合
- USB2.0 認証ロゴが付いたケーブルを使用し、ご使用のパソコンの USB ポートに接続してください。
- パソコンの前面や iMac のキーボードにある USB ポートには接続しないでください。
- 2 メートルを超える USB ケーブルは使用しないことをお勧めします。

本体各部の名称

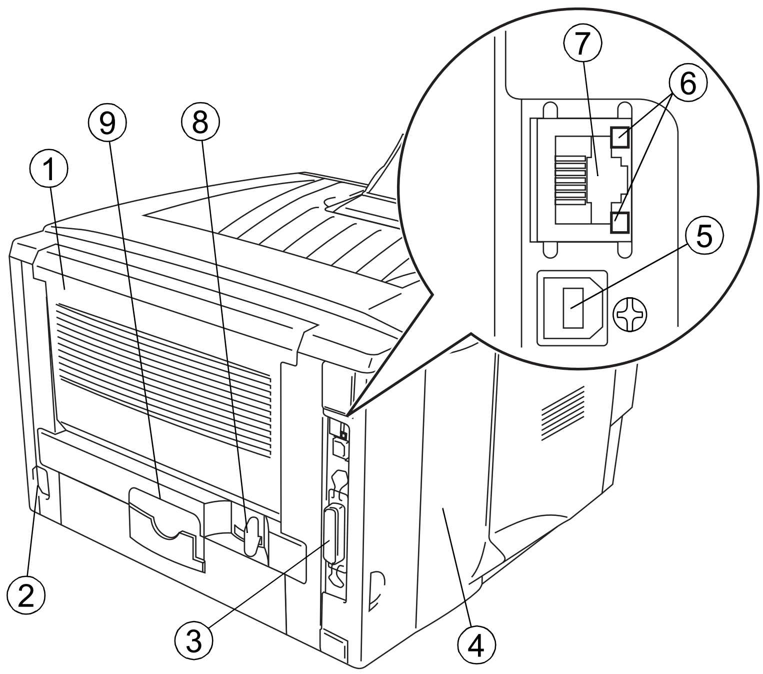
メモ　下記のイラストは、HL-5070DN をもとに説明しています。

前面



① コントロールパネル
② 補助用紙ストッパー
③ 用紙ストッパー
④ フロントカバーボタン
⑤ 手差しトレイ（HL-5040）
　多目的トレイ（HL-5070DN）
⑥ 用紙カセット
⑦ フロントカバー
⑧ 電源スイッチ
⑨ 上面排紙トレイ

背面

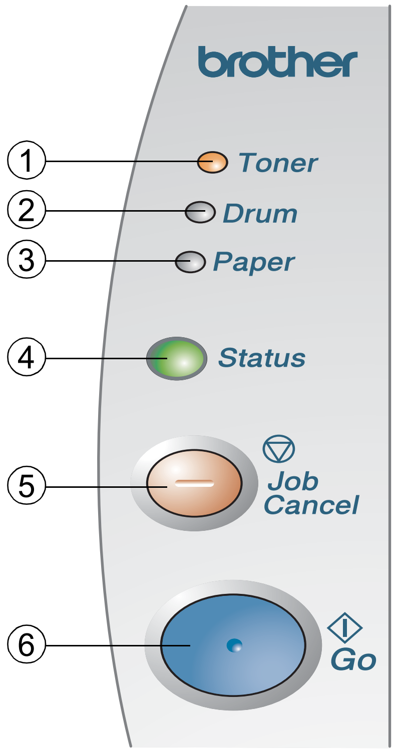


① 背面排紙トレイ
② 電源コード差し込み口
③ パラレルポート
④ サイドカバー
⑤ USB ポート
⑥ ネットワーク LED
　（HL-5070DN）
⑦ 10BASE-T/100BASE-TX
　ポート（HL-5070DN）
⑧ 両面印刷用紙サイズレバー
　（HL-5070DN）
⑨ 両面印刷ユニット
　（HL-5070DN）

コントロールパネルの見かた

コントロールパネル上のランプとボタンについて説明します。

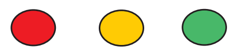
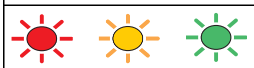
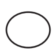
コントロールパネルの名称と機能



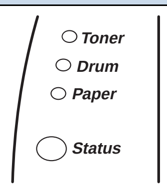
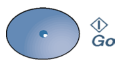
① **Toner ランプ**
　トナーの残量が少なくなったことやなくなったことを示すランプです。
② **Drum ランプ**
　ドラムユニットの寿命が少なくなったことを示すランプです。
③ **Paper ランプ**
　カセットやトレイに用紙がなくなったこと、紙づまりや給紙ミスが起こったことを示すランプです。
④ **Status ランプ**
　プリンタの状態を示すランプです。
⑤ **Job Cancel ボタン**
　印刷をキャンセルするときに使用するボタンです。
⑥ **Go ボタン**
　解除可能なエラーを解除するとき、またスリープ状態から復帰するときなどに押すボタンです。

ランプによるプリンタの状態表示

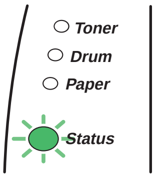
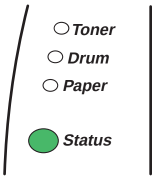
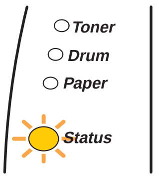
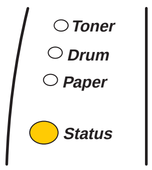
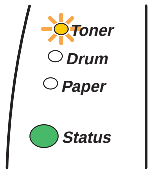
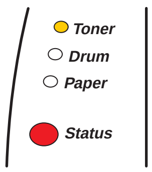
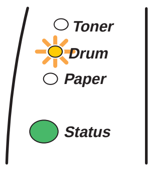
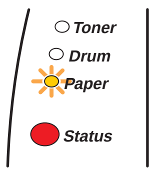
コントロールパネル上の 4 つのランプは、点灯・点滅・消灯の組み合わせによって、本機の状態を示します。
各ランプの状態は、下記のように表現します。

	ランプ点灯
	ランプ点滅
	ランプ消灯

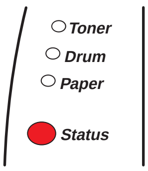
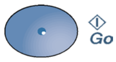
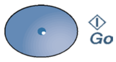
メモ
電源スイッチがオフになっているとき、または本機がスリープ状態になっているときには、すべてのランプが消灯しています。

ランプ	プリンタの状態
	**スリープ状態** 電源スイッチがオフになっているか、または本機はスリープ状態になっています。スリープ状態から復帰するときは、 を押してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

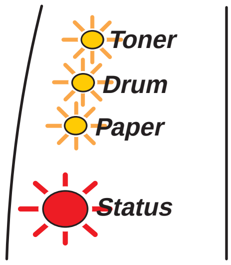
ランプ	プリンタの状態
	**ウォーミングアップ状態** ウォーミングアップ中です。
	**印刷可能状態** 印刷できる状態です。
	**データ受信中** パソコンからデータを受信中、データを処理中、またはデータを印刷中です。
	**プリンタメモリに印字データあり** メモリに印字データが残っています。この状態が長く続き、印刷されない場合は、Go を押すと、メモリに残っているデータを印刷します。
	**トナー少量** トナーカートリッジの残量が残りわずかです。新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。**「ご注文シート」**を参照してください。 Toner ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返します。
	**トナー切れ** 「トナーカートリッジを交換する」P.5-4にしたがってトナーカートリッジを新しいものに交換してください。**「ご注文シート」**を参照してください。
	**ドラムユニット寿命** ドラムユニットの寿命が少なくなっています。新しいドラムユニットを購入し、現在のものと交換することをお勧めします。「ドラムユニットを交換する」P.5-9を参照してください。**「ご注文シート」**を参照してください。 Drum ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返します。
	**紙づまり / 用紙切れ / 給紙ミス** 以下の順序で確認をしてください。 **①紙づまり** 紙づまりが起きていないか確認してください。 「紙づまりが起きたときは」P.6-8を参照して、つまった用紙を取り除きます。 プリンタが自動的に回復しない場合は、Go を押してください。 **②用紙切れ** トレイやカセットの用紙が切れていないか確認してください。 「第 2 章　印刷する」P.2-1にしたがって用紙を補給してください。 **③給紙ミス** 用紙を入れ直して、Go を押してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ランプ	プリンタの状態
	**フロントカバーオープン** フロントカバーを閉じてください。
	ジャムクリアカバーオープン ジャムクリアカバーを閉じてください。 「紙づまりが起きたときは」の手順 6 P.6-11 を参照してください。
	メモリフル •  を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、 を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。
	プリントオーバーラン •  を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、 を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-25 を参照してください。

サービスコール

解除不可能なエラーが発生した場合には、下記の例のようにすべてのランプが点滅して、サービスコールが必要なことを示します。



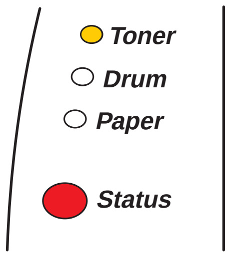
このようなサービスコールの表示が発生した場合は、次の手順にしたがってください。

1 メモリを増設している場合は、プリンタからメモリを取り外してください。

2 電源スイッチを切って、数秒後にもう一度電源を入れて、印刷してみてください。

それでもエラーが解除できず、電源を入れた後も同じように表示される場合は、ブラザーコールセンターにご相談ください。

Go と Job Cancel を同時に押すと、P.1-9の表の組み合わせのいずれかで、ランプが点灯します。
例えば、下の図は「定着器の故障エラー」を表示しています。



Go と Job Cancel を同時に押したときのランプ表示

ランプ	定着器故障	レーザーユニット故障	メインモーター故障	メイン基板故障	エンジン基板故障	DIMM 故障
トナー	🟡	○	○	🟡	○	○
ドラム	○	🟡	○	○	🟡	○
用紙	○	○	🟡	○	○	🟡
ステータス	🔴	🔴	🔴	🟡	🟡	🟡

上記の表を参照してエラーの状況を記録し、ブラザーコールセンターにお知らせください。

> ご相談される前に、本機のフロントカバーが完全に閉じていることを確認してください。

ボタン

コントロールパネルのボタンは、次のような用途に使用します。

印刷の中止

印刷中に Job Cancel を押すと、本機はすぐに印刷を中止して用紙を排出します。

スリープ状態からの復帰

スリープ状態に入っているときに Go または Job Cancel を押すと、本機はスリープ状態から復帰して、印刷できる状態になります。

用紙排出

Status ランプがオレンジ色に点灯中に Go を押すと、プリンタメモリに残っているデータを印刷します。

エラー状態からの復帰

本機が自動的にエラーから回復しないときは、Go を押してください。解除可能なエラーを解除します。

再印刷

印刷した直前の文書を再度印刷したいときは、Go を押したままにし、4 つすべてのランプが点灯したら Go を離します。本機の電源を入れ直したり、パソコンを再起動すると、直前のデータは削除され、再印刷はできません。

安全
第 1 章 プリンタ準備
第 2 章 印刷
第 3 章 添付ソフト
第 4 章 オプション
第 5 章 メンテナンス
第 6 章 トラブル対応
第 7 章 付録
索引

テストページの印刷

1 本機の電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 Go を押したままの状態で、電源スイッチをオンにします。

すべてのランプが点灯し、再度消灯します。このとき、Go は押したままの状態です。

4 Toner ランプのみが点灯したら、Go から指を離します。

5 もう一度、Go を短く押します。

本機からテストページが印刷されます。

メモ

プリンタドライバからの印刷方法

ブラザーの Windows® 用プリンタドライバを使用している場合は、「Brother HL-5070DN (5040) series のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある テスト ページの印刷(T) ボタンをクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

プリンタ設定ページの印刷

1 本機の電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 電源スイッチをオンにし、印刷可能状態になるまで待ちます。

4

を 3 回押します。（2 秒以内）

本機からプリンタ設定ページが印刷されます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

● ネットワーク設定のリセット（HL-5070DN）

プリントサーバーの設定を工場出荷時の初期設定（パスワードや IP アドレスなどのすべての情報）に戻したいときは、次の手順にしたがってください。

1 **本機の電源を切ります。**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

3 **Go を押したままの状態で、電源スイッチをオンにします。**

すべてのランプが点灯し、再度消灯します。このとき、Go は押したままの状態です。

4 **Toner ランプが点灯したら、Go から指を離します。**

5 **再度 Go を押し、そのままの状態で待ちます。**

6 **Status ランプがオレンジ色に点灯したら、Go から指を離します。**

すべてのランプが点灯し、本機が再起動します。
プリントサーバーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

> **メモ**
> APIPA プロトコルを自動的に使用不可にして、本機をリセットしたいときも、手順 1 ～ 6 にしたがってください。
> ただし、手順 6 で Status ランプがオレンジ色ではなく緑色に点灯したときに、Go から指を離します。

使用できる用紙と領域

推奨紙

用紙種類	用紙名
普通紙	（株）NBS リコー My Paper 64g
	富士ゼロックス（株）オフィスサプライ　P 紙 64g
再生紙	富士ゼロックス（株）オフィスサプライ　グリーン 100
OHP	住友 3M CC3300
ラベル	エーワンレーザーラベル 28362

印刷用紙と寸法

本機は本体の用紙カセット、手差しトレイ（HL-5040）、多目的トレイ（HL-5070DN）、またはオプションのローワートレイユニットから用紙を給紙します。
プリンタドライバ上では、下記の名称で表示しています。

本体の名称	プリンタドライバ上での名称
用紙カセット	トレイ 1
手差しトレイ	手差し（HL-5040 専用）
多目的トレイ	MP トレイ（HL-5070DN 専用）
ローワートレイユニット	トレイ 2

メモ　多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

下表のマークをクリックすると、それぞれの用紙のセット方法が参照できます。

用紙の種類	トレイ 1	手差しトレイ	多目的（MP）トレイ	トレイ 2	プリンタドライバで用紙媒体を選択
普通紙 60g/m^2 ～ 105g/m^2	P.2-41	P.2-44	P.2-46	P.4-6	普通紙（厚め） 普通紙
再生紙	P.2-41	P.2-44	P.2-46	P.4-6	普通紙
ボンド紙		P.2-44	P.2-46		ボンド紙
厚紙 105g/m^2 ～ 161g/m^2		P.2-52	P.2-55		厚紙（ハガキ） 超厚紙
官製ハガキ※	P.2-49 最大 30 枚	P.2-52	P.2-55 最大 10 枚		厚紙（ハガキ） 超厚紙
OHP 用紙 （A4、レター紙のみ）	P.2-67 最大 10 枚	P.2-70	P.2-72 最大 10 枚		OHP
ラベル紙 （A4、レター紙のみ）		P.2-70	P.2-72 最大 10 枚		超厚紙
封筒		P.2-59	P.2-62		封筒 封筒（厚め） 封筒（薄め）

※ 私製ハガキ、往復ハガキ、印刷済みハガキは使用できません。

各トレイで使用できる用紙サイズと枚数は、次のようになります。

トレイ	トレイ 1	手差しトレイ	多目的（MP）トレイ	トレイ 2
用紙サイズ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、官製ハガキ	幅 69.9 ～ 215.9mm × 長さ 116 ～ 355.6mm	幅 69.9 ～ 215.9mm × 長さ 116 ～ 355.6mm	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5
枚数（容量）	250 枚※1	1 枚	50 枚※1	250 枚※1

※ 1　80g/m^2 の用紙をトレイにセットした場合の、最大用紙枚数です。　セットできる用紙枚数は用紙の種類によって異なります。

たくさんの用紙を購入する場合は、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから、購入してください。
用紙を購入するときは、次の点に注意してください。

- 普通紙コピー用の用紙をご使用ください。
- 用紙厚は 75 ～ 90g/m^2 までのものをご使用ください。
- 用紙は中性紙を使用し、酸性やアルカリ性紙は使用しないでください。
- 用紙は縦目をご使用ください。
- 用紙の水分は約 5% のものをご使用ください。

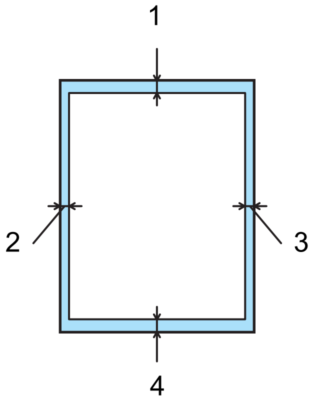
- インクジェット紙を使用しないでください。紙づまりを起こし、本機に損傷を与える恐れがあります。
- 台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。本機に損傷を与える恐れがあります。

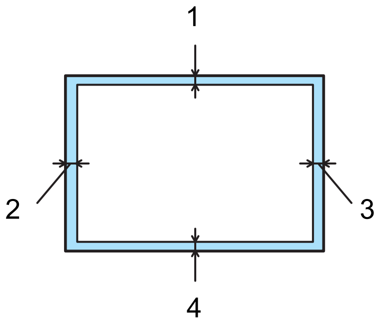
メモ

本機で使用できる用紙については、「用紙仕様」P.7-3の「対応用紙」を参照してください。

印刷可能領域

各用紙サイズに対する印刷できない範囲（縁）を下図に示します。
用紙サイズから縁寸法を引いた部分が、印刷可能領域になります。





	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、官製ハガキ
1	4.2 mm
2	4.2 mm
3	4.2 mm
4	4.2 mm

第 2 章 印刷する

プリンタドライバについて

プリンタドライバとは、アプリケーションソフトから印刷を実行するときに、プリンタの各機能や動作を設定するためのソフトウェアです。

プリンタドライバは CD-ROM に入っています。最新のプリンタドライバは、以下のサポートホームページ Brother Solutions Center からダウンロードすることもできます。

http://solutions.brother.co.jp

表示される画面は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によって異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
また、下記に示す OS のプリンタドライバは、CD-ROM メニュー上の「ソフトウェアのインストール」からインストールすることができます。

Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®4.0 用プリンタドライバ

・Windows® スタンダードプリンタドライバ
・Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN のみ）

Macintosh® 用プリンタドライバ

・Macintosh® スタンダードプリンタドライバ
・Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN のみ）

メモ

通常は、Windows® スタンダードプリンタドライバおよび Macintosh® スタンダードプリンタドライバを使用されることをお勧めします。Adobe の Photoshop のような DTP ソフトを使用されている場合は、Windows® BR-Script3 プリンタドライバおよび Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバのご使用をお勧めします。

パソコンのデータをプリンタから印刷するときは、プリンタドライバで各種の設定ができます。

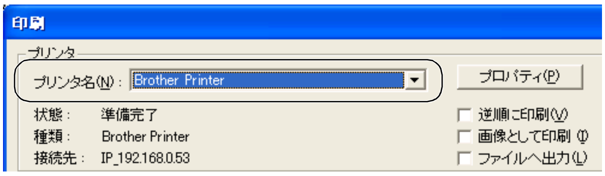
メモ
- このセクションの画面は、Windows® XP の画面です。お使いのパソコン画面は、OS によって異なります。
- モデル名が表示される画面や項目の名称は、モデルによって異なります。このセクションの画面や項目は、「Brother Printer」としています。
- 手順内のイラストは、HL-5070DN をもとに説明しています。
- 最新のプリンタドライバやその他の情報は、Brother Solutions Center（http://solutions.brother.co.jp）から入手できます。

Windows® プリンタドライバの設定方法

プリンタドライバの設定方法について説明します。
次の手順でプリンタドライバの設定画面を表示し、設定または変更した後は、[適用(A)]または[OK]をクリックして、その設定を有効にしてください。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

2 **［印刷］ダイアログボックスのプリンタ名から「Brother HL-5070DN（5040）series」を選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。**



プリンタドライバの設定画面「Brother HL-5070DN（5040）series 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

メモ
プリンタドライバの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。
① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
②「Brother HL-5070DN（5040）series」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
③ Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「Brother HL-5070DN（5040）series のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある[印刷設定(I)...]ボタンをクリックします。「Brother HL-5070DN（5040）series 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows® 95/98/Me の場合は、「Brother HL-5070DN（5040）series のプロパティ」に各項目が表示されます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

3 各項目を設定します。

設定内容の詳細は「Windows® プリンタドライバの設定内容」P.2-5を参照してください。

4 適用(A) または OK をクリックします。

各タブで変更した設定が確定されます。OK をクリックした場合は、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

メモ

- 適用(A) をクリックしなくても、OK をクリックすると、各タブで変更した設定が確定されます。
- キャンセル をクリックすると、各タブで変更した設定がキャンセルされ［印刷］ダイアログボックスに戻ります。
- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順 3 で 標準に戻す(U) をクリックしてから 適用(A) または OK をクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

Windows® プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで設定・変更できる項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、お使いの OS によっては利用できない項目があります。
また、お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

［基本設定］タブでの設定項目

次の項目を設定できます。
（下記の ➡ マークをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

①用紙サイズ P.2-6
②レイアウト P.2-6
③印刷の向き P.2-7
④部数 P.2-7
⑤用紙媒体 P.2-7
⑥給紙方法 P.2-8

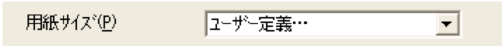
［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

> **メモ**
> 用紙サイズ、レイアウトの設定項目は、プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。また、レイアウトと給紙方法の設定は、イラストをクリックして変更することもできます。

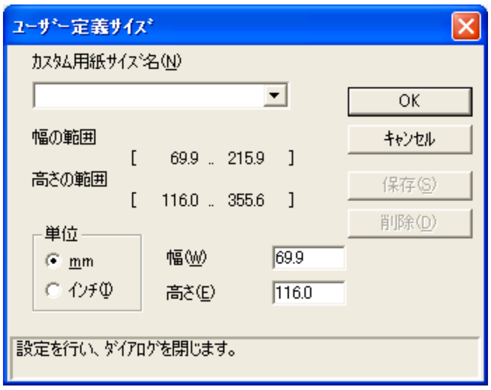
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

①用紙サイズ

用紙サイズの選択では、さまざまな標準用紙サイズから選ぶことができます。必要に応じて、横 69.9 ～ 215.9mm ×縦 116 ～ 355.6mm の間で、任意のサイズを作成することもできます。プルダウンメニューから、使用する用紙サイズを選択してください。



ユーザー定義サイズを選択して、任意のサイズを入力することもできます。適正な印刷品質を得るためには、適切な厚さの用紙を使ってください。



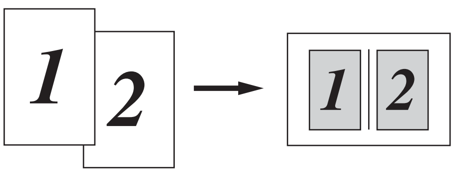
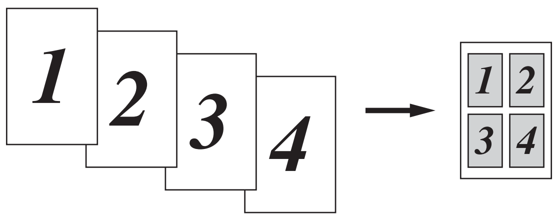
メモ

- アプリケーションソフトによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。
- 最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

②レイアウト

レイアウトの選択によって、1 ページの画像サイズを縮小して、複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、画像サイズを拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷することができます。

レイアウトを使用したときの例

2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合	4 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合
「**2** ページ」を選択 	「**4** ページ」を選択 

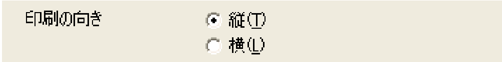
仕切り線

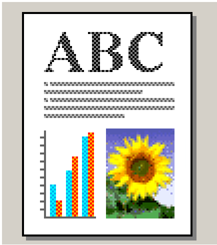
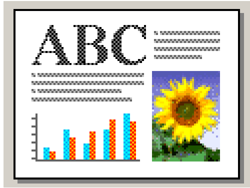
レイアウト機能を使って、複数のページを 1 枚の用紙に印刷するときは、各ページの境界に実線または点線の境界線を入れることができます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

③印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。



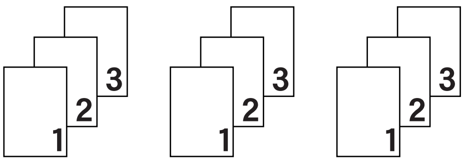
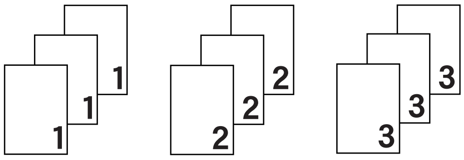
縦	横
	

④部数

部数では、印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。

部単位

「部単位」チェックボックスをチェックすると、文書一式が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。「部単位」チェックボックスをチェックしていないときは、各ページが選択された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
例えば、3 ページの文書を 3 部印刷したときは次のようになります。

「部単位」をチェックした場合	「部単位」をチェックしていない場合
 1 部目　2 部目　3 部目	 1ページ目 3部　2ページ目 3部　3ページ目 3部

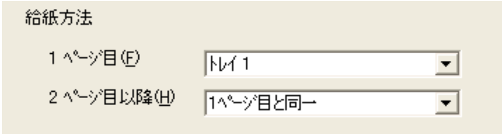
⑤用紙媒体

次の種類の用紙が使えます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙媒体を設定してください。

「普通紙（厚め）」：　市販されている厚めの普通紙やコピー用紙を使う場合
「普通紙」：　市販されている普通紙やコピー用紙を使う場合
「厚紙（ハガキ）」：　ラベル、官製ハガキなどの厚めの用紙を使う場合
「超厚紙」：　「厚紙」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「ボンド紙」：　ボンド紙を使う場合
「OHP」：　OHP シートを使う場合
「封筒」：　封筒を使う場合
「封筒（厚め）」：　「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：　「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合

⑥給紙方法

給紙するトレイを選択します。



「自動選択」：　本機が自動的にトレイを選択します。

「トレイ 1」：　用紙カセットから普通紙を印刷する場合に選択します。「用紙カセットから印刷する」P.2-41 を参照してください。

「トレイ 2」：　オプションのローワートレイユニットを使用するときに選択します。オプションは別売品です。P.4-6 を参照してください。

「MP トレイ」：　HL-5070DN のみ選択できます。多目的トレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46 を参照してください。

「手差し」：　HL-5040 のみ選択できます。一度に 1 枚の記録紙しか送れません。最初のページが印刷されると、用紙を挿入するよう本機のコントロールパネル上の Paper ランプが点滅し、Status ランプが点灯します。手差しトレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「手差しトレイから印刷する（HL-5040）」P.2-44 を参照してください。

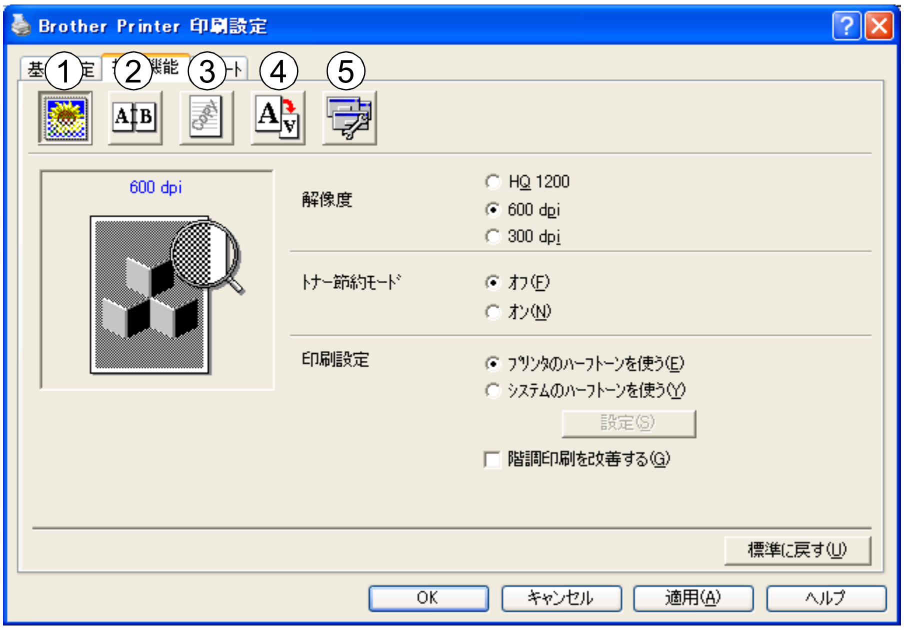
また、1 ページ目と 2 ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

「1 ページ目」：　1 ページ目を印刷するときの給紙方法を設定します。

「2 ページ目以降」：　2 ページ目以降を印刷するときの給紙方法を設定します。

メモ　多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

[拡張機能] タブでの設定項目



アイコンをクリックして、次の項目を設定・変更することができます。

①グラフィックス P.2-10
②両面印刷 P.2-11
③ウォーターマーク P.2-12
④ページ設定 P.2-16
⑤その他特殊機能 P.2-17

[適用(A)]または[OK]をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは[標準に戻す(U)]をクリックします。

メモ プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

グラフィックス

解像度、トナー節約モード、印刷設定などが設定できます。

①解像度

解像度の次の 3 種類から選択します。

「HQ1200」： 最高の品質で印刷します。プリンタドライバは 1200 × 1200 ドットの印刷データを本機に送信し、インチあたり 2400 × 600 ドットで印刷します。

「600 dpi」： インチあたり 600 ドットの解像度で印刷します。

「300 dpi」： インチあたり 300 ドットの解像度で印刷します。

" メモリフル " エラーがでる場合は、本機にメモリを追加するか、解像度を下げて印刷してください。

②トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。

③印刷設定

輝度、コントラストなどの設定を手動で設定できます。

- Windows® 95/98/Me の場合

  「自動設定」：本機の設定のまま印刷されます。

  「手動設定」：輝度、コントラストなどの設定を手動で行います。

- Windows NT®4.0、Windows® 2000/XP の場合

  「プリンタのハーフトーンを使う」：本機の設定のまま印刷されます。

  「システムのハーフトーンを使う」：輝度、コントラストなどの設定を手動で行います。

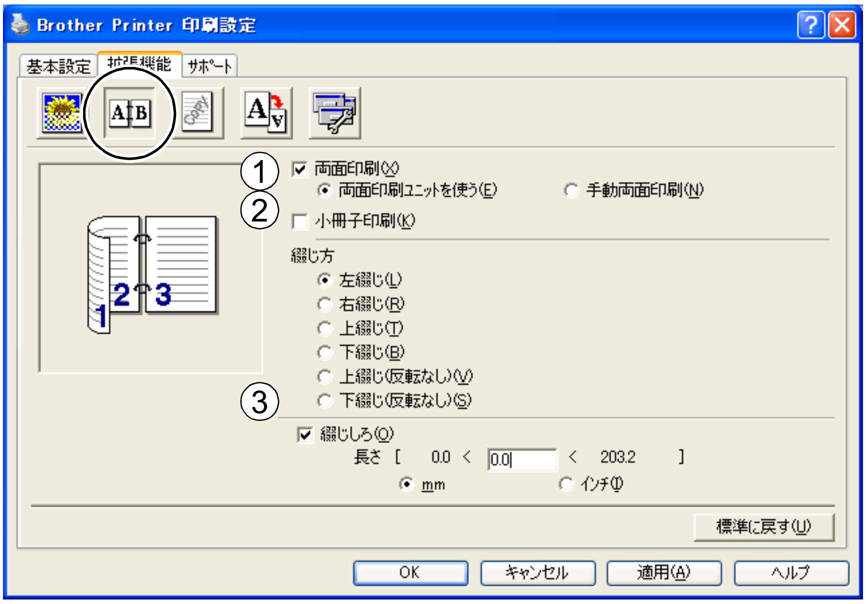
階調印刷を改善する（Windows NT®4.0、Windows® 2000/XP ユーザー専用）

「階調印刷を改善する」チェックボックスをチェックすると、陰影部の画質を改善できます。階調部分が上手く印刷されない場合には、このチェックボックスにチェックしてください。

両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6 種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。

印刷の詳細は「両面印刷する」P.2-75を参照してください。



①両面印刷

「両面印刷ユニットを使う」（HL-5070DN のみ）

自動で両面印刷ができます。手動で用紙をセットし直す必要がありません。

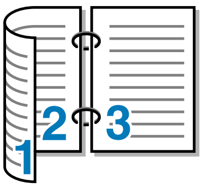
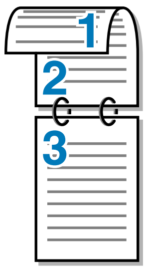
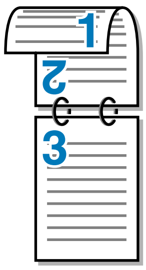
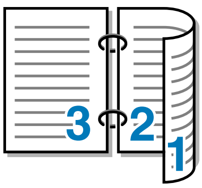
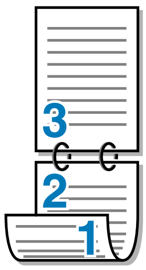
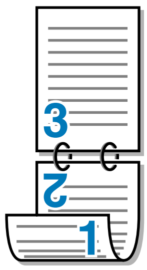
自動両面印刷に使用できる用紙は、A4、レターおよびリーガルの普通紙です。

「手動両面印刷」（HL-5040 のみ）

はじめに偶数ページ（裏面）をすべて印刷します。本機がいったん停止して、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、OK をクリックすると、奇数ページ（表面）の印刷を開始します。

②綴じ方

印刷の向き、縦または横など 6 種類の綴じ方があります。

左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
		
右綴じ	**下綴じ**	**下綴じ（反転なし）**
		

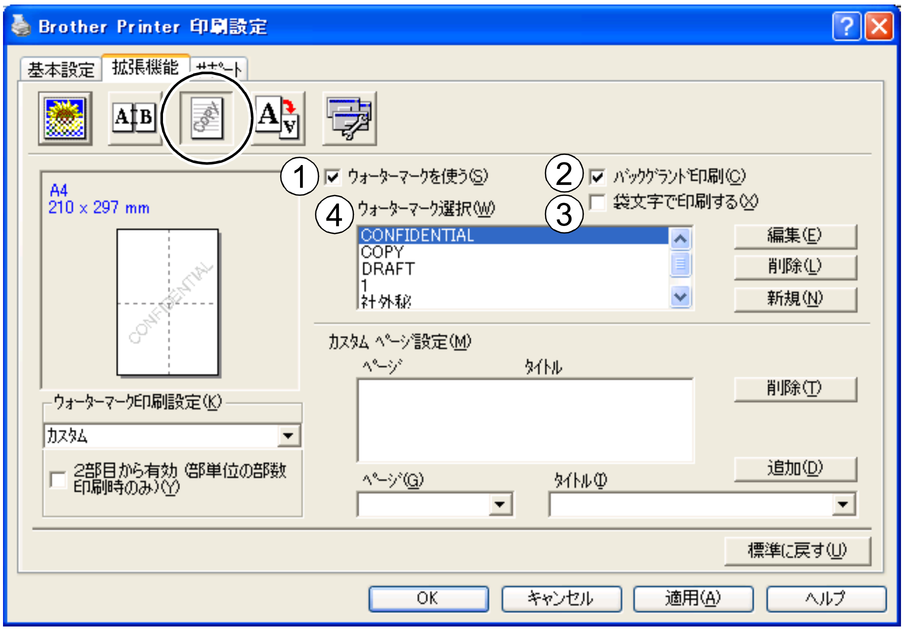
③綴じしろ

「綴じしろ」を選択すると、綴じしろの量をインチまたはミリメートルで設定できます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ウォーターマーク

ロゴやテキストをウォーターマーク（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめいくつかウォーターマークが登録されていますが、ビットマップファイルまたはテキストファイルを作成して使うことができます。
印刷の詳細は「ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する」P.2-85を参照してください。

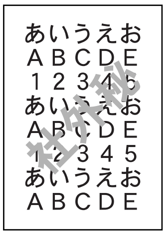


①ウォーターマークを使う

「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックすると、「ウォーターマーク選択」から選択したウォーターマークを文書に入れて印刷できるようになります。また、選択したウォーターマークは編集することもできます。「ウォーターマーク設定」P.2-14を参照してください。

②バックグラウンド印刷

「バックグラウンド印刷」チェックボックスをチェックすると、文書の背景にウォーターマークが印刷されます。これをチェックしていないときは、文書の一番上にウォーターマークが印刷されます。

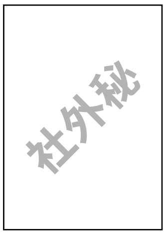
「バックグラウンド印刷」をチェックした場合	「バックグラウンド印刷」をチェックしていない場合
	

③袋文字で印刷する P.2-13
④ウォーターマーク選択 P.2-13

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

③袋文字で印刷する（WindowsNT®4.0、Windows® 2000/XP のみ）

ウォーターマークの輪郭を印刷したいときのみ、「袋文字で印刷する」チェックボックスをチェックします。

「袋文字で印刷する」をチェックした場合	「袋文字で印刷する」をチェックしていない場合
	

④ウォーターマーク選択

「ウォーターマーク印刷設定」には、次の選択項目があります。

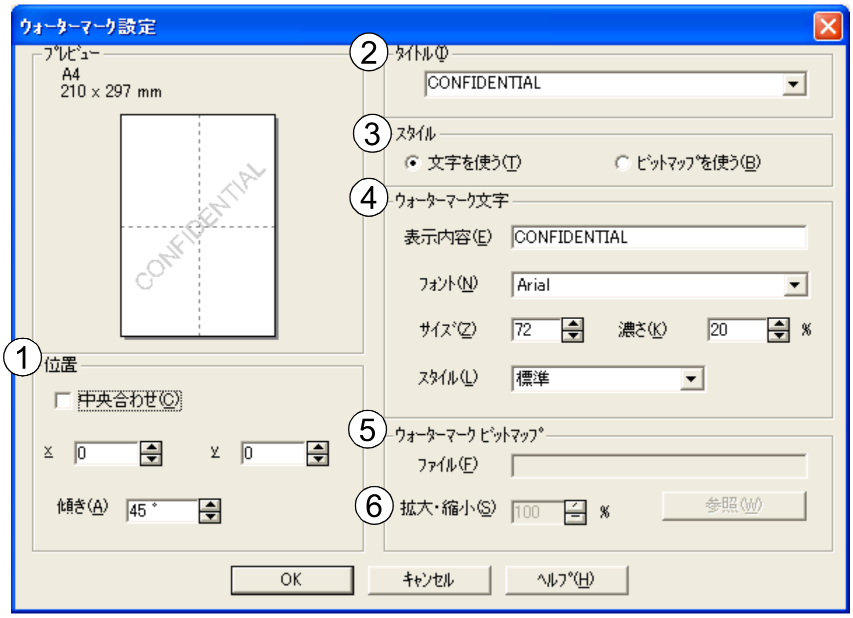
「全ページ」：	全ページにウォーターマークが印刷されます。
「開始ページのみ」：	2 ページ以上の印刷の場合、最初のページにだけウォーターマークが印刷されます。
「2 ページ目から」：	2 ページ以上の印刷の場合、2 ページ目以降にウォーターマークが印刷されます。
「カスタム」：	2 ページ以上の印刷の場合は、各ページに対し別々のウォーターマーク設定ができます。 「カスタムページ設定」P.2-15を参照してください。

2 部目から有効（部単位の部数印刷時のみ）

2 部以上印刷する場合に、1 部目にはウォーターマークを入れず、2 部目からウォーターマークを入れるときに、「2 部目から有効（部単位の部数印刷時のみ）」チェックボックスをチェックします。

ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、編集(E) をクリックすると、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいウォーターマークを追加したい場合は、新規(N) をクリックし、［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択します。



①**位置**

　ページ上のウォーターマークを配置する位置や角度を設定します。

②**タイトル**

　設定したウォーターマークの名前を設定します。ここで設定した名前は、「ウォーターマーク選択」に表示されます。

③**スタイル**

　新しく追加するウォーターマークが、文字かビットマップかを選択します。

④**ウォーターマーク文字**

　ウォーターマークの文字を「表示内容」に入力して、「フォント」、「サイズ」、「スタイル」、「濃さ」を選択します。

⑤**ウォーターマークビットマップ**

　「ファイル」ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

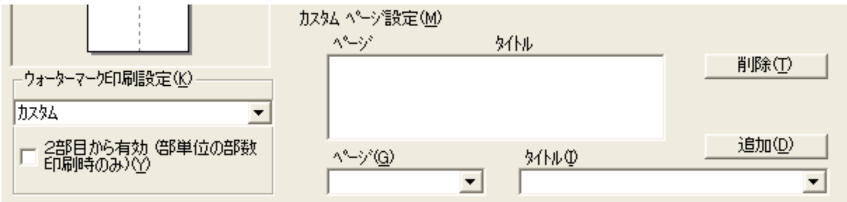
⑥**拡大・縮小**

　イメージのサイズを設定します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

カスタムページ設定

各ページに対して別々のウォーターマークの設定ができます。「ウォーターマーク印刷設定」で「カスタム」を選択したときのみ有効になります。



- **設定テーブル**

  各ページに対して設定されている内容が表示されます。

  設定の追加

  ①「ページ」から設定したいページを入力します。
  　ページ設定として番号以外にその他のページが選択できます。
  ②「タイトル」から使用したいウォーターマークを選択します。
  　選択したページにウォーターマークを付けたくない場合は、なしを選択します。
  ③ 追加(D) をクリックします。
  　設定テーブルに追加されます。

  設定の削除

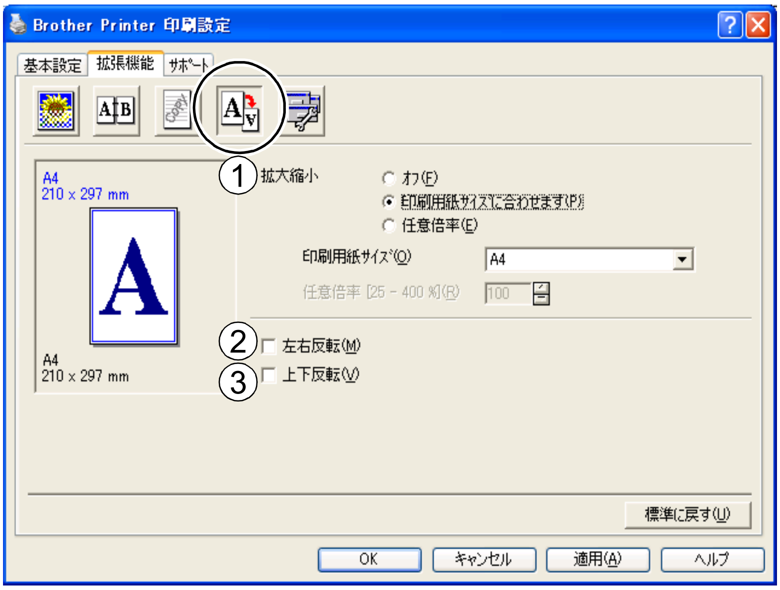
  ① 設定テーブルから削除したいページの設定を選択します。
  ② 削除(T) をクリックします。
  　設定テーブルから削除されます。

  印刷の詳細は「ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する」P.2-85を参照してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ページ設定

アプリケーションソフトで作成した文書や画像のデータを変更せずに、ページイメージをそのまま拡大縮小して用紙サイズを変更して印刷できます。またページイメージをそのまま左右反転、上下反転して印刷することもできます。



［適用(A)］または［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

①拡大縮小

「オフ」：	画面に表示されたとおりに文書を印刷します。
「印刷用紙サイズに合わせます」：	文書が非定形サイズの場合や標準サイズの用紙しかない場合は、「印刷用紙サイズに合わせます」を選択し、「印刷用紙サイズ」で選択した用紙サイズに拡大縮小して印刷します。
「任意倍率」：	「任意倍率［25 – 400％］」で設定した倍率で印刷します。

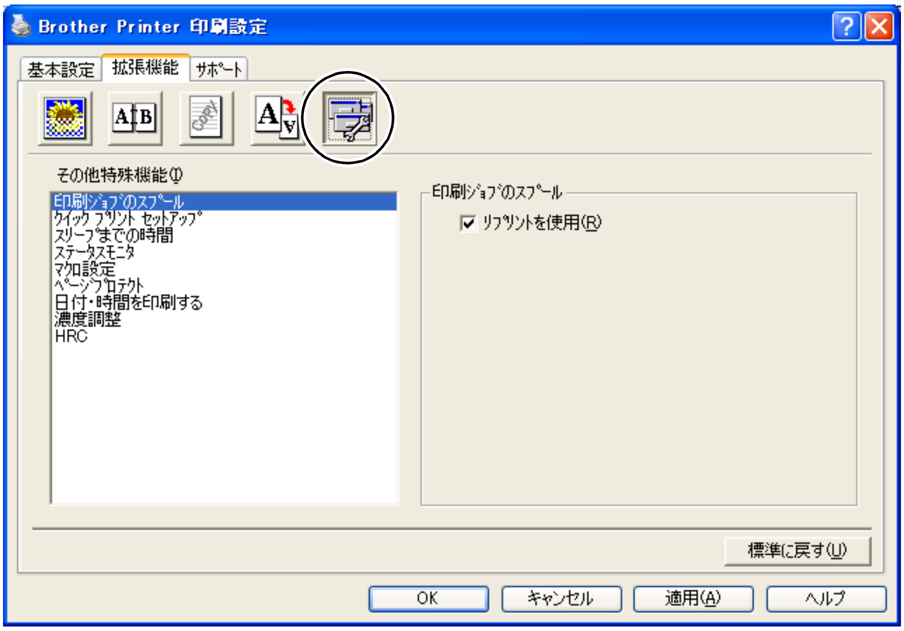
②左右反転

左右を逆にして印刷します。

③上下反転

上下を逆にして印刷します。

その他特殊機能



次のプリント機能モードを設定できます。
（下記の ![] マークをクリックすると、各機能の詳細を説明しているページが表示されます。）

- 印刷ジョブのスプール........................ P.2-18
- クイックプリントセットアップ............... P.2-19
- スリープまでの時間.......................... P.2-20
- ステータスモニタ............................ P.2-21
- マクロ設定.................................. P.2-22
- 設定保護管理機能※1 .... P.2-23
- コマンド／ファイルの追加※1 .... P.2-24
- ページプロテクト............................ P.2-25
- 日付・時間を印刷する........................ P.2-26
- 濃度調整.................................... P.2-27
- HRC（高解像度コントロール）※2 .... P.2-28

［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

メモ

プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。

※1　設定保護管理機能、コマンド／ファイルの追加は、Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。

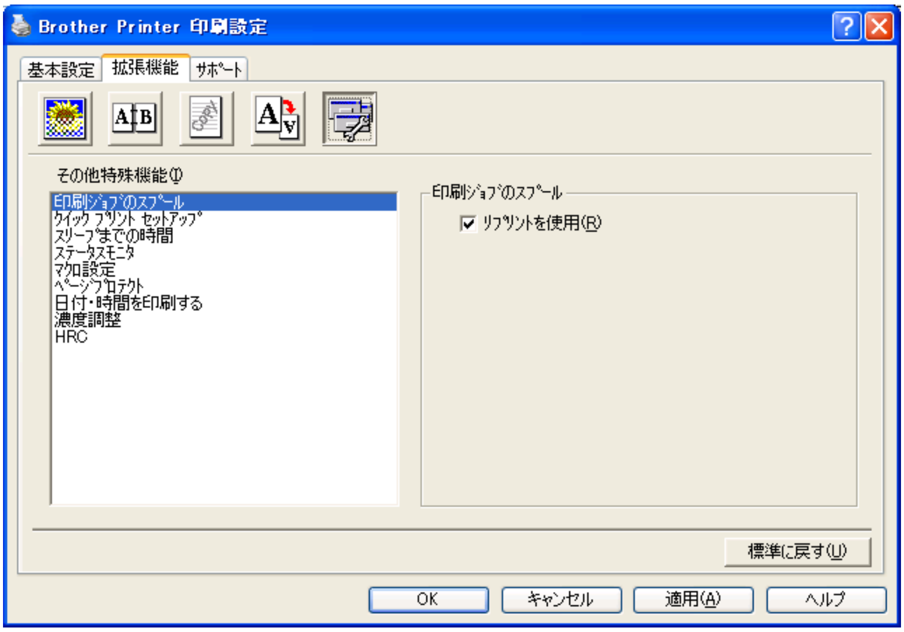
※2　Windows® 95/98/Me の場合は、［拡張機能］タブの［グラフィックス］で［印刷設定］の［手動設定］をクリックして表示される画面で、HRC の設定と TrueType 設定を変更できます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

印刷ジョブのスプール

「リプリントを使用」のチェックボックスをチェックしておくと、最後に印刷したジョブを本機が記憶します。パソコンからあらためてデータを送らずに、文書を再び印刷することができます。

再印刷するには、本機の Go を押し続け、4 つすべてのランプが点灯したら、Go から指を離します。



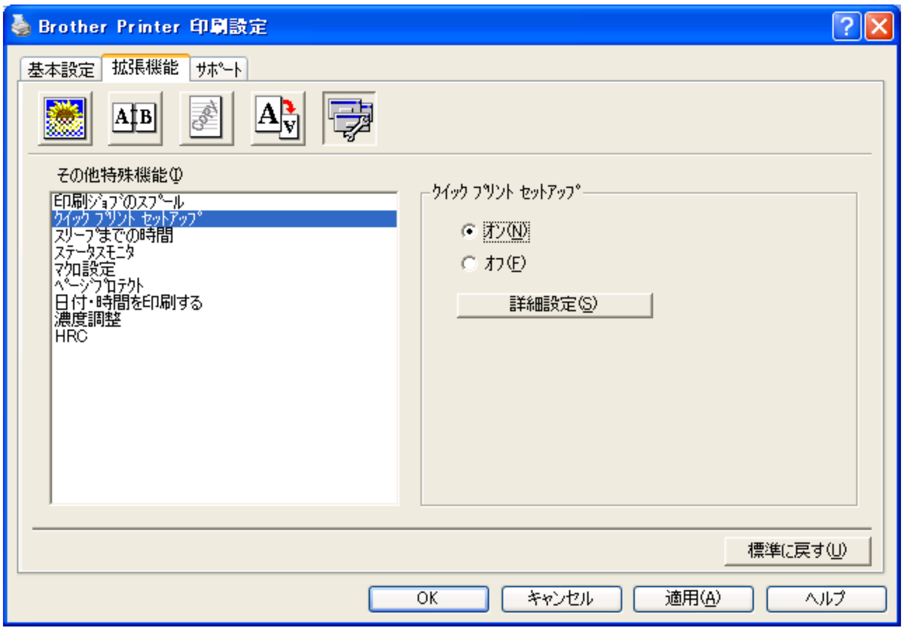
メモ

本機に保存したデータを他の人にプリントされたくない場合は、「リプリントを使用」チェックボックスのチェックを外してください。

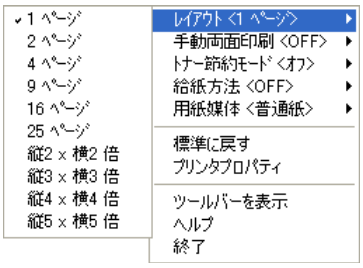
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

クイックプリントセットアップ

クイックプリントセットアップ機能のオン／オフを切り替えます。



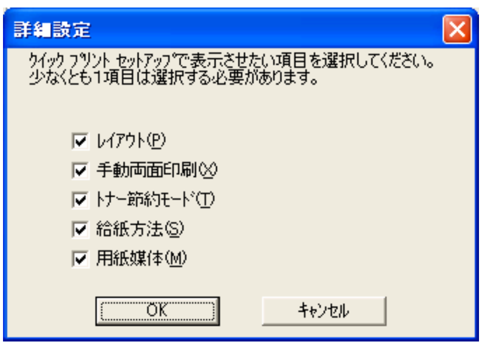
ドライバ設定を簡単に設定・変更することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。



下記の 5 つの項目を設定できます。

- レイアウト
- 手動両面印刷
- トナー節約モード
- 給紙方法
- 用紙媒体

［詳細設定(S)］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。クイックプリントセットアップ機能使用時に、表示させたい項目のチェックボックスをチェックします。



安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

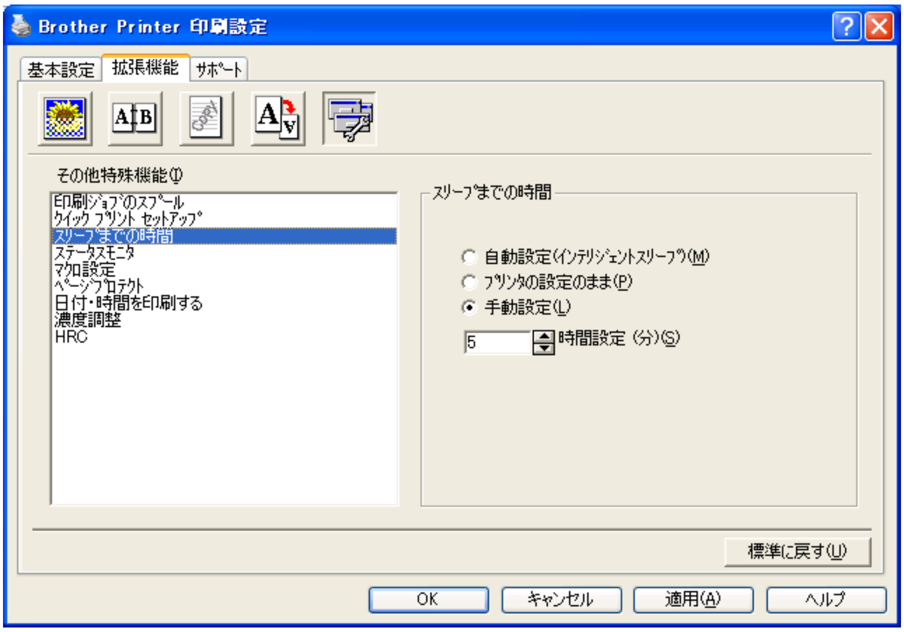
スリープまでの時間

スリープモードは、本機の電源を切っているときと同じ状態になるため、電力を節約できます。一定時間本機がデータを受信しなかったとき（タイムアウト時）に、スリープモードに切り替わります。

本機がスリープモードに入っているときは、すべてのランプが消灯していますが、パソコンからのデータは受信することができます。印刷ファイルや文書のデータを受信すると、本機は自動的に復帰し、印刷を開始します。

Go または Job Cancel を押しても、本機は復帰します。

初期設定時間は 5 分です。



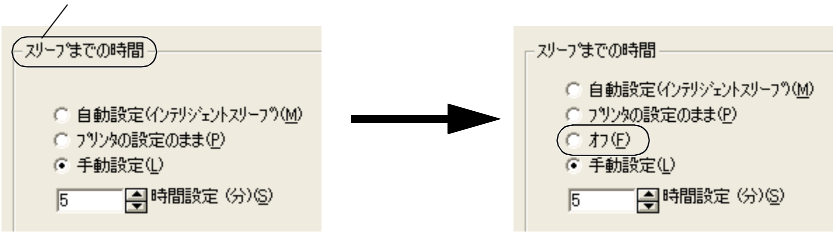
「自動設定（インテリジェントスリープ）」：	本機の使用頻度によって、スリープモードに入る最も適切な時間を自動的に調整します。
「プリンタの設定のまま」：	初期設定時間の 5 分でスリープモードに入ります。
「手動設定」：	1 ～ 99 分（1 分単位）の間で設定できます。

スリープモードをオフするには

スリープモードにならないようにオフに設定することもできます。ただし、節電のため、スリープモードをオンにしてお使いになることをお勧めします。

設定内容の一番上に表示されている「スリープまでの時間」をダブルクリックすると、「オフ」が表示されます。「オフ」をクリックします。

ダブルクリック

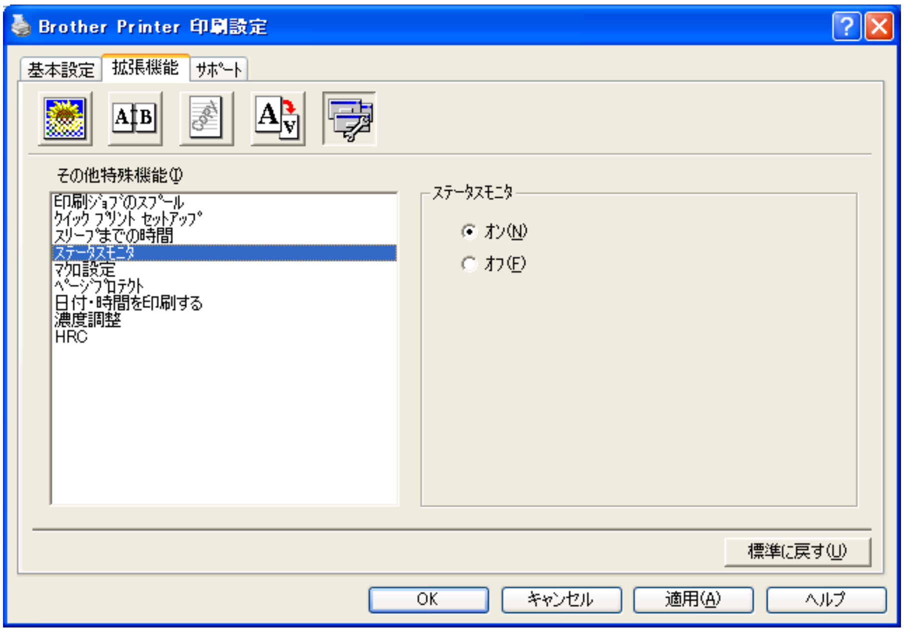


オフが表示されていない　　　　オフが表示される

ステータスモニタ

メモ　このセクションは Windows® ユーザー専用です。

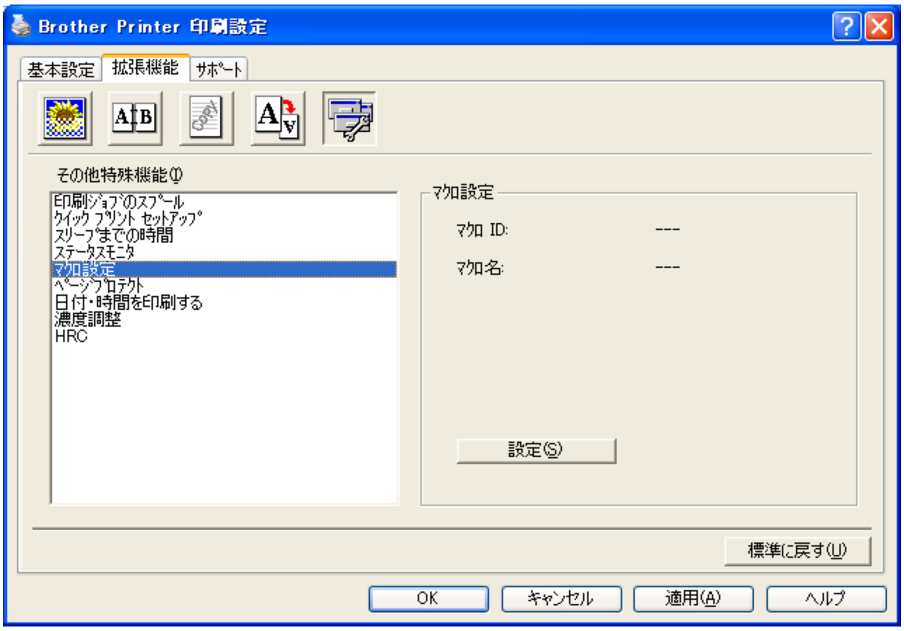
印刷時に、プリンタステータス（本機で発生したエラー情報など）を通知します。
初期設定ではオフになっています。



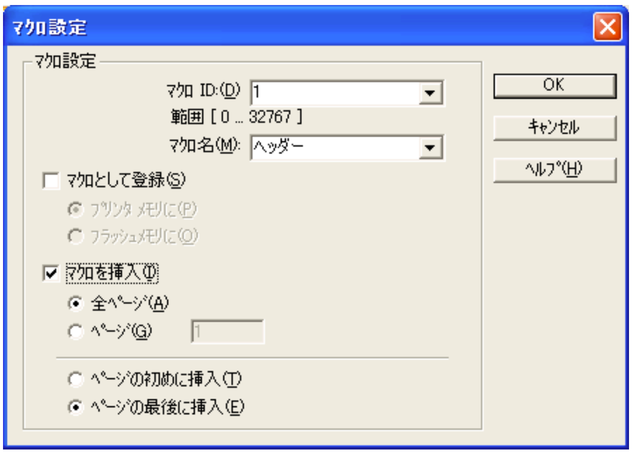
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

マクロ設定

マクロとして、本機のメモリに文書を登録することができます。登録したマクロは、印刷時に実行して、文書にオーバーレイとして印刷できます。
フォーム、会社ロゴ、手紙の書き出し文、送り状など、よく使う情報を登録してお使いになると便利です。



[設定(S)]をクリックすると、［マクロ設定］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

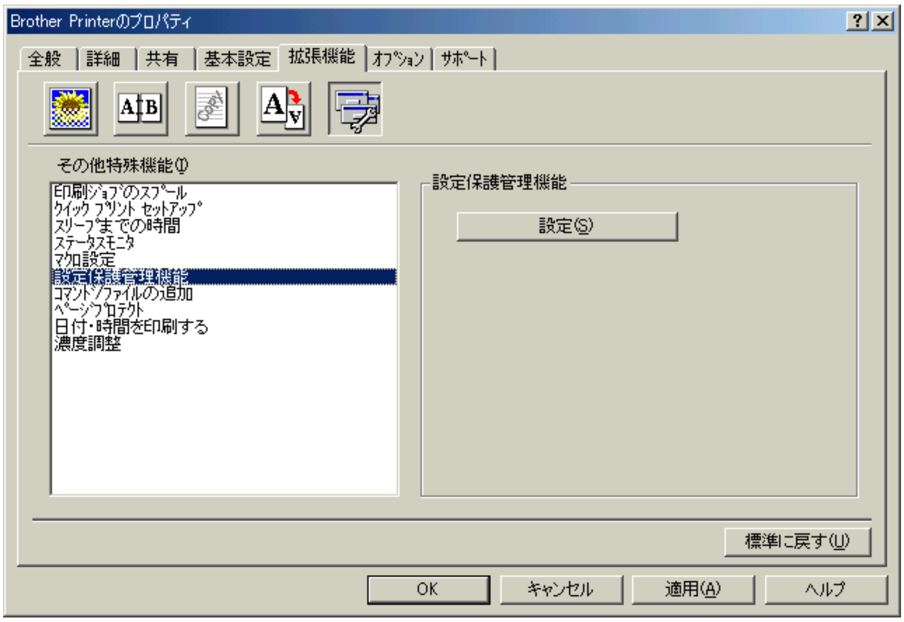


安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

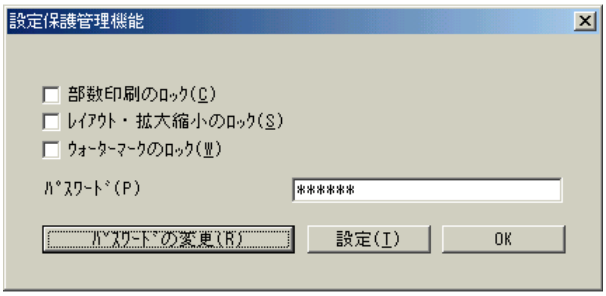
設定保護管理機能

メモ
- このセクションは Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows® Me の画面です。

部数印刷、レイアウト、拡大縮小、ウォーターマークの設定をロックすることができます。



をクリックすると、［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

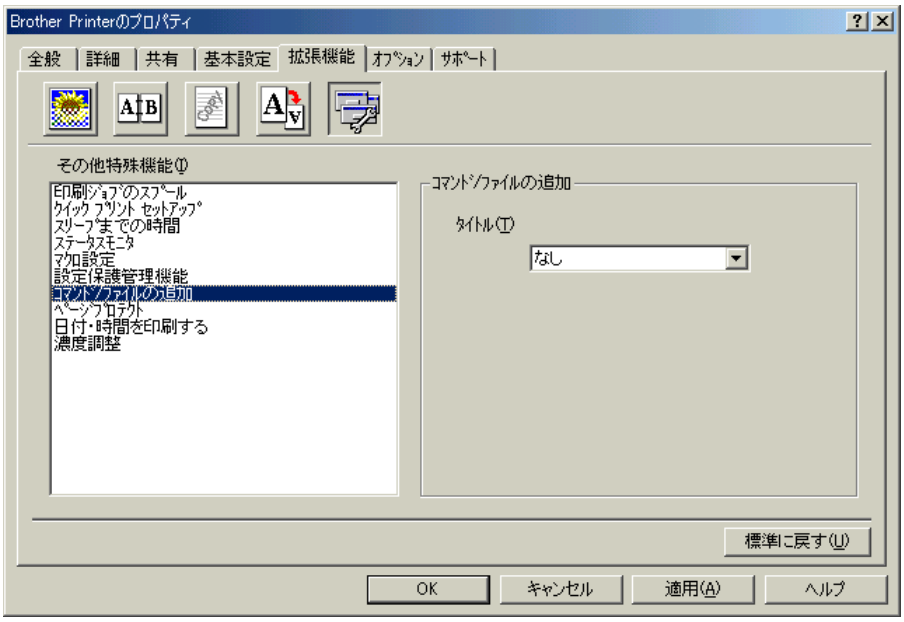


- 部数印刷のロック
  部数印刷をロックして複数部印刷をできなくします。
- レイアウト・拡大縮小のロック
  レイアウトを 1 ページ、拡大縮小を 100% の設定にロックします。
- ウォーターマークのロック
  現在設定されているウォーターマーク設定にロックします。
- パスワード
  保護したい機能を変更する場合は、登録したパスワードを入力し、［設定］をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。
  パスワードを変更したいとき、およびはじめてこの機能を設定する場合に、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。

コマンド／ファイルの追加

メモ
- このセクションは Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows® Me の画面です。

指定したコマンドやファイルを自動的にデータに追加して印刷します。



ヘルプ をクリックすると、［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

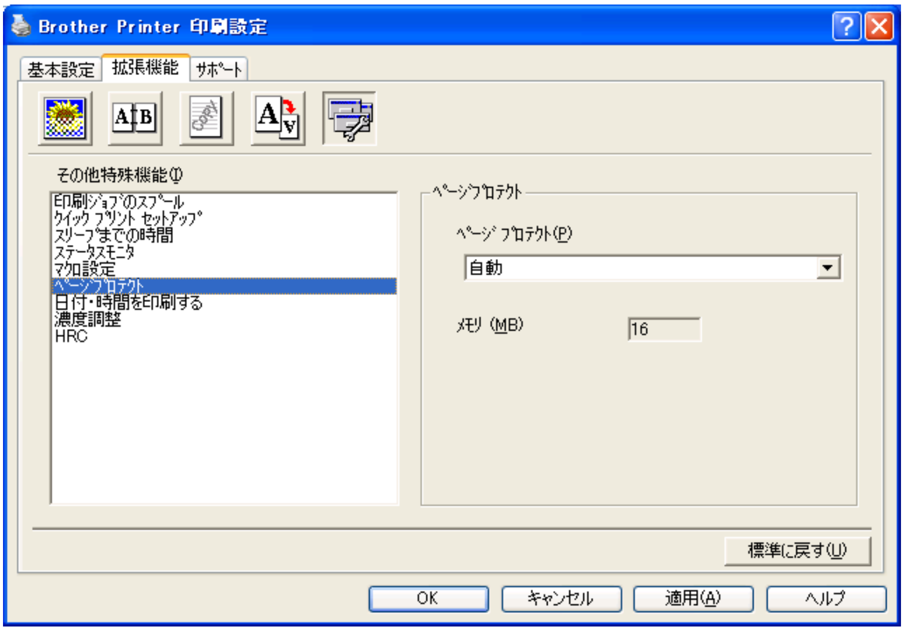
下記の 3 つの項目をデータに追加して印刷できます。
- Tiff 形式のファイル
- 特定の文字列
- 登録してあるマクロ ID

メモ
この機能の使いかたの詳細は、ヘルプ をクリックして表示されるプリンタドライバのヘルプを参照してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

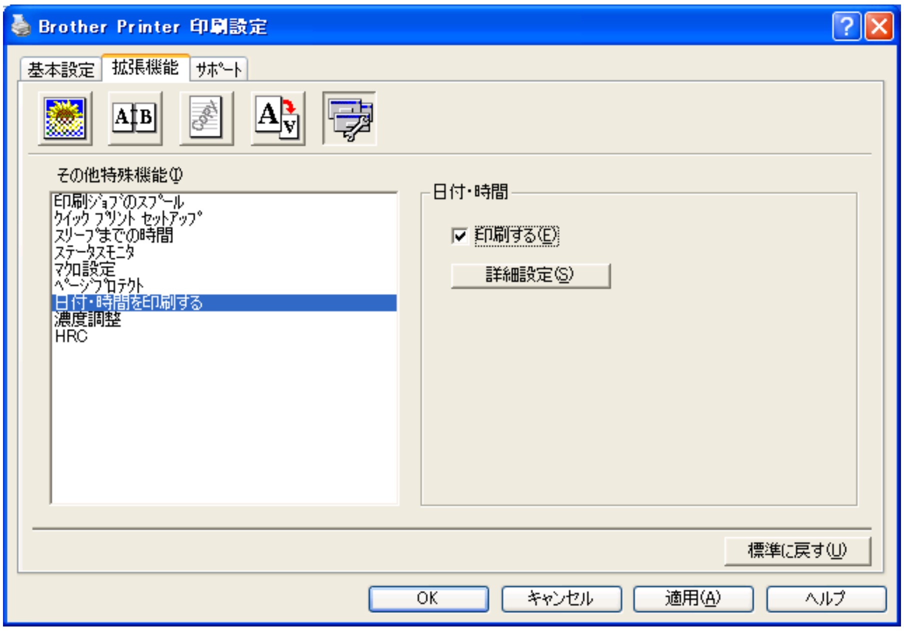
ページプロテクト

本機が用紙に印刷する前に、印刷データをいったんメモリに保存して、印刷される完全なページイメージをメモリ内に作成します。イメージが非常に複雑な文書を問題なく印刷するために、この機能を使って確保するメモリを設定します。
イメージのサイズは、自動、レター、A4、リーガルから選択できます。

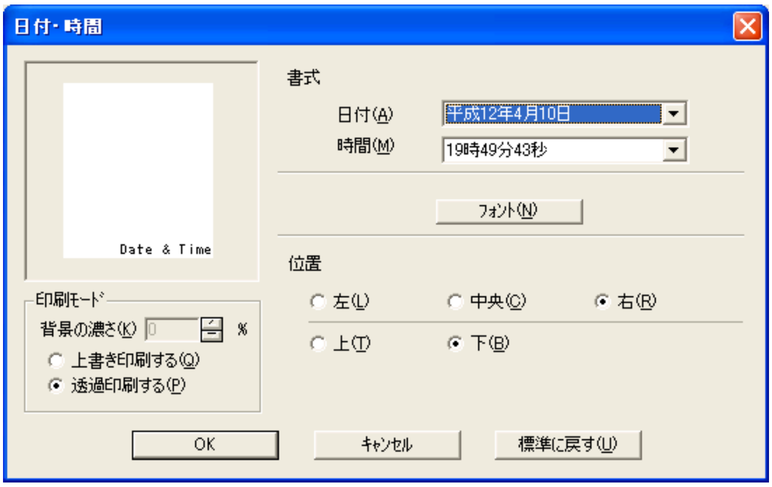


日付・時間を印刷する

日付と時間を自動で文書に入れて印刷することができます。



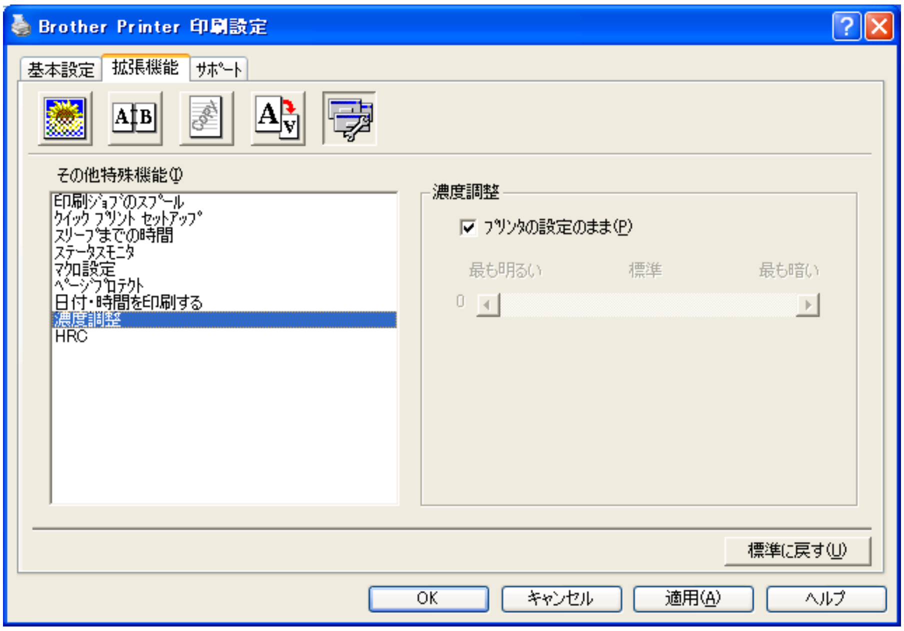
「印刷する」チェックボックスをチェックし、[詳細設定(S)]をクリックすると、[日付・時間]ダイアログボックスが表示されます。日付と時間の書式や印刷位置、印刷モードの各項目を設定してください。



安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

濃度調整

印刷時のトナーの密度を調節できます。
初期設定は、「プリントの設定のまま」です。
手動でトナーの密度を変更するときは、「プリントの設定のまま」チェックボックスのチェックを外し、調節します。

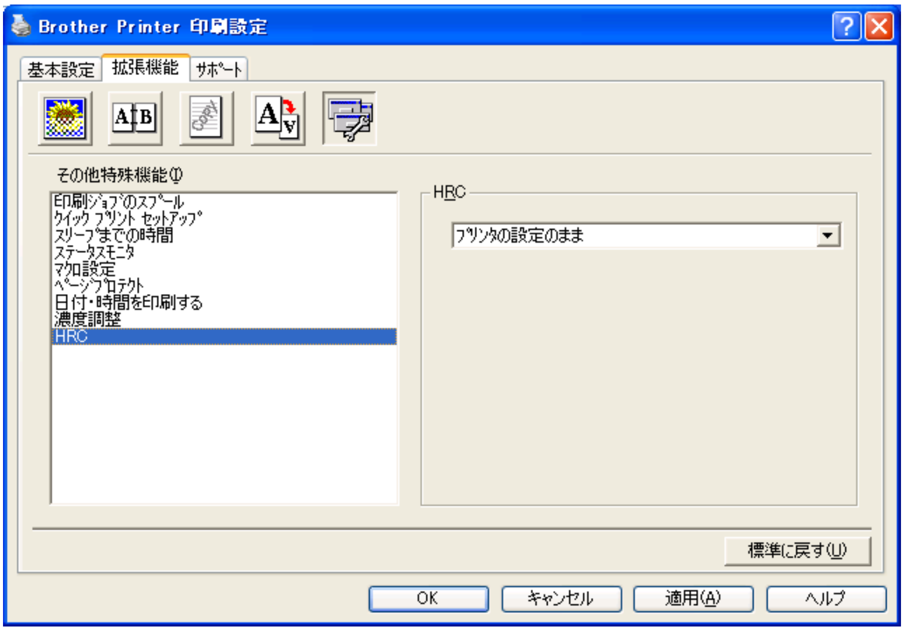


安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

HRC（高解像度コントロール）

HRC（高解像度コントロール）を変更できます。

HRC は、300 または 600dpi で印刷した場合の文字やグラフィックスの印字品質を改善して印刷する特別な機能です。

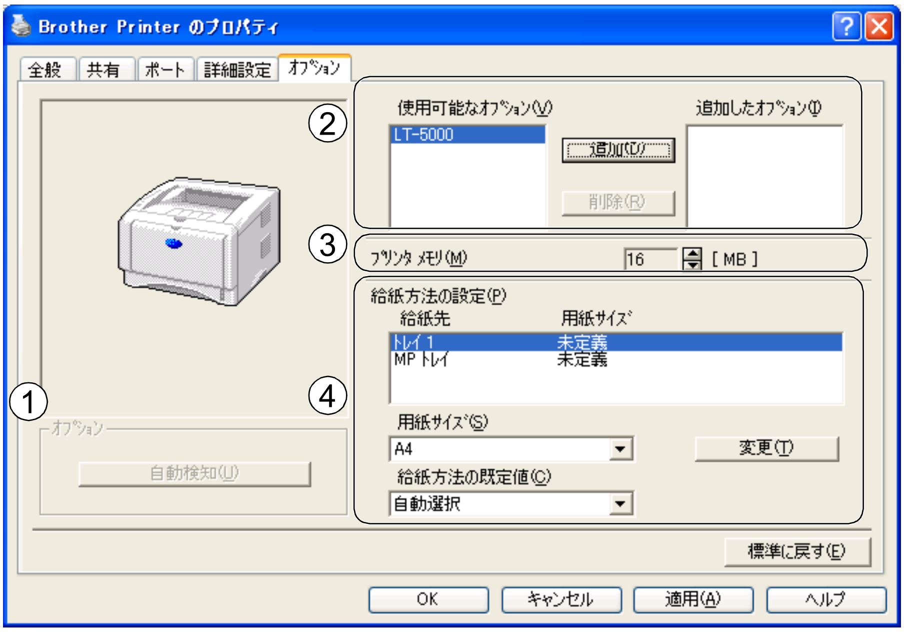


下記の 5 つの設定ができます。

・プリンタの設定のまま
・弱
・中
・強
・OFF

［オプション］タブでの設定項目

本機にオプションを取り付けたり、取り外したりしたときに、［オプション］タブでそれぞれの設定を行います。
「Brother HL-5070DN（5040）series のプロパティ」ダイアログボックスの［オプション］タブをクリックします。



［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

①オプションの自動検出

自動検出機能は、現在取り付けられているオプションやメモリサイズを自動で認識し、オプションの設定を自動で行います。

> **メモ** オート検出機能は、プリンタの条件によっては利用できない場合があります。

②オプションの設定を手動で追加、削除します。

「使用可能なオプション」のリストから本機に取り付けたオプションをクリックし、［追加(D)］をクリックします。
「追加したオプション」にオプションが追加されます。

③プリンタメモリ設定

増設メモリを取り付けた場合は、プリンタメモリの容量を設定します。

④給紙方法の設定

それぞれの用紙トレイの用紙サイズを表示しています。
変更する場合は、給紙先をクリックしたあと、「用紙サイズ」を設定し、［変更(T)］をクリックします。

[サポート] タブでの設定項目

ドライババージョンを確認できます。「Brother Solutions Center」にアクセスしたり、現在のドライバの設定内容が確認できます。

① Brother Solutions Center

クリックすると、サポートページ Brother Solutions Center（**http://solutions.brother.co.jp**）にアクセスします。最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをはじめ、Q&A、便利な機能紹介、その他本機をお使いいただく上で有益な情報をご用意しています。ぜひご利用ください。

②設定の確認

クリックすると、現在のドライバの基本的な設定の一覧が表示されます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

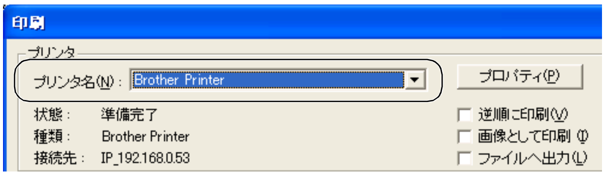
Windows® BR-Script3 プリンタドライバの設定方法（HL-5070DN）

メモ このセクションの説明は、HL-5070DN のみです。

プリンタドライバの設定方法について説明します。
次の手順でプリンタドライバの設定画面を表示し、設定または変更した後は、[適用(A)]または[OK]をクリックして、その設定を有効にしてください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 ［印刷］ダイアログボックスのプリンタ名から「Brother HL-5070DN BR-Script3J」を選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。



プリンタドライバの設定画面「Brother HL-5070DN BR-Script3J 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

メモ プリンタドライバの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。

① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

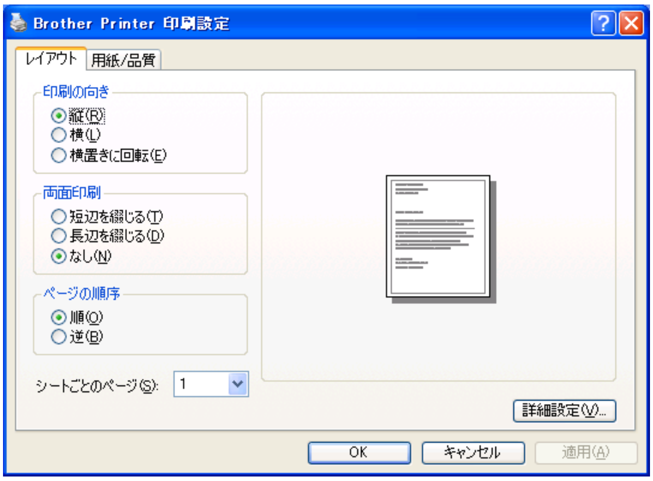
② 「Brother HL-5070DN BR-Script3J」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

③ Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「Brother HL-5070DN BR-Script3J のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある[印刷設定(I)...]ボタンをクリックします。「Brother HL-5070DN BR-Script3J 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows® 95/98/Me の場合は、「Brother HL-5070DN BR-Script3J のプロパティ」に各項目が表示されます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

3 各項目を設定します。

設定内容の詳細は「Windows® BR-Script3 プリンタドライバの設定内容（HL-5070DN）」P.2-33を参照してください。



4 [適用(A)]または[OK]をクリックします。

各タブで変更した設定が確定されます。[OK]をクリックした場合は、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

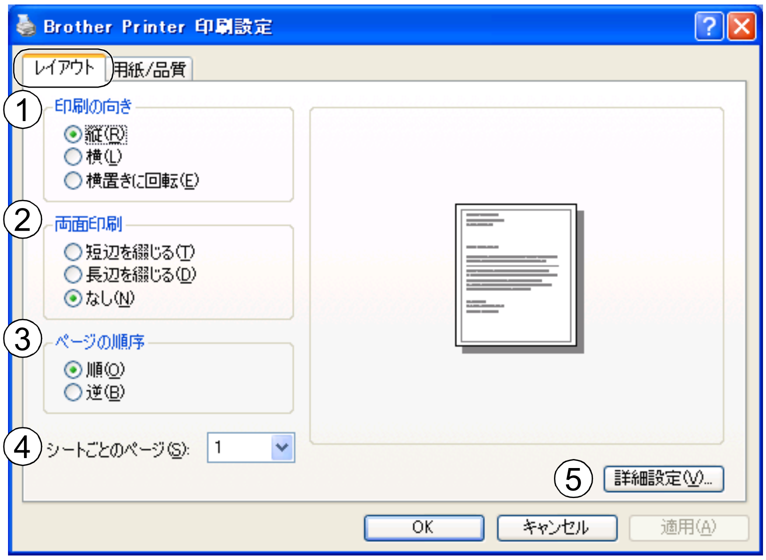
メモ

- [適用(A)]をクリックしなくても、[OK]**をクリックすると**、各タブで変更した設定が確定されます。
- [キャンセル]**をクリックすると**、各タブで変更した設定がキャンセルされ［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

Windows® BR-Script3 プリンタドライバの設定内容（HL-5070DN）

プリンタドライバで設定・変更できる項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、お使いの OS によっては利用できない項目があります。
また、お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

［レイアウト］タブでの設定項目



次の項目を設定できます。
（下記の マークをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

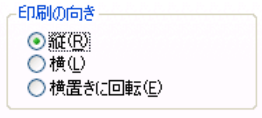
①印刷の向き P.2-34
②両面印刷 P.2-34
③ページの順序 P.2-34
④シートごとのページ P.2-35
⑤詳細設定 P.2-35

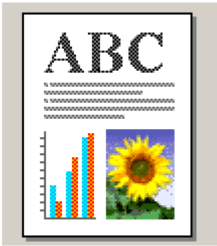
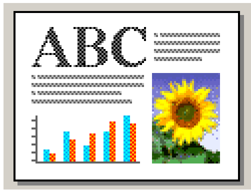
［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。

メモ 設定項目は、プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。

①印刷の向き

文書を印刷する向き（縦、横または横置きに回転）を選択します。

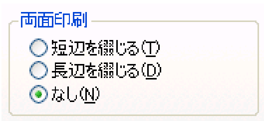


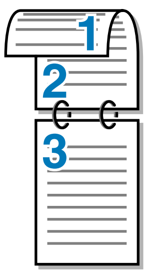
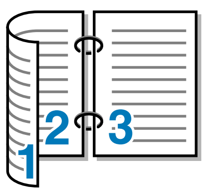
縦	横
	

「横置きに回転」：　レイアウトには一切影響を与えず、印刷面を反時計回りに 90 度回転して印刷します。

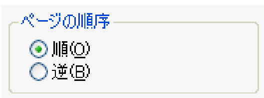
②両面印刷

自動両面印刷の設定ができます。
印刷の詳細は「両面印刷する」P.2-75を参照してください。



短辺を綴じる	長辺を綴じる
	

③ページの順序

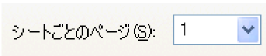


「順」：　1 ページ目が 1 番上になるように印刷されます。
「逆」：　最後のページが 1 番上になるように印刷されます。

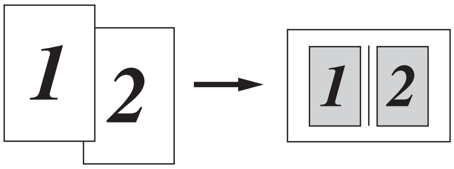
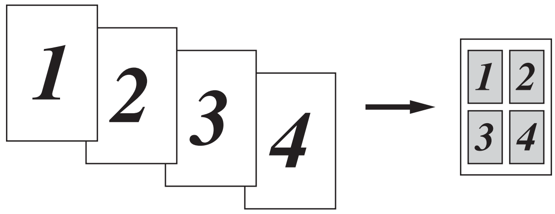
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

④シートごとのページ

1 ページの画像サイズを縮小して、複数のページを 1 枚の用紙に印刷します。

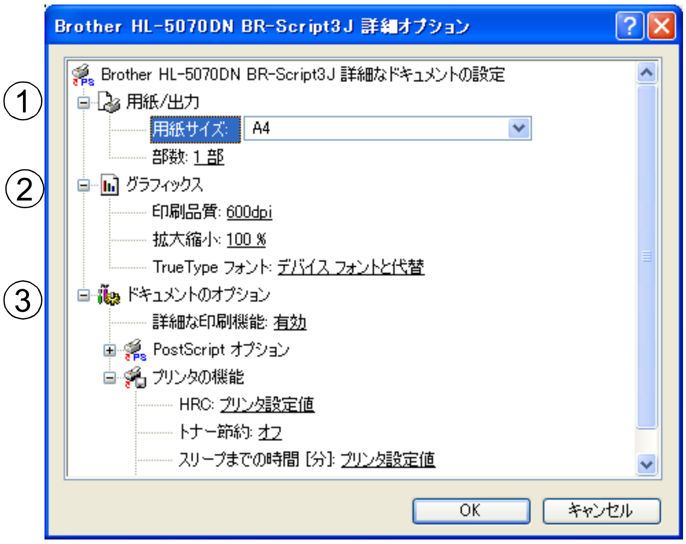


シートごとのページを使用したときの例

2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合	4 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合
「**2**」を選択 	「**4**」を選択 

⑤詳細設定

［詳細設定(V)...］をクリックすると、［Brother HL-5070DN BR-Script3J 詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。



詳細オプションでは、次の項目を設定できます。

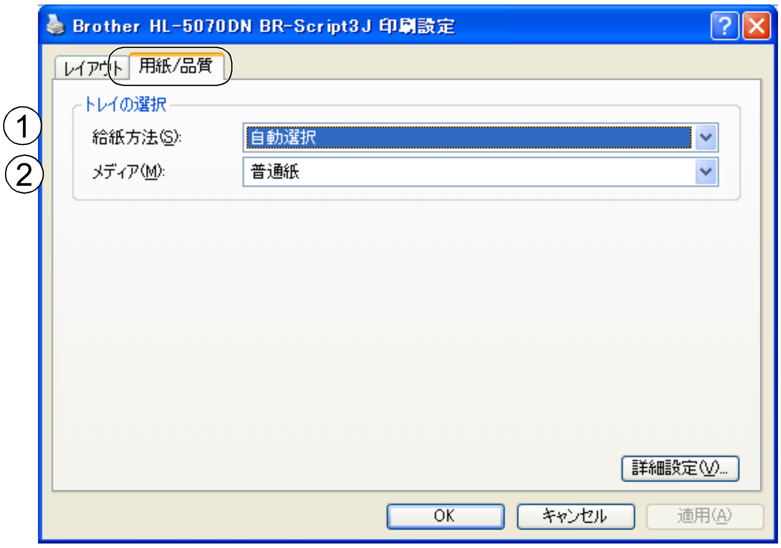
①用紙 / 出力：
- 用紙サイズ
- 部数

②グラフィックス：
- 印刷品質
- 拡大縮小
- TrueType フォント

③ドキュメントのオプション：
- 詳細な印刷機能
- PostScript オプション
  - PostScript 出力オプション
  - TrueType フォント ダウンロードオプション
  - PostScript 言語レベル
  - PostScript エラーハンドラを送信
  - 左右反転印刷
  - 白黒反転印刷

③ドキュメントのオプション：　・プリンタの機能
・HRC
・セキュリティ印刷
・パスワード
・印刷ジョブ名
・トナー節約
・スリープまでの時間［分］
・BR-Script レベル

［用紙 / 品質］タブでの設定項目



①トレイの選択

「自動選択」：　本機が自動的にトレイを選択します。

「トレイ 1」：　用紙カセットから普通紙を印刷する場合に選択します。「用紙カセットから印刷する」P.2-41を参照してください。

「トレイ 2」：　オプションのローワートレイユニットを使用するときに選択します。オプションは別売品です。P.4-6を参照してください。

「MP トレイ」：　HL-5070DN のみ選択できます。多目的トレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46を参照してください。

「手差し」：　HL-5040 のみ選択できます。一度に 1 枚の記録紙しか送れません。最初のページが印刷されると、用紙を挿入するよう本機のコントロールパネル上の Paper ランプが点滅し、Status ランプが点灯します。手差しトレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「手差しトレイから印刷する（HL-5040）」P.2-44を参照してください。

②メディア　　お使いになる用紙の種類を選択します。

メモ　多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

Macintosh® 用プリンタドライバを設定する

本機は、Mac OS® 8.6 ～ 9.2、Mac OS® X 10.1 ～ 10.2 に対応しています。
最新のプリンタドライバやその他の情報は、Brother Solutions Center
（**http://solutions.brother.co.jp**）から入手できます。

メモ
- このセクションの画面は、Mac OS® X 10.2 の画面です。お使いのパソコン画面は、オペレーティングシステムによって異なります。
- 手順内のイラストは、HL-5070DN をもとに説明しています。

Macintosh® プリンタドライバの設定方法

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

- Macintosh® スタンダード プリンタドライバの場合
  「対象プリンタ」が「HL-5070DN（5040）series」になっていることを確認します。
- Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバの場合（HL-5070DN）
  「対象プリンタ」が「Brother HL-5070DN BR-Script3J」になっていることを確認します。

右の画面が表示され、次の項目が設定できます。
・用紙サイズ
・方向
・拡大縮小

2 設定が終わったら、OK をクリックします。

3 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

- Macintosh® スタンダード プリンタドライバの場合
  「対象プリンタ」が「HL-5070DN（5040）series」になっていることを確認します。
- Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバの場合（HL-5070DN）
  「対象プリンタ」が「Brother HL-5070DN BR-Script3J」になっていることを確認します。

4 ポップアップメニューから項目を選択します。

右の画面が表示され、次の項目が設定できます。

①印刷部数と印刷ページ
- 部数
- ページ

②レイアウト
- ページ数／枚
- レイアウト方向
- 枠線

③両面印刷
（Macintosh® スタンダードプリンタドライバの場合は、Mac OS® X 10.2 を除く）

④出力オプション
- ファイルとして保存

⑤エラー処理（Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバのみ）
- PostScript エラー
- トレイの切り替え

Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバ

⑥給紙

● Macintosh® スタンダードプリンタドライバの場合
- 給紙方法

Macintosh® スタンダードプリンタドライバ

● Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）
- 全体、先頭ページのみ / 残りページ

Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバ

⑦印刷設定（Macintosh® スタンダードプリンタドライバのみ）
- 印字品質
- 用紙媒体
- トナー節約モード

Macintosh® スタンダードプリンタドライバ

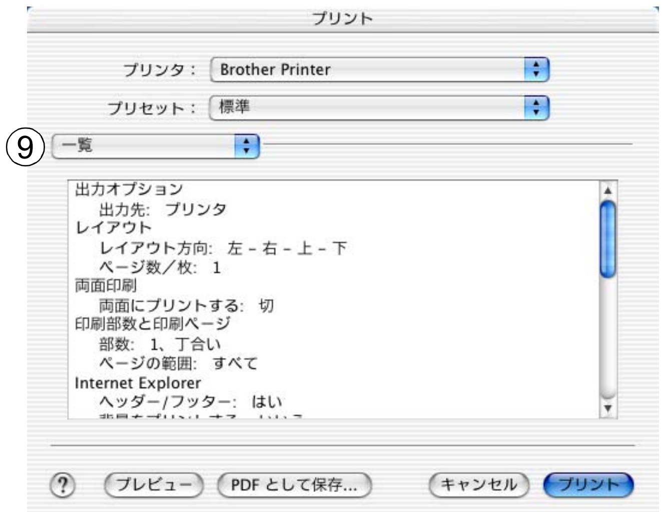
⑧プリンタの機能（Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバのみ）
「機能セット」で「設定 1」/「設定 2」を選択して、項目を切り替えます。

・設定 1
  ・用紙媒体
  ・解像度
  ・HRC
  ・トナー節約
  ・スリープまでの時間［分］

Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバ

・設定 2
  ・・BR-Script レベル

⑨一覧



5 設定が終わったら、プリント をクリックしてプリントします。

普通紙に印刷する

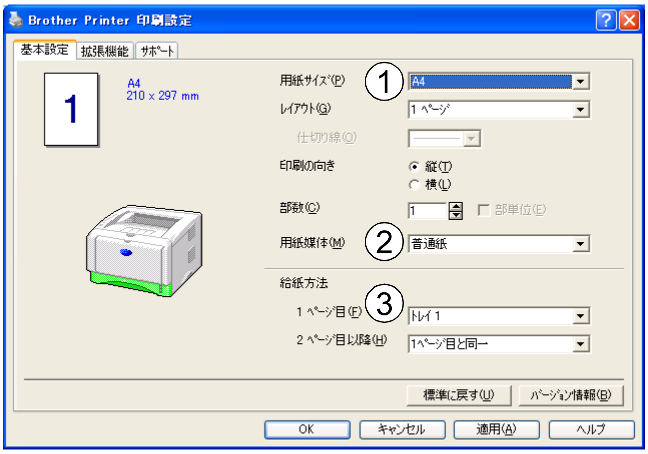
普通紙は、用紙カセットまたは手差しトレイ（HL-5040）、多目的トレイ（HL-5070DN）から印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-13を参照してください。

用紙カセットから印刷する

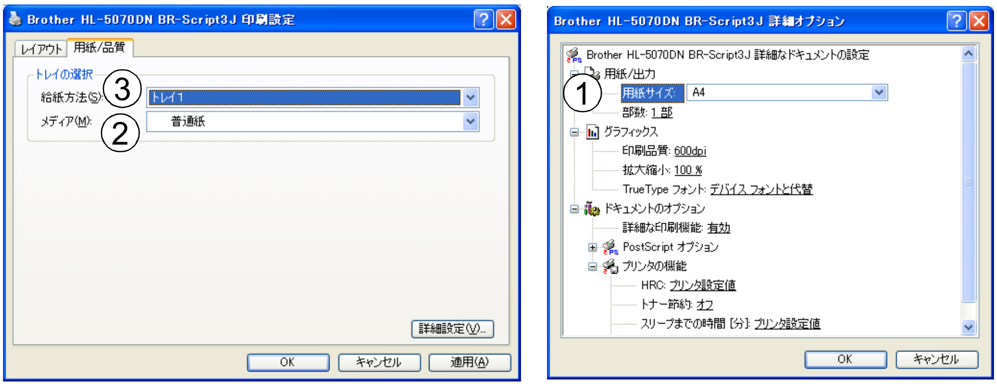
1 **プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。**

①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体　 ：普通紙（厚め）、普通紙
③給紙方法 1 ページ目 ：トレイ 1

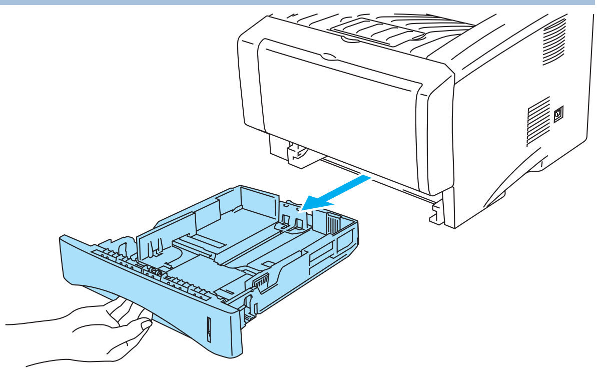
Windows® プリンタドライバ



Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）

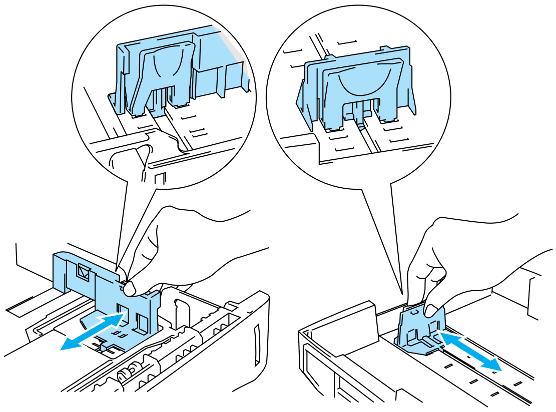


2 **本機から用紙カセットを引き出します。**

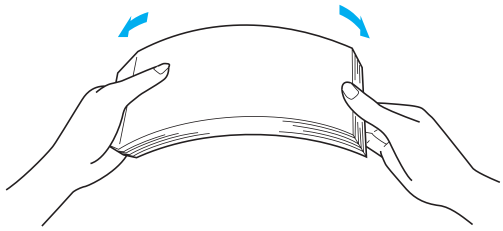


3 青色のペーパーガイドレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。

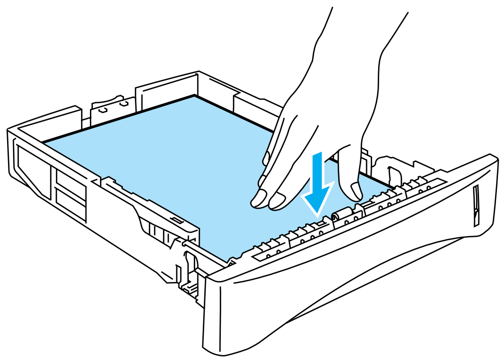


4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

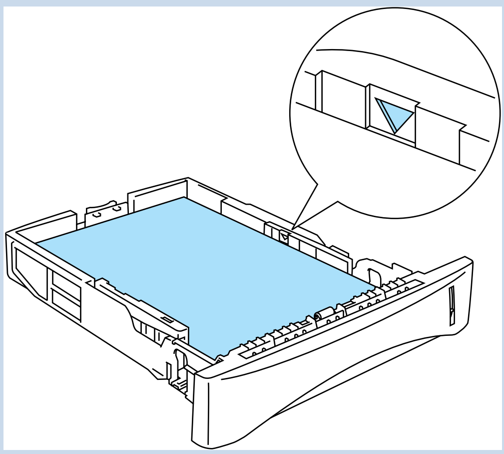


5 印刷面を下向きにして用紙をカセットにセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。



- 用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙カセットに用紙を 250 枚（80g/m^2）以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、用紙カセットにセットされている用紙の一番上にセットしてください。

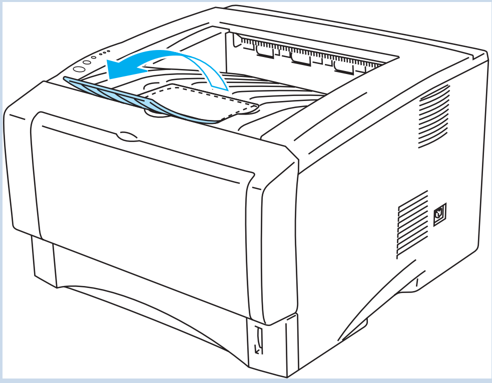


安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

6 用紙カセットを本機に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。
- 用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばさない場合には、本機から出てきた用紙をすぐに取り除くことをお勧めします。



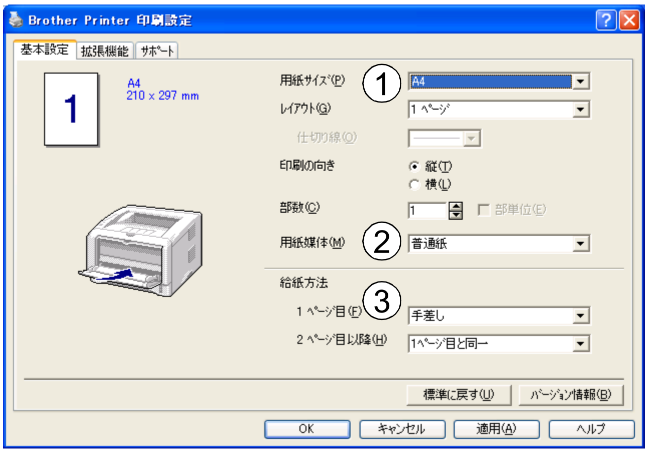
7 印刷データを本機に送ります。

手差しトレイから印刷する（HL-5040）

メモ
- 手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットしてください。複数枚の用紙を一度にセットすると、紙づまりを起こす恐れがあります。
- 手差しトレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

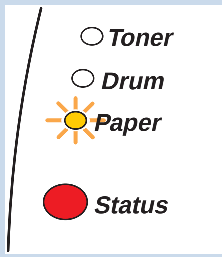
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体　 ：普通紙（厚め）、普通紙、ボンド紙
③給紙方法 1 ページ目：手差し

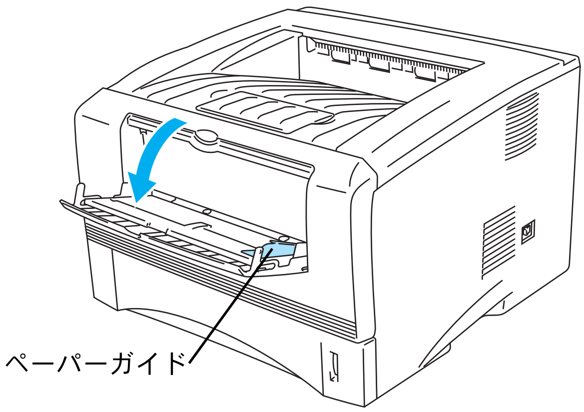


2 印刷データを本機に送ります。

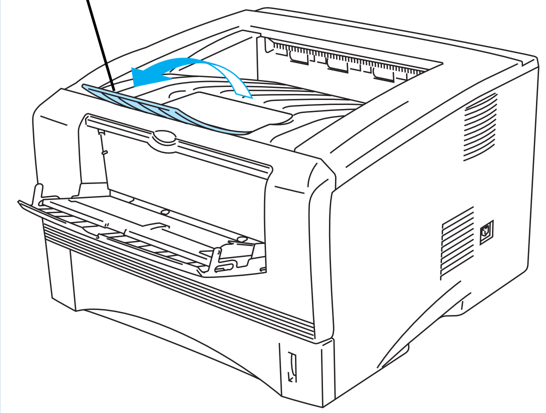
手差しトレイに用紙を挿入するまで、“用紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。



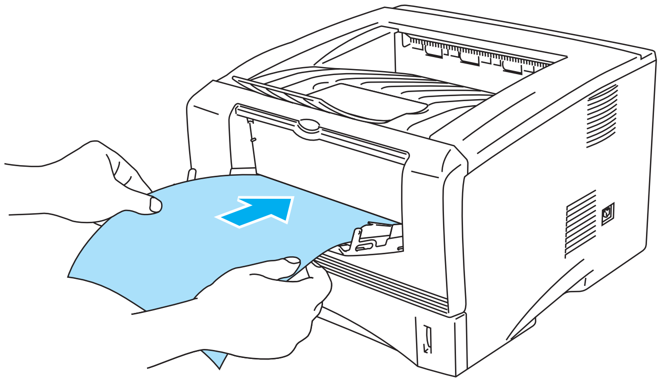
3 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。



- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。
- 用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばさない場合には、本機から出てきた用紙をすぐに取り除くことをお勧めします。



4 印刷面を上向きにし、用紙を両手で持って手差しトレイから挿入します。用紙の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。本機が自動的に給紙しはじめたら、用紙から手を離します。



- 用紙は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 用紙は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 本機が印刷可能状態になる前に、手差しトレイに用紙を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

5 印刷した用紙を本機が排出したら、手順 4 にしたがって次の用紙を挿入します。

印刷する枚数分、繰り返してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）

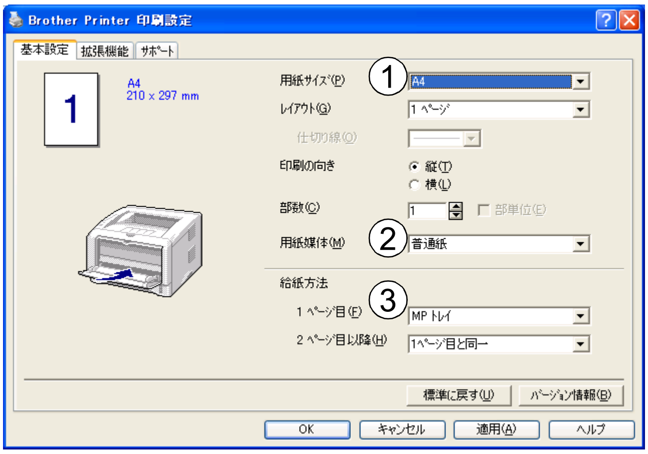
メモ

- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

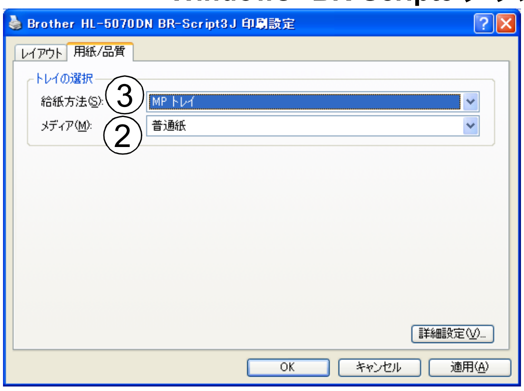
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

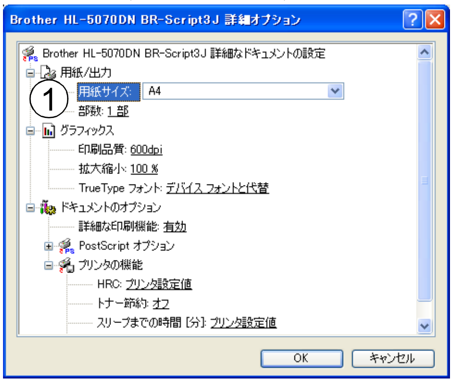
①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体 ：普通紙（厚め）、普通紙、ボンド紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

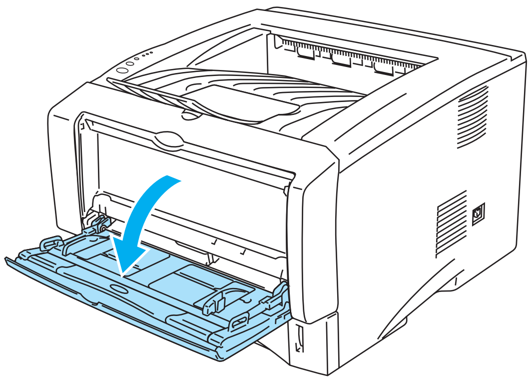


Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）

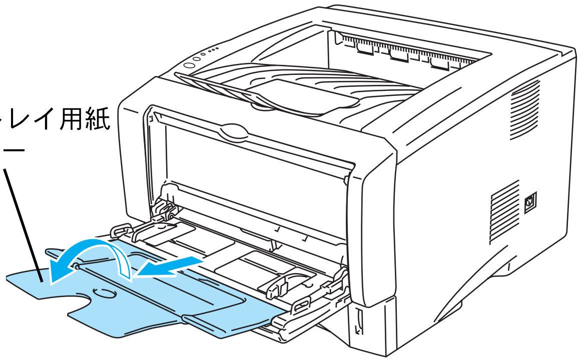




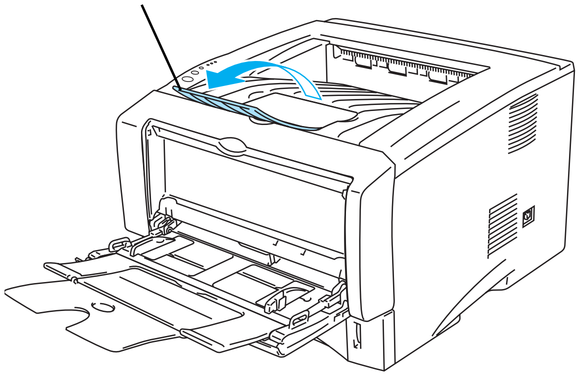
2 多目的トレイをゆっくりと開けます。



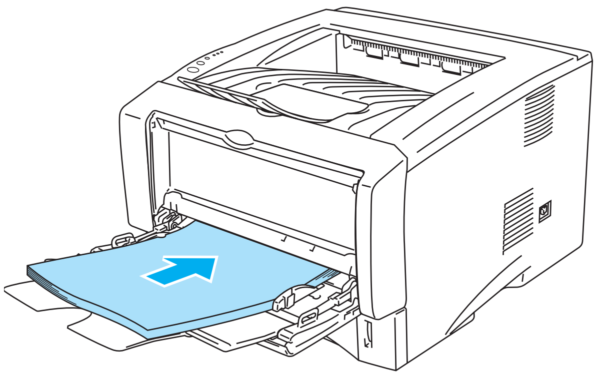
3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。
- 用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばさない場合には、本機から出てきた用紙をすぐに取り除くことをお勧めします。



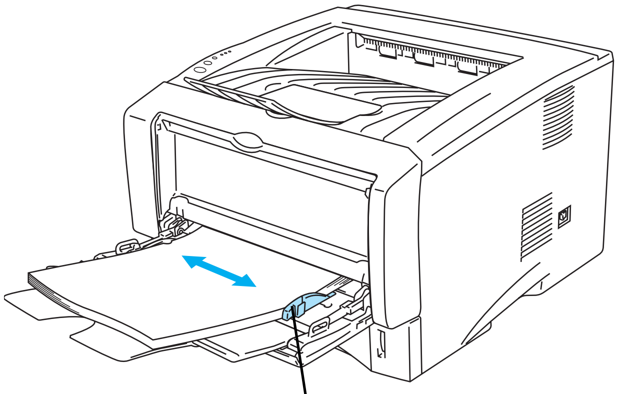
4 印刷面を上向きにして多目的トレイに用紙を挿入します。



用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

5 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。



多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。
- 用紙は上の面に印刷されます。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。
- はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 用紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。

6 印刷データを本機に送ります。

厚紙およびハガキに印刷する

厚紙は、手差しトレイ（HL-5040）、多目的トレイ（HL-5070DN）から印刷できます。
官製ハガキは、用紙カセット、手差しトレイ（HL-5040）、多目的トレイ（HL-5070DN）から印刷できます。
背面排紙トレイを開けているときは、手差しトレイや多目的トレイから給紙された用紙は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って厚紙や官製ハガキに印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-13を参照してください。

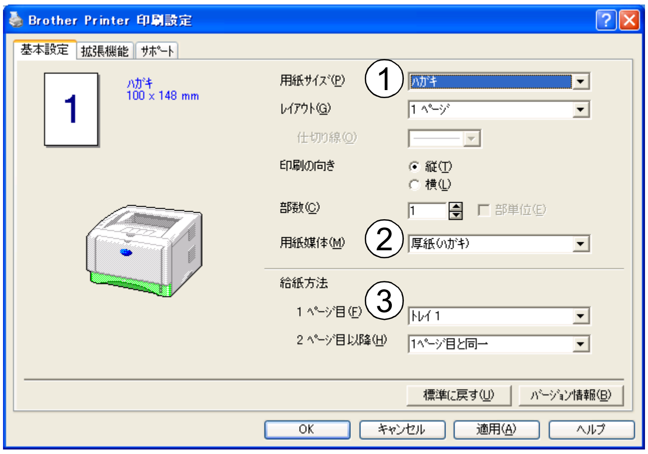
用紙カセットから印刷する

メモ
- 用紙カセットへは、30 枚以上の官製ハガキをセットしないでください。
- 私製ハガキ、往復ハガキ、印刷済みハガキは印刷できません。また、絵入りのハガキなど、使用されるハガキの条件によっては、用紙の搬送や印字品質に影響を及ぼす場合がありあます。

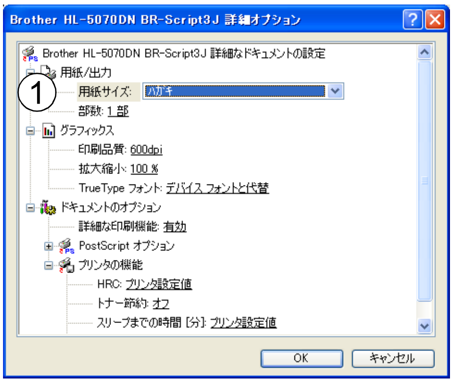
1 **プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。**

①用紙サイズ ：ハガキ
②用紙媒体 ：厚紙（ハガキ）、超厚紙
③給紙方法 1 ページ目：トレイ 1

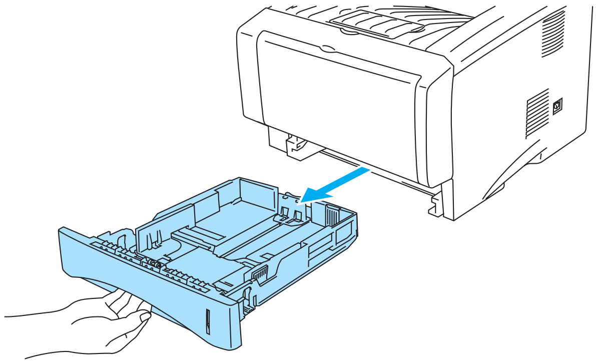
Windows® プリンタドライバ



Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）

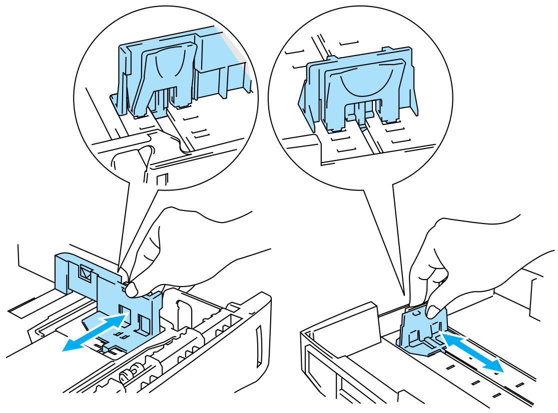


2 本機から用紙カセットを引き出します。

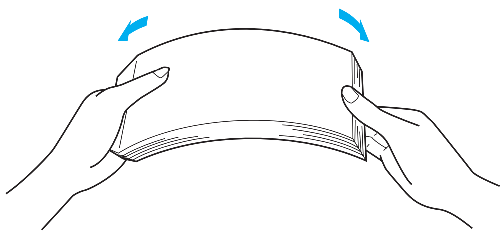


3 青色のペーパーガイドレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。

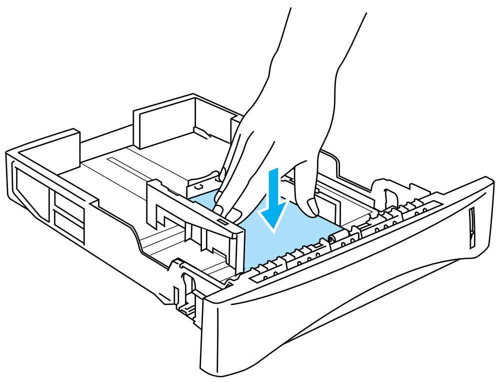


4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

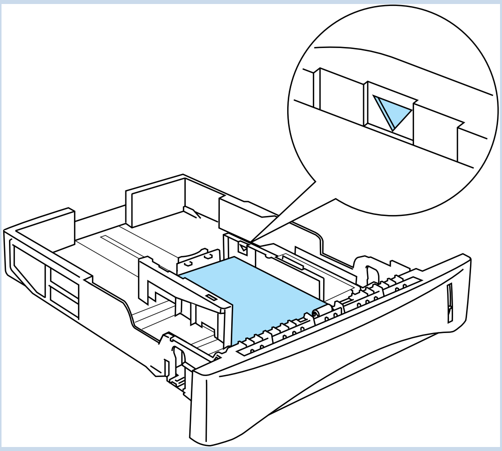


5 印刷面を下向きにして用紙をカセットにセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。



- 用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙カセットに官製ハガキを 30 枚以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、用紙カセットにセットされている紙紙の一番上にセットしてください。



6 用紙カセットを本機に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

7 印刷データを本機に送ります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

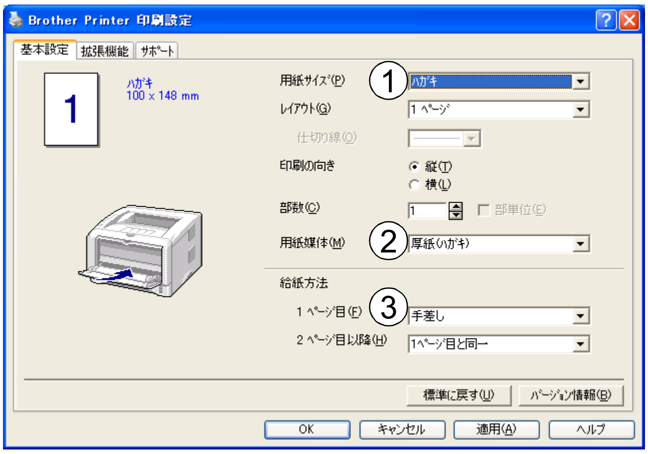
手差しトレイから印刷する（HL-5040）

メモ

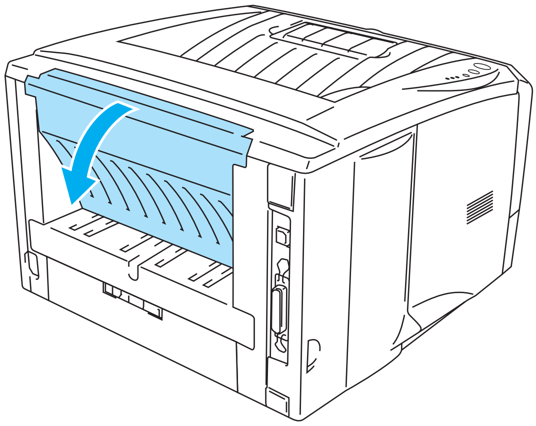
- 手差しトレイには用紙を 1 枚ずつしかセットできません。複数枚の用紙を一度にセットすると、紙づまりを起こす恐れがあります。
- 手差しトレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ　：ハガキ（ハガキの場合)、
　　　　　　　　任意選択（厚紙の場合）
②用紙媒体　　：厚紙（ハガキ)、超厚紙
③給紙方法 1 ページ目：手差し

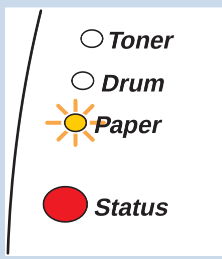


2 背面排紙トレイを開けます。



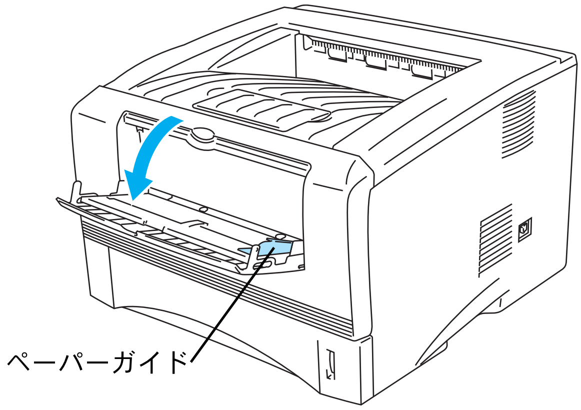
3 印刷データを本機に送ります。

手差しトレイに用紙を挿入するまで、“用紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

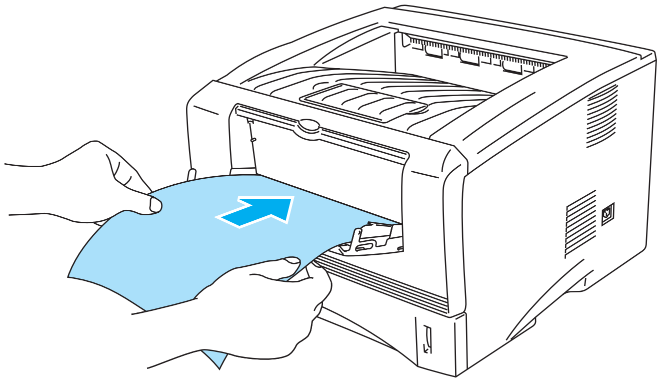


安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

4 **手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。**



5 **印刷面を上向きにし、用紙を両手で持って手差しトレイに用紙を挿入します。用紙の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。本機が自動的に給紙しはじめたら、用紙から手を離します。**

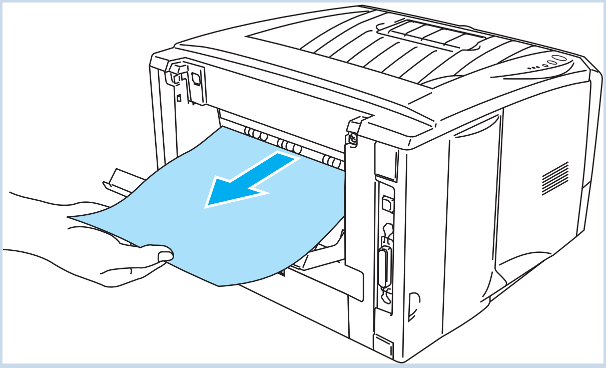


- 用紙は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 用紙は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 本機が印刷可能状態になる前に、手差しトレイに用紙を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

6 印刷した用紙を本機が排出したら、手順 5 にしたがって次の用紙を挿入します。

印刷する枚数分、繰り返してください。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。



7 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）

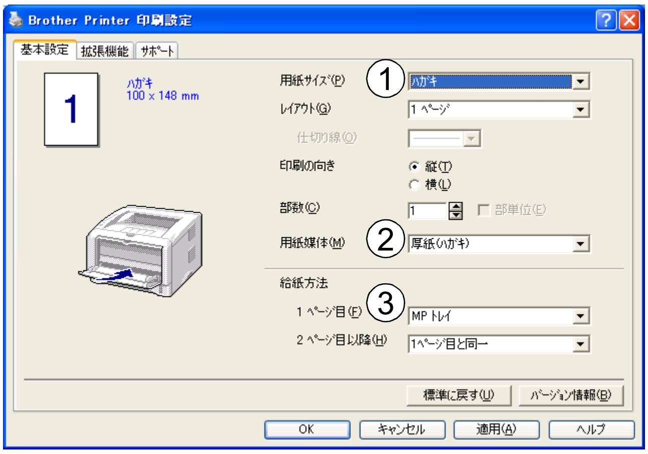
メモ

- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。
- 私製ハガキ、往復ハガキ、印刷済みハガキは印刷できません。また、絵入りのハガキなど、使用されるハガキの条件によっては、用紙の搬送や印字品質に影響を及ぼす場合がありあます。

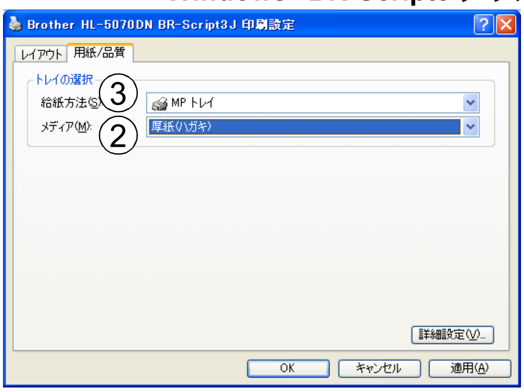
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

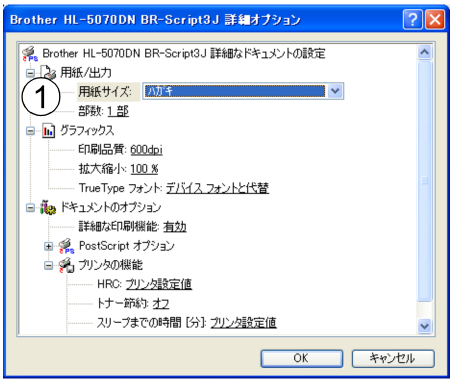
①用紙サイズ ：ハガキ（ハガキの場合）、
任意選択（厚紙の場合）
②用紙媒体　：厚紙（ハガキ）、超厚紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

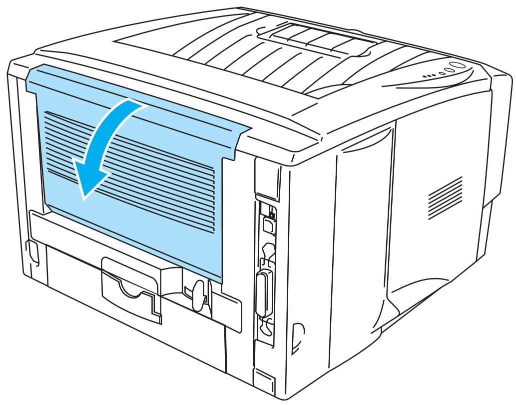


Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）





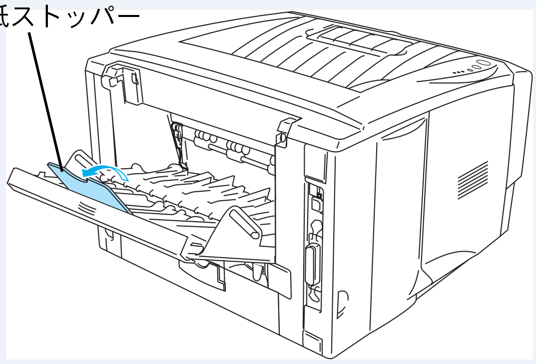
2 背面排紙トレイを開けます。



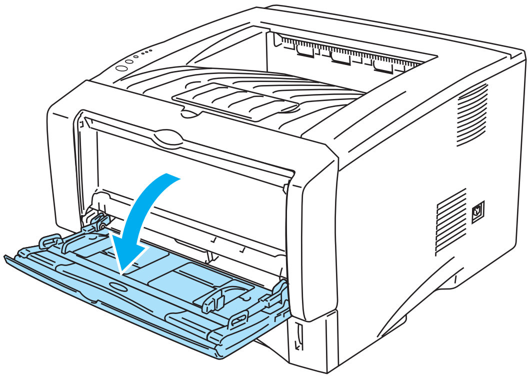
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

メモ

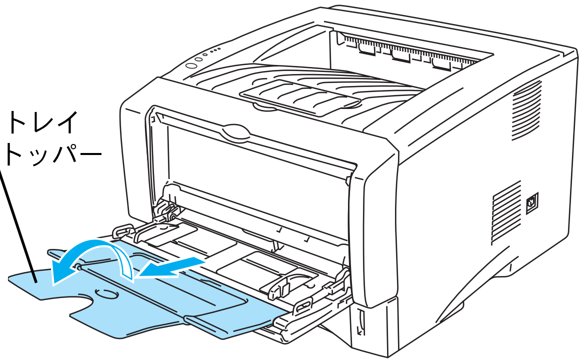
必要に応じて背面排紙トレイの用紙ストッパーを引き出してください。



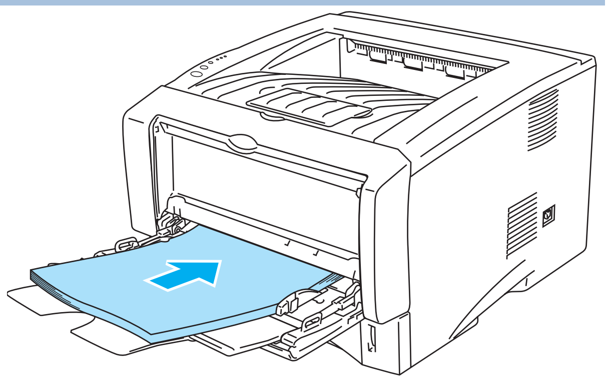
3 多目的トレイをゆっくりと開けます。



4 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。

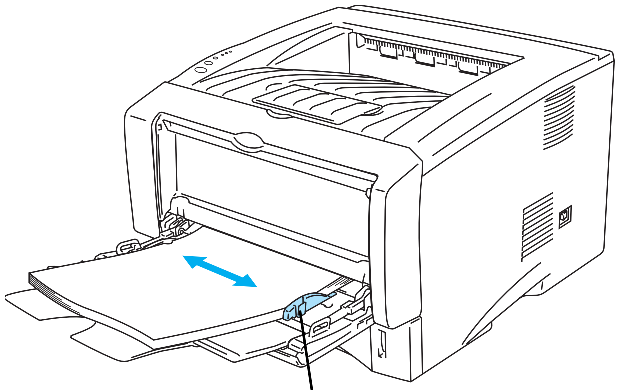


5 印刷面を上向きにして用紙を多目的トレイに挿入します。



用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

6 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。



多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。
- 用紙は上の面に印刷されます。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。
- はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 用紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。

7 印刷データを本機に送ります。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

8 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

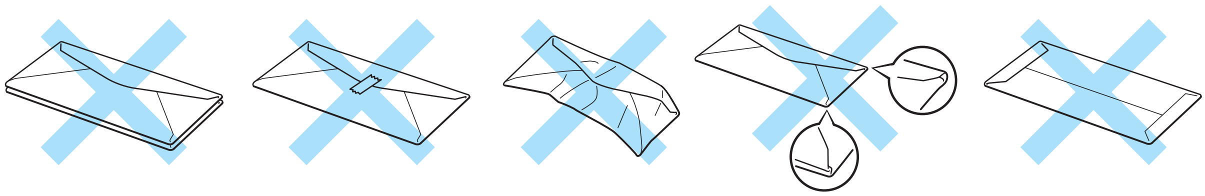
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

封筒に印刷する

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

・破れ、反り、しわのある封筒、または規格外の封筒
・極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
・とめ金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
・粘着加工を施した封筒
・袋状加工の封筒
・折り目がしっかりついていない封筒
・エンボス加工の封筒
・レーザープリンタで一度印刷された封筒
・内部が印刷された封筒
・一定に積み重ねられない封筒
・プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
・作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
・透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
・タテ形（和形）の封筒



上記の種類の封筒を使用すると、本機が故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

- 封筒を印刷するときは、紙づまりや給紙ミスを防ぐため、あらかじめ封筒をよくさばき、正しくセットしてください。
- いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。
- 封筒に両面印刷することはできません。
- 正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。
- 「使用できる用紙と領域」P.1-13を参照してください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
先端の紙の貼り合せ部分が厚過ぎず、角がまっすぐで、しっかりと折り目が付けられているものを選択してください。適した封筒は、ふくれてなく、薄くて平らな状態になっています。
また、レーザープリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する場合は、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

メモ　特に推奨するメーカーはありません。上記の使用できない封筒以外の印刷に適した封筒をお選びください。

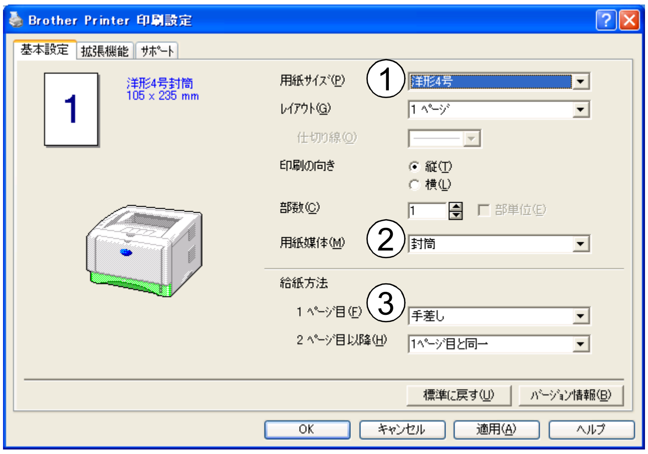
手差しトレイから印刷する（HL-5040）

背面排紙トレイを開けているときは、手差しトレイから給紙された封筒は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って封筒に印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。

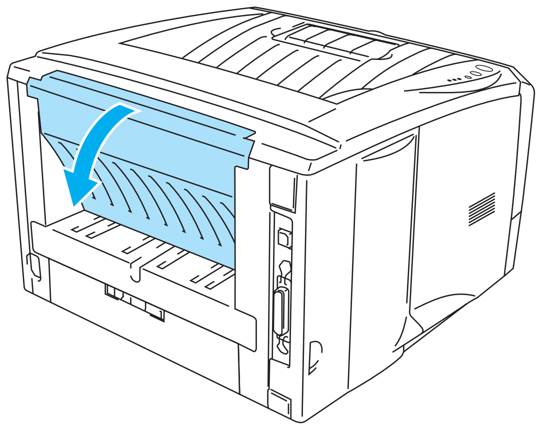
メモ
- 手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットしてください。複数枚の用紙を一度にセットすると、紙づまりを起こす恐れがあります。
- 手差しトレイから封筒を挿入すると、本機は自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：洋形 4 号、洋形最大
②用紙媒体 ：封筒、封筒（厚め）、封筒（薄め）
③給紙方法 1 ページ目：手差し

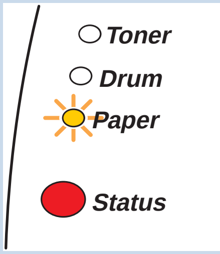


2 背面排紙トレイを開けます。

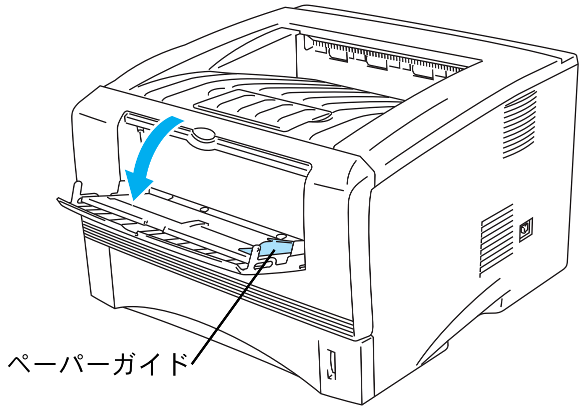


3 印刷データを本機に送ります。

手差しトレイに封筒を挿入するまで、“用紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

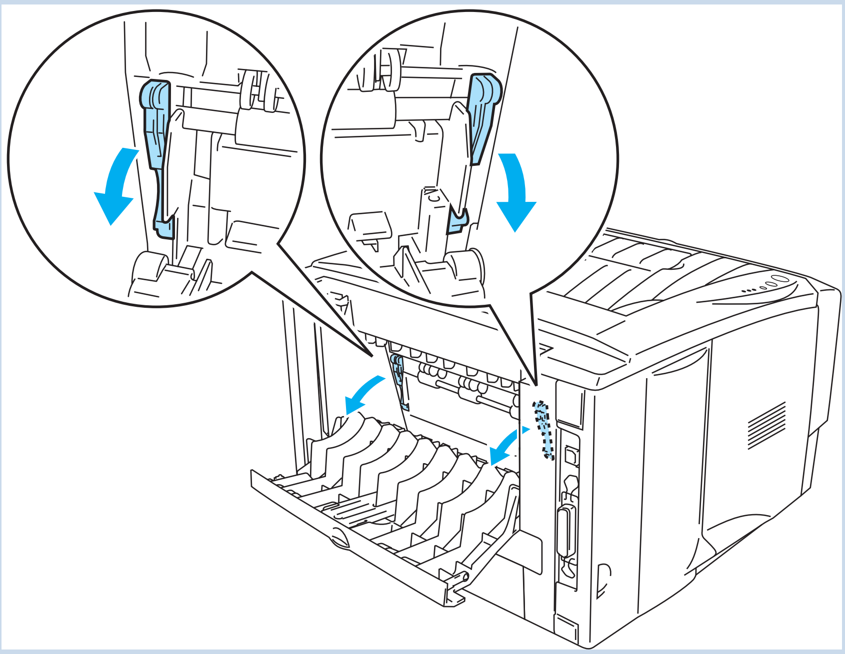


4 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する封筒サイズの幅に合わせます。



印刷した封筒にしわや折り目が付く場合

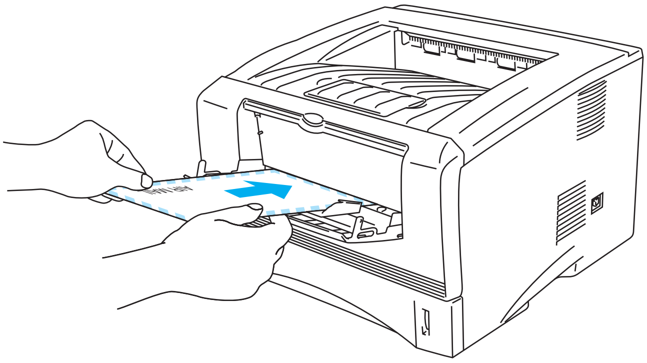
図のように、本機背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。



印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。つまみがリセットされ元の位置に戻ります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

5 印刷面を上向きにし、封筒を両手で持って手差しトレイから挿入します。封筒の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。本機が自動的に給紙しはじめたら、封筒から手を離します。



- 封筒は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。封筒が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 封筒は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 印刷したい面を上向きにして、手差しトレイに挿入してください。
- 本機が印刷可能状態になる前に、手差しトレイに封筒を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

6 印刷した封筒を本機が排出したら、手順 5 にしたがって次の封筒を挿入します。

印刷する枚数分、繰り返してください。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した封筒をすぐに取り除いてください。印刷した封筒を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

7 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

メモ 封筒の周囲に折り目やしわを付けないでください。

多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）

背面排紙トレイを開けているときは、多目的トレイから給紙された封筒は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って封筒に印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。

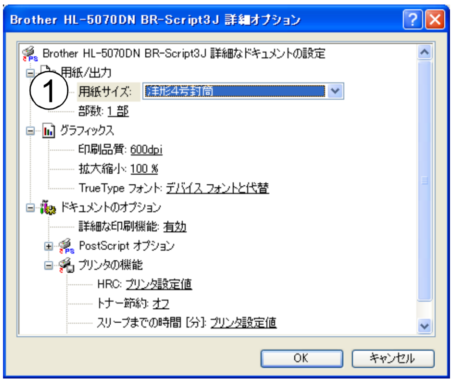
メモ
- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

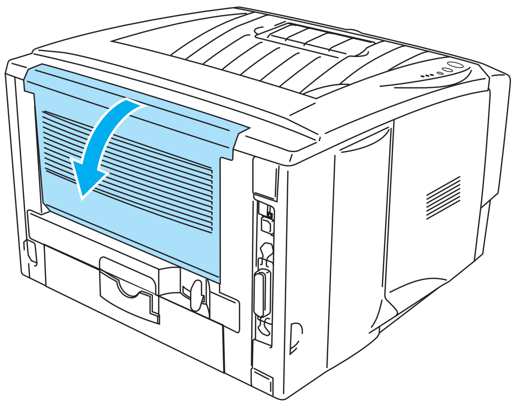
①用紙サイズ　：洋形 4 号、洋形最大
②用紙媒体　　：封筒、封筒（厚め）、
　　　　　　　　封筒（薄め）
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）

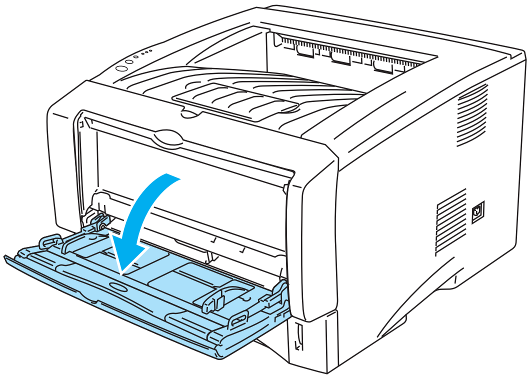


2 背面排紙トレイを開けます。

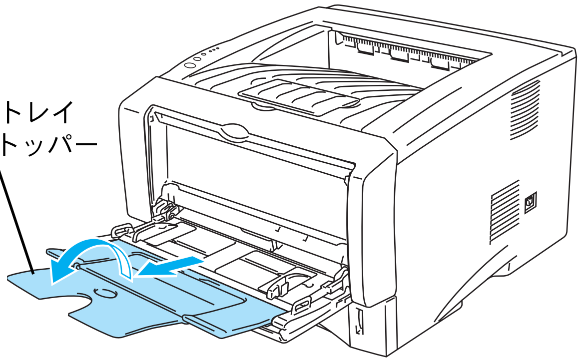


安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

3 多目的トレイをゆっくりと開けます。

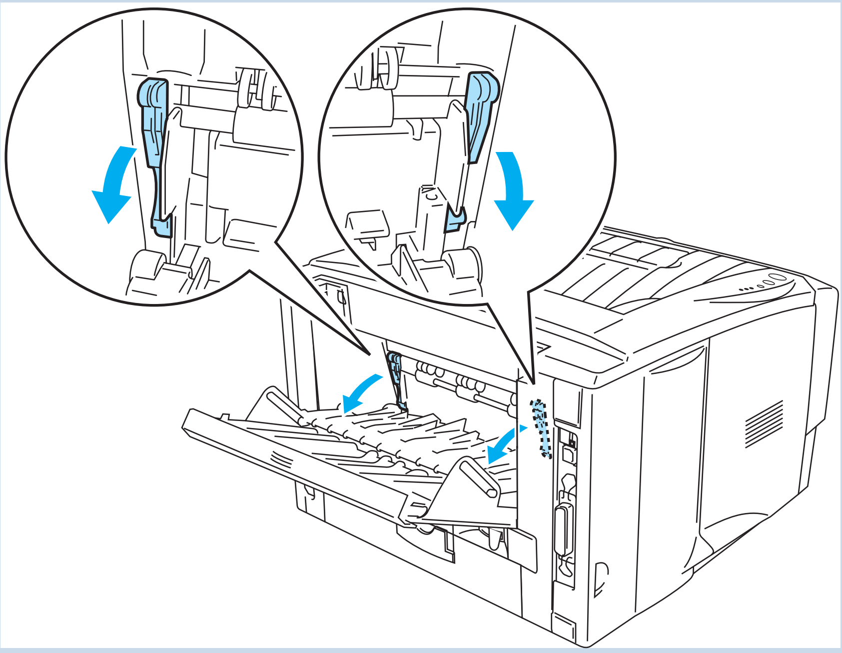


4 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



印刷した封筒にしわや折り目が付く場合

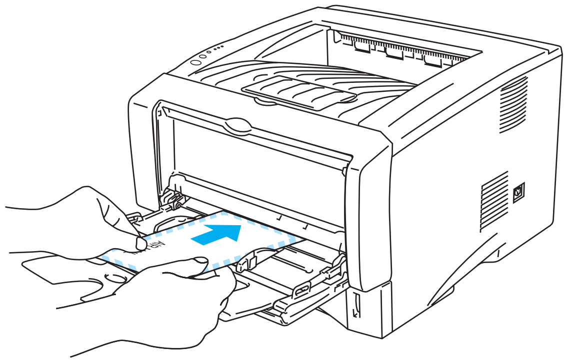
図のように、本機背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。



印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。つまみがリセットされ元の位置に戻ります。

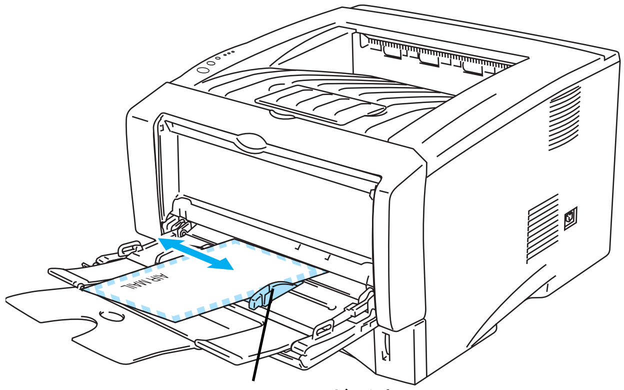
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

5 印刷面を上向きにして、封筒を多目的トレイに挿入します。



封筒は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。封筒が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

6 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、使用する封筒の幅に合わせます。



多目的トレイに封筒を挿入するときは、次の点に注意してください。
- 封筒は上の面に印刷されます。
- 印刷している間は、トレイが給紙するために持ち上がります。
- はじめに封筒の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 封筒はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。

7 印刷データを本機に送ります。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

8 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

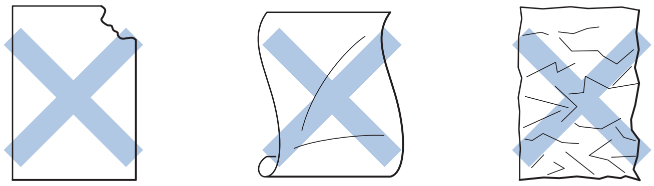
- 印刷した封筒が汚れたりシミになる場合は、まっすぐ封筒を通すために、プリンタドライバの［基本設定］タブの［用紙媒体］で「厚紙（ハガキ）」または「超厚紙」を選択してください。
- 印刷することで封筒ののり付けされている部分がはがれることはありません。
- 封筒の周囲に折り目やしわを付けないでください。

OHP 用紙・ラベル紙に印刷する

OHP 用紙は、用紙カセット、手差しトレイ（HL-5040)、多目的トレイ（HL-5070DN）から印刷できます。
ラベル紙は、手差しトレイ（HL-5040)、多目的トレイ（HL-5070DN）から印刷できます。

OHP 用紙やラベル紙に関する注意点

- 破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。
- 台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。本機に損傷を与えることがあります。
- レーザープリンタ印刷用紙の OHP 用紙、ラベル紙をお使いいただくことをお勧めします。
- レーザープリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐え得る素材の OHP 用紙やラベル紙をご使用ください。



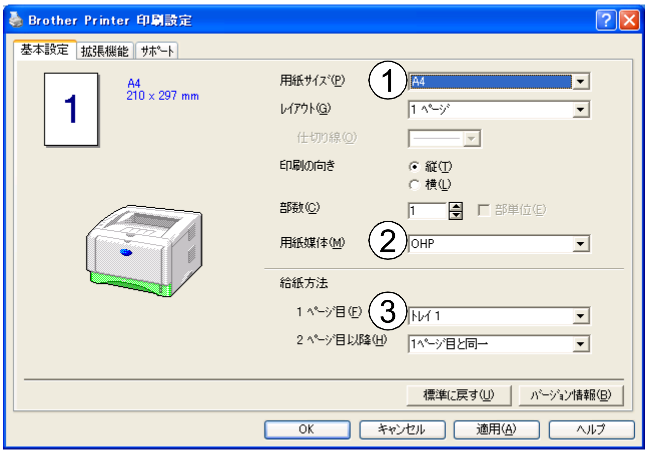
用紙カセットから印刷する

メモ　用紙カセットへは、10 枚以上の OHP 用紙をセットしないでください。

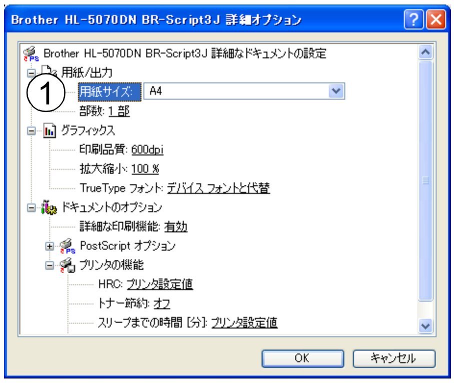
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ　：A4、レター
②用紙媒体　　：OHP
③給紙方法 1 ページ目：トレイ 1

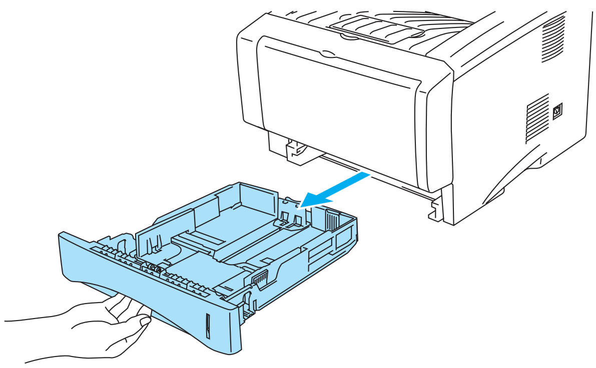
Windows® プリンタドライバ



Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）

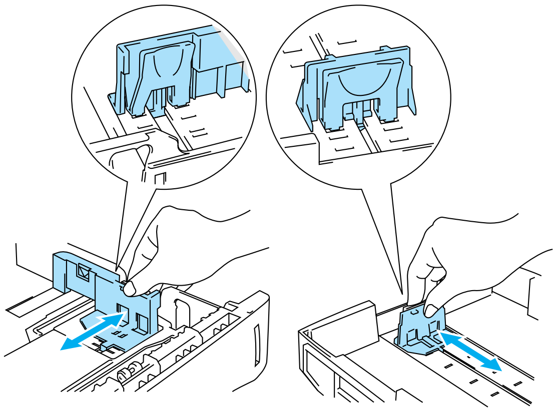


2 本機から用紙カセットを引き出します。



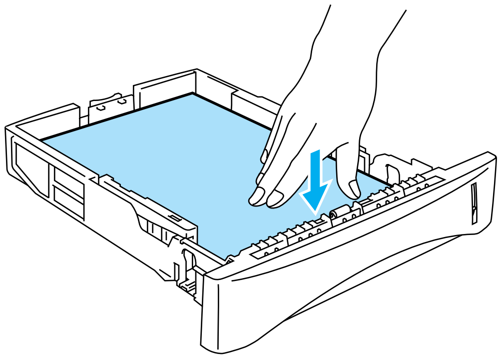
3 青色のペーパーガイドレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。



4 印刷面を下向きにして、用紙をカセットにセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。



用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙カセットに OHP 用紙を 10 枚以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。

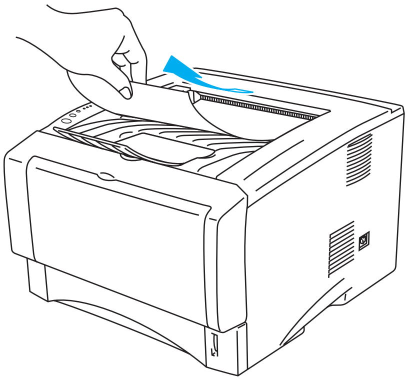
5 用紙カセットを本機に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

6 印刷データを本機に送ります。



本機から出てきた用紙は、上面排紙トレイからすぐに取り除いてください。

手差しトレイから印刷する（HL-5040）

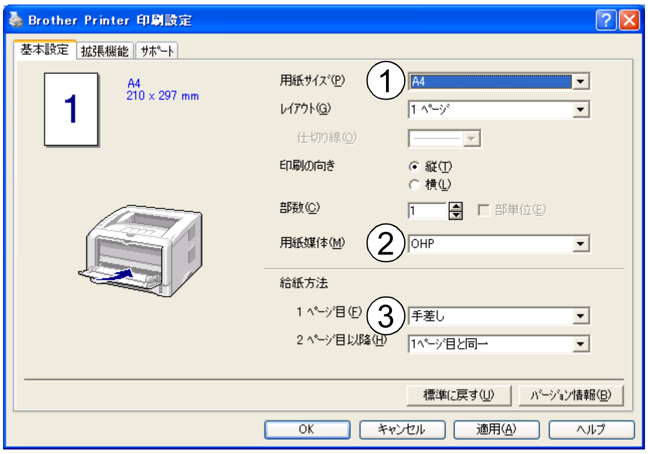
背面排紙トレイを開けているときは、手差しトレイから給紙された用紙は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。

メモ

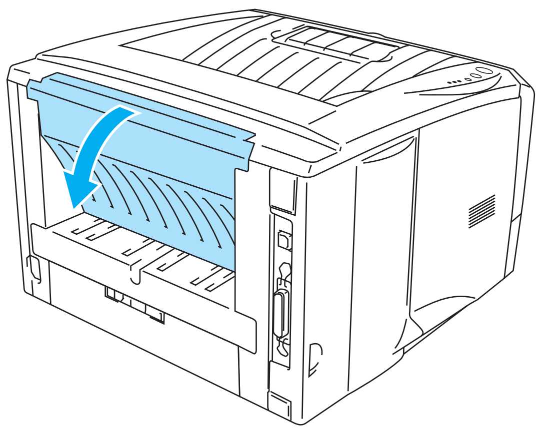
- 手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットしてください。複数枚の用紙を一度にセットすると、紙づまりを起こす恐れがあります。
- 手差しトレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：A4、レター
②用紙媒体 ：OHP（OHP 用紙の場合）
超厚紙（ラベル紙の場合）
③給紙方法 1 ページ目：手差し

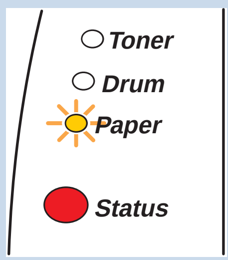


2 背面排紙トレイを開けます。



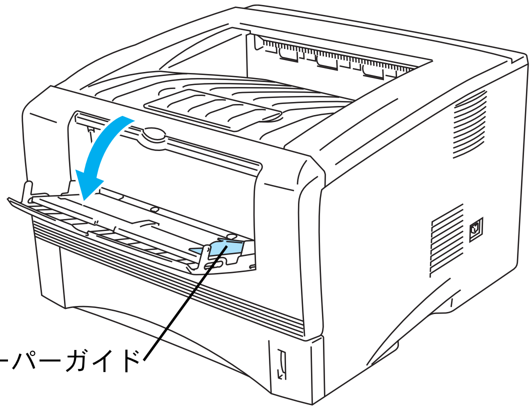
3 印刷データを本機に送ります。

手差しトレイに用紙を挿入するまで、“用紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

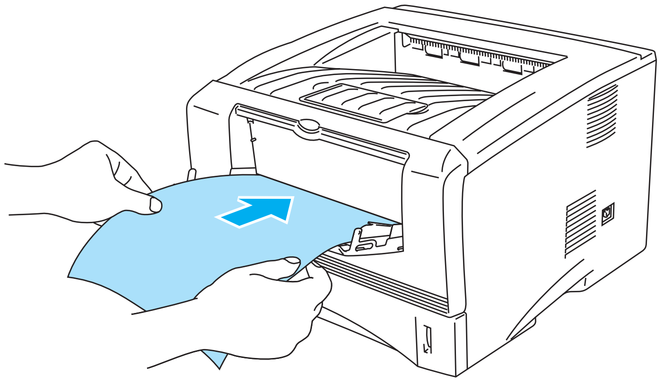


安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

4 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。



5 印刷面を上向きにし、用紙を両手で持って手差しトレイから挿入します。用紙の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。本機が自動的に給紙しはじめたら、用紙から手を離します。



- 用紙は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 用紙は１枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 本機が印刷可能状態になる前に、手差しトレイに用紙を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

6 印刷した用紙を本機が排出したら、手順 5 にしたがって次の用紙を挿入します。

印刷する枚数分、繰り返してください。

１枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

7 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）

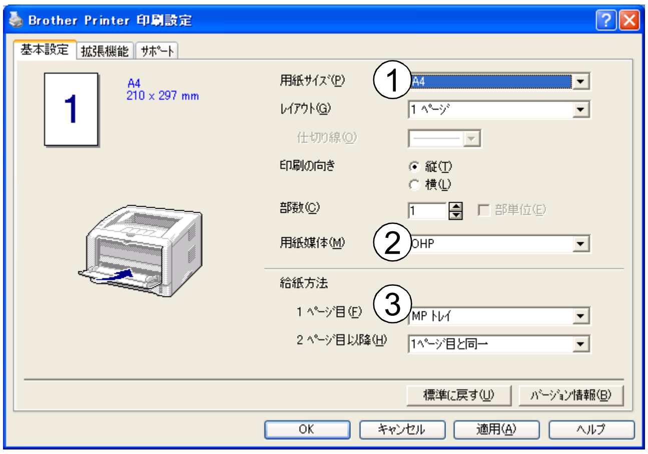
背面排紙トレイを開けているときは、多目的トレイから給紙された用紙は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。

メモ
- 多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。
- 多目的トレイへは、10 枚以上の OHP 用紙をセットしないでください。

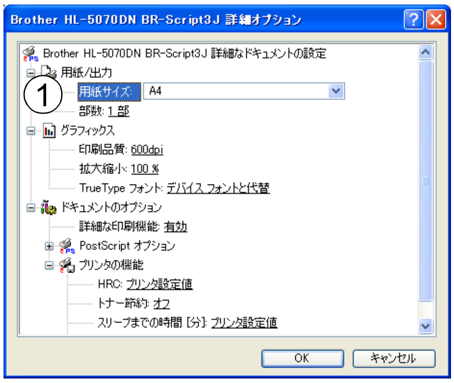
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：A4、レター
②用紙媒体 ：OHP（OHP 用紙の場合）
超厚紙（ラベル紙の場合）
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

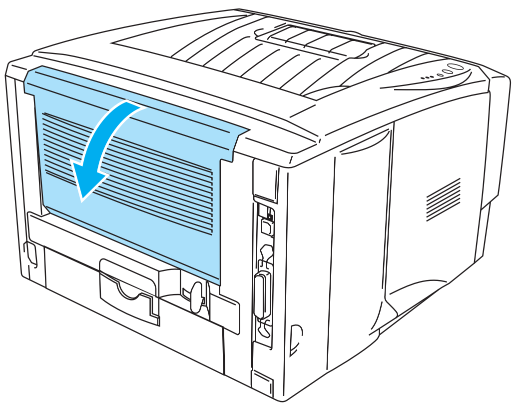
Windows® プリンタドライバ



Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（HL-5070DN）

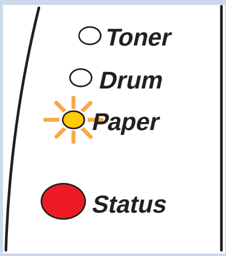


2 背面排紙トレイを開けます。

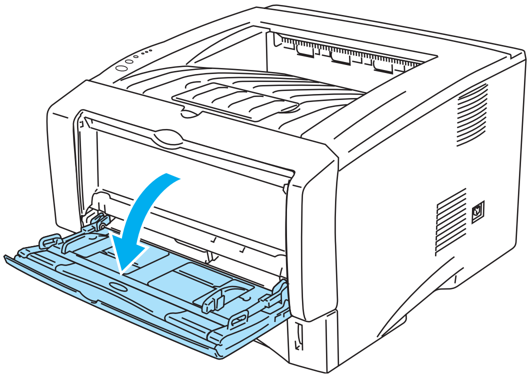


3 印刷データを本機に送ります。

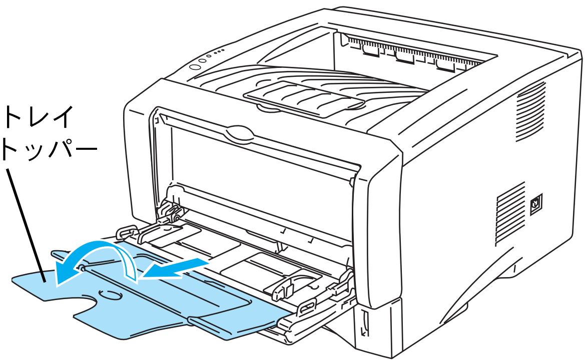
手差しトレイに用紙を挿入するまで、“用紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。



4 多目的トレイをゆっくりと開けます。

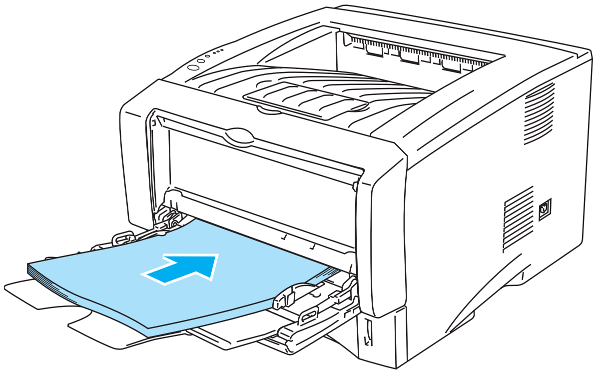


5 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



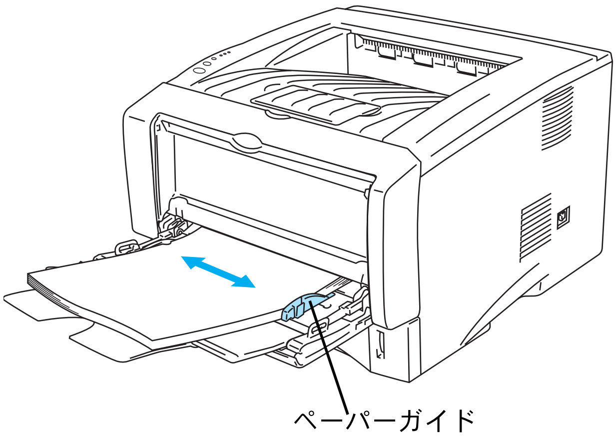
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

6 印刷面を上向きにして、多目的トレイに用紙を挿入します。



用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

7 ペーパーガイドリリースレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙サイズの幅に合わせます。



- 多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。
  - 用紙は上の面に印刷されます。
  - はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
  - 用紙はペーパーガイドリリースレバーの両側にある突起物より下に収まるように入れてください。
- 1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

8 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

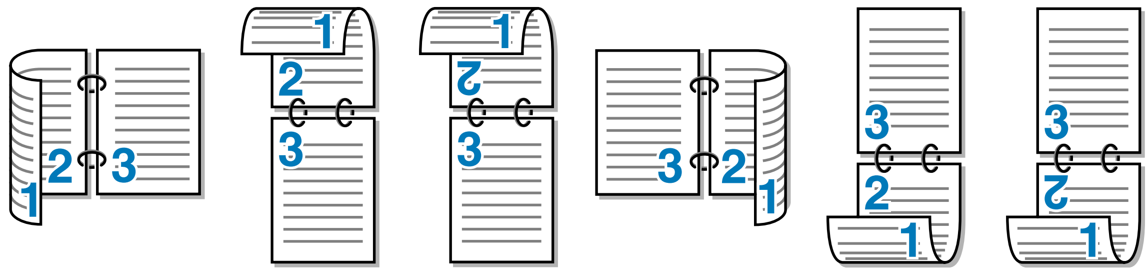
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

両面印刷する

設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ
Mac OS® X 10.2 では、手動両面印刷機能を使用することはできません。
Windows® BR-Script3 プリンタドライバ /Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバでは、手動両面印刷機能を使用することはできません。

両面印刷の例



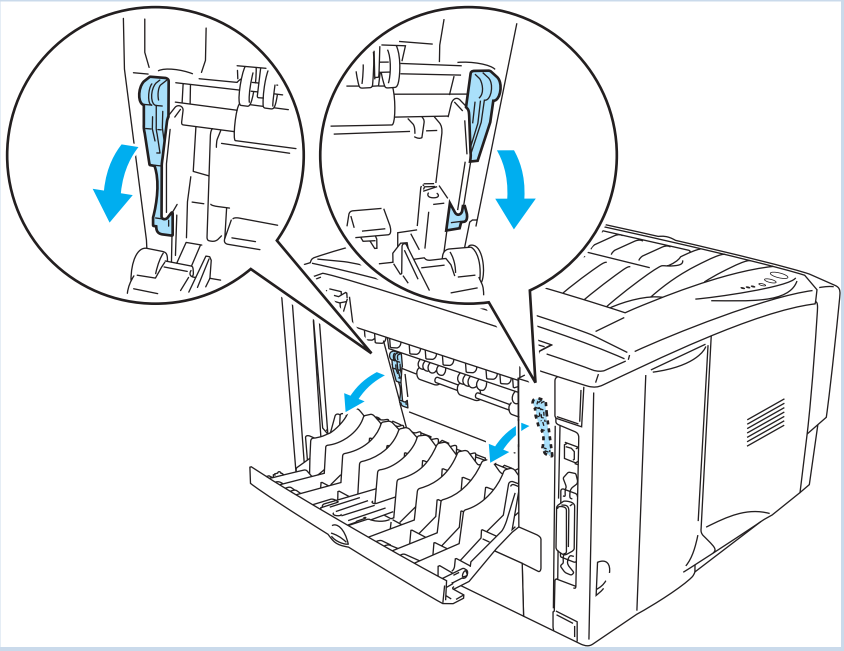
両面印刷に関する注意点

- 用紙が薄い場合は、しわが付く可能性があります。
- 用紙が反っている場合は、まっすぐに伸ばしてから用紙カセットに入れてください。
- ボンド紙は使用できません。
- 用紙が正常に給紙されないときは、用紙が反っている恐れがあります。用紙を取り出してまっすぐに伸ばしてください。

用紙カセットを使った両面印刷の注意点（HL-5040）

- 用紙カセットを使った両面印刷で、偶数ページ（裏面）の印刷が終了して奇数ページ（表面）の印刷を開始するときは、用紙カセット内に残っている用紙を一度取り出してください。その後、偶数ページ（裏面）を印刷した用紙のみを入れてください。そのとき印刷する面を上向きに入れてください。（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねないでください。）

手差しトレイを使って厚紙を両面印刷する場合、偶数ページ（裏面）を印刷した後、奇数ページ（表面）を印刷するために厚紙を挿入しても、給紙されないことがあります。このようなときは、図のように、本機背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。



印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。このとき、つまみは自動的に元の位置に戻ります。

両面印刷のポイント（HL-5040）

はじめに偶数ページ（裏面）を印刷します。
例えば、用紙 5 枚を使って 10 ページ分印刷する場合、まず 2 ページ、4 ページ、6 ページ ... が片面に印刷されます。その後印刷された用紙を用紙カセットまたは手差しトレイに入れ、もう一方の面に 1 ページ、3 ページ、5 ページ ... と順に印刷されます。

両面印刷する場合は、次の方法で用紙カセットまたは手差しトレイに用紙を入れてください。

手差しトレイの場合

手差しトレイに用紙を入れたときの上面が、印刷面になります。

① 手差しトレイに挿入した用紙の上面に偶数ページ（裏面）を印刷します。
② 偶数ページ（裏面）の印刷された面を下向きにして手差しトレイに挿入し、上面に奇数ページ（表面）を印刷します。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

① レターヘッドが印刷された面を下向きにして手差しトレイに挿入し、レターヘッドが印刷されていない面（上面）に 2 ページ目（裏面）を印刷します。
② レターヘッドが印刷された面を上向きに手差しトレイに挿入し、1 ページ目（表面）を印刷します。

用紙カセットまたはローワートレイユニット（オプション）

カセットに用紙を入れたときの下面が、印刷面になります。

① 印刷する面を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、カセットに用紙を入れ、偶数ページ（裏面）を印刷します。
② 偶数ページ（裏面）の印刷された面を上向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、1 枚目が 1 番上、2 枚目が上から 2 番目になるように用紙を重ねてカセットに用紙を入れ、奇数ページ（表面）を印刷します。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

①レターヘッドが印刷された面を上向きにして用紙の一番上に置き、カセットに用紙を入れ、偶数ページ（裏面）を印刷します。
②偶数ページ（裏面）の印刷された面を上向きにして、レターヘッドが印刷された 1 枚目が 1 番上、2 枚目が上から 2 番目になるように用紙を重ねてカセットに用紙を入れ、奇数ページ（表面）を印刷します。

用紙カセットから両面印刷する（HL-5040）

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「手動両面印刷」を選択します。

④「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

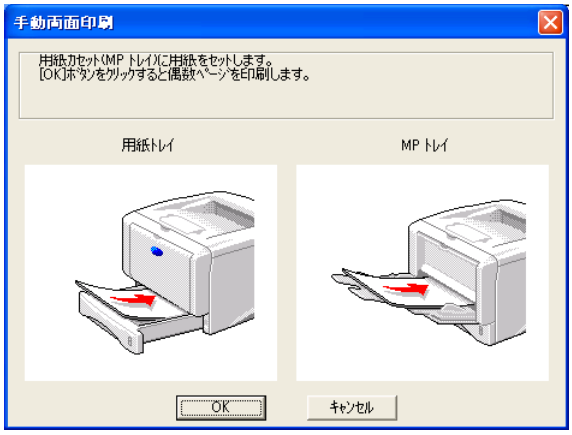
「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

- 給紙方法：トレイ 1

> **メモ**
> 用紙カセットからの印刷については、「用紙カセットから印刷する」P.2-41を参照してください。

3 本機は、まず用紙の片面に偶数ページを印刷します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

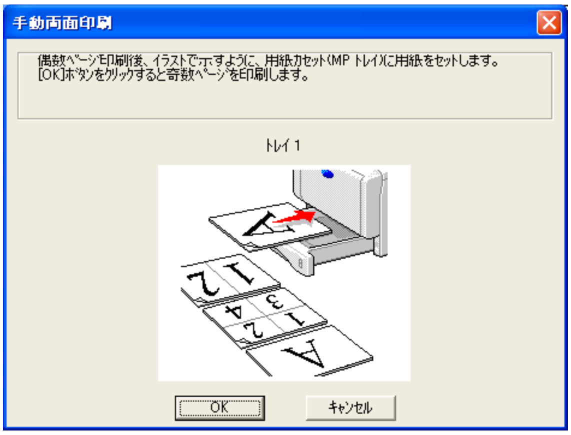


4 OK をクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

5 上面排紙トレイから偶数ページが印刷された用紙を取り出し、印刷されている面を上向きにして用紙カセットに戻します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



6 OK をクリックします。

7 用紙のもう一方の面に奇数ページを印刷します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

手差しトレイから両面印刷する（HL-5040）

- 手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットしてください。複数枚の用紙を一度にセットすると、紙づまりを起こす恐れがあります。
- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.6-8を参照してください。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「手動両面印刷」を選択します。

④「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

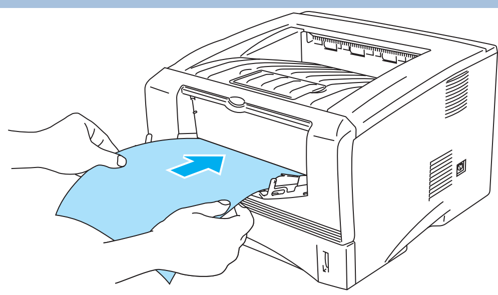
「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

● 給紙方法：手差し

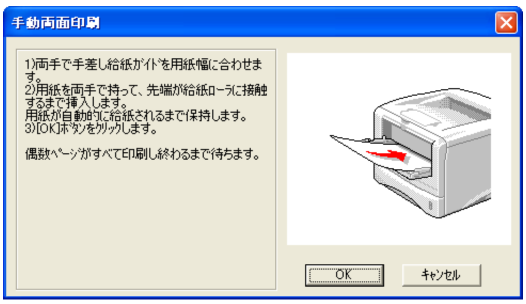
メモ

手差しトレイからの印刷については、「手差しトレイから印刷する（HL-5040）」P.2-44を参照してください。

3 偶数ページを印刷する面を上にして両手で持ち、手差しトレイに用紙を挿入します。



パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



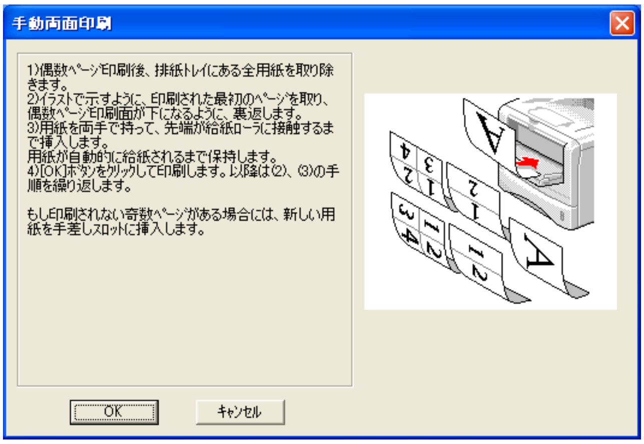
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

4 OK をクリックします。

5 すべての偶数ページの印刷が終了するまで、手順 3 の作業を繰り返してください。

6 偶数ページが印刷された用紙を取り、奇数ページを印刷する面を上向きにして順番に手差しトレイから挿入します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



7 OK をクリックします。

8 すべての奇数ページの印刷が終了するまで、手順 6 の作業を繰り返してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

自動両面印刷する（HL-5070DN）

- 両面印刷に使用できる用紙は、A4、レターおよびリーガルの普通紙です。
- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.6-8を参照してください。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「両面印刷ユニットを使う」を選択します。

④「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

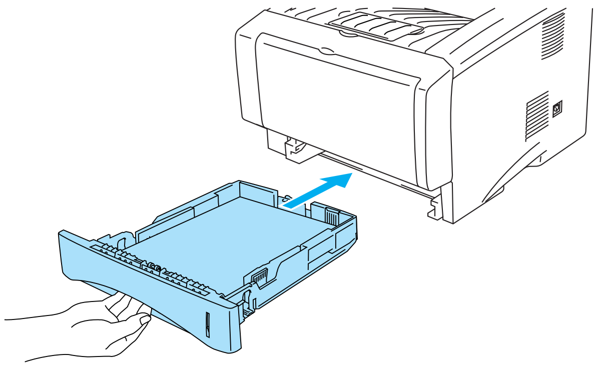
● 給紙方法：MP トレイ / トレイ 1

メモ

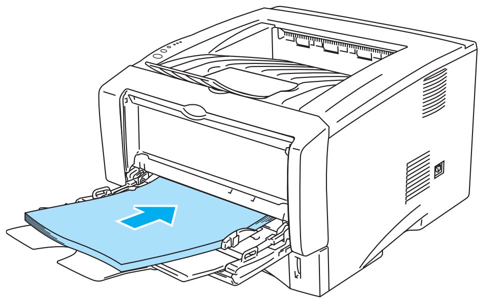
- 用紙カセットからの印刷については、「用紙カセットから印刷する」P.2-41を参照してください。
- 多目的トレイからの印刷については、「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46を参照してください。

3 偶数ページを揃えて、印刷する面を上にして用紙カセットまたは多目的トレイに用紙をセットします。

用紙カセット



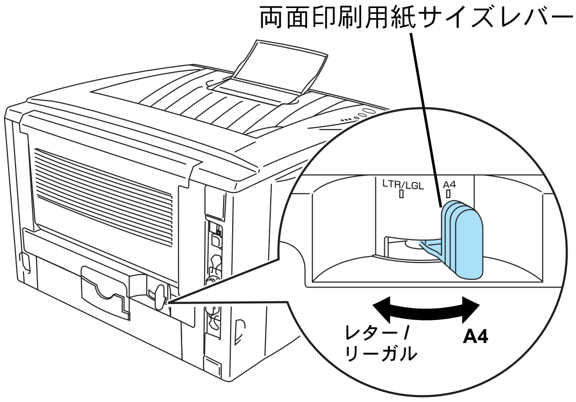
多目的トレイ



4 用紙サイズに合わせて、両面印刷用紙サイズレバーを切り替えます。

用紙サイズ	レバーの位置
A4	A4
レター、リーガル	LTR/LGL

両面印刷用紙サイズレバー



両面印刷用紙サイズレバーが用紙に対して正しく設定されていない場合には、紙づまりの原因になったり、用紙上の印刷位置が大幅にずれる場合があります。

5 OK をクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

複数のページを1枚にまとめて印刷する

メモ　このセクションは Windows® ユーザー専用です。

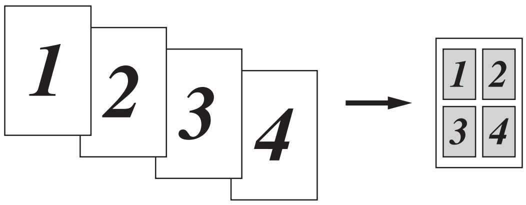
複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷したり、逆に 1 ページを複数の用紙に分割して印刷したりする方法について説明します。
確認のため試し印刷をするときなどに使用すると、用紙の節約になります。

1 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定した後、レイアウトを設定します。

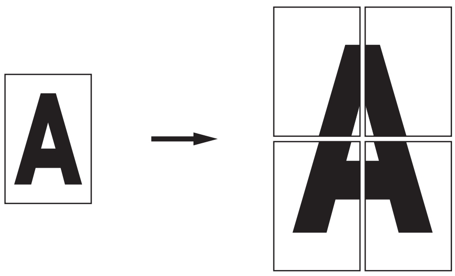
「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

①「レイアウト」から 1 枚にまとめて印刷するページ数（1,2,4,9,16,25 ページ）を選択します。

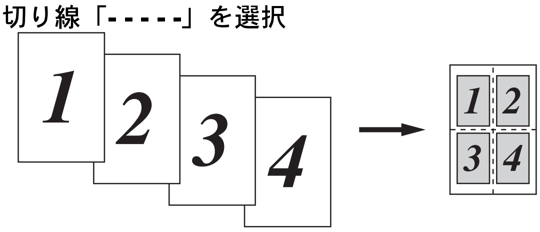
- 例えば、「4 ページ」を選択した場合、4 ページ分を 1 枚にまとめて印刷します。
  「4 ページ」を選択



- 「縦 2 ×横 2 倍」、「縦 3 ×横 3 倍」、「縦 4 ×横 4 倍」、「縦 5 ×横 5 倍」を選択した場合は、1 ページを選択した分割数で印刷します。
  例えば、「縦 2 ×横 2 倍」を選択した場合は、1 ページ分を 4 枚に分割して印刷します。
  「縦 **2** ×横 **2** 倍」を選択



② 1 枚に複数ページをまとめた場合、各ページに境界線を入れたいときは、「仕切り線」から線種を選択します。境界線が必要ないときは、「なし」を選択します。
「4 ページ」を選択、仕切り線「-----」を選択



2 印刷を開始します。

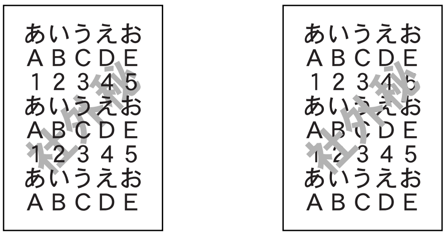
メモ　印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-41、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-49などを参照してください。

ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する

> **メモ** このセクションは Windows® ユーザー専用です。

ロゴや本文をウォーターマーク（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの 1 つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。

ウォーターマークを使用した例



1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、ウォーターマーク（すかし）を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

①（ウォーターマーク）をクリックします。

②「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックします。

③「ウォーターマーク選択」のリストから印刷するウォーターマークを選択します。

- リストに表示されているウォーターマークの設定を変更したいときは、［編集(E)］をクリックします。
- 新しくウォーターマークを作成したいときは、［新規(N)］をクリックします。
  表示された［ウォーターマーク設定］ダイアログボックスでウォーターマークを設定・変更します。

④必要に応じて、「バックグラウンド印刷」、「袋文字で印刷する」、「ウォーターマーク印刷設定」などを設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

3 印刷を開始します。

> **メモ** 印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-41、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-49などを参照してください。

用紙サイズを変えて印刷する

メモ このセクションは Windows® ユーザー専用です。

アプリケーションソフトで用紙サイズを指定して作成された文書は、通常その用紙サイズで印刷する必要があります。この機能を使うと、指定した用紙サイズに収まるように、文書を拡大縮小して印刷できます。

例えば、A4 サイズで作成されたデータを印刷したいが用紙が B5 サイズしかない場合、文書を縮小して B5 サイズの用紙に印刷できます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、拡大縮小を設定します。

「[拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

①（ページ設定）をクリックします。

②「印刷用紙サイズに合わせます」を選択します。

③「印刷用紙サイズ」から用紙サイズを選択します。

メモ 用紙サイズではなく任意の倍率を指定して、印刷することもできます。
「任意倍率」を選択して、「任意倍率［25 − 400％］」で倍率を設定します。その場合、作成されたデータが用紙のサイズに関係なく拡大、縮小されます。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

手順 1 の③で選択した用紙サイズを選択してください。用紙サイズが合っていないと、文書が用紙からはみ出したり、用紙より小さく印刷されてしまいます。

3 印刷を開始します。

メモ 印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-41、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-49などを参照してください。

特殊機能を使って印刷する

メモ　このセクションは Windows® ユーザー専用です。

［その他特殊機能］タブのプリント機能モードを設定しておくと、印刷時に実行して印刷することができます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、印刷時に使用するその他特殊機能を設定します。

①（その他特殊機能）をクリックします。

②「その他特殊機能」のリストから設定する項目をクリックします。
リストの右側に設定内容が表示されます。

・印刷ジョブのスプール.................... P.2-18
・クイックプリントセットアップ............ P.2-19
・スリープまでの時間...................... P.2-20
・ステータスモニタ........................ P.2-21
・マクロ設定.............................. P.2-22
・設定保護管理機能※1 .... P.2-23
・コマンド／ファイルの追加※1 .... P.2-24
・ページプロテクト........................ P.2-25
・日付・時間を印刷する.................... P.2-26
・濃度調整................................ P.2-27
・HRC（高解像度コントロール）※2 .... P.2-28

③詳細を設定します。

メモ　プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。
※1　設定保護管理機能、コマンド／ファイルの追加は、Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
※2　Windows® 95/98/Me の場合は、［拡張機能］タブの［グラフィックス］で［印刷設定］の［手動設定］をクリックして表示される画面で、HRC の設定と TrueType モードを変更できます。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

3 印刷を開始します。

メモ　印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-41、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-49などを参照してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

第 3 章 添付ソフトウェアを使う

添付ソフトウェアを使う

メモ このセクションは Windows® ユーザー専用です。

ネットワーク用ソフトウェア

メモ
- このセクションの説明は、HL-5070DN のみです。
- 詳細はネットワーク設定説明書を参照してください。

BRAdmin Professional

BRAdmin Professional は、Windows® 95/98/Me/2000/XP および Windows NT® 4.0 の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定したり、プリンタの状態を確認することができます。

オートマチックドライバインストーラ

このインストーラでは、お使いのパソコンに直接接続されているプリンタ（ローカルプリンタ）やネットワークプリンタのプリンタドライバを簡単にインストールできるツールです。
Windows® のシステムに接続されたローカルプリンタやネットワーク上のブラザープリンタのドライバおよびポートの設定を自動で行うプログラムを作成することができます。

第 4 章 オプションユニットを使う

取り付けできるオプション

本機には、次のようなオプションのアクセサリーがあります。オプションを取り付けることで本機の機能をさらに拡張することができます。
下表の マークをクリックするとそれぞれの詳しい情報を見ることができます。

モデル名	メモリ（DIMM）	ローワートレイユニット（LT-5000）
HL-5040	○ P.4-3	○ P.4-6
HL-5070DN	○ P.4-3	○ P.4-6

オプションは別売品です。お近くの販売店でご購入ください。または、ダイレクトクラブでのご購入もできます。
※メモリなどの他社製品は取り扱っておりません。

メモリ（DIMM）を増設する

メモリ（DIMM）について

メモリフルエラーが発生しないように、プリンタメモリを増設することをお勧めします。

HL-5040 をお使いの方へ

本機は 8MB のメモリを内蔵し、オプションの増設メモリ用のスロットが設けられています。メモリは、市販の DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）を取り付けることで、最大で合計 136MB まで増設できます。

HL-5070DN をお使いの方へ

本機は 32MB のメモリを内蔵し、オプションの増設メモリ用のスロットが設けられています。メモリは、市販の DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）を取り付けることで、最大で合計 144MB まで増設できます。

増設可能なメモリ（DIMM）容量

メーカー名	型番	メモリ容量
（株）メルコ	PM-HP 16M	16MB
	PM-HP 32M	32MB
	PM-HP 64M	64MB
	PM-HP 128M	128MB
（株）アドテック	AD-16M100SD	16MB
	AD-32M100SD	32MB
	AD-64M100SD	64MB
	AD-128M100SD	128MB

メモリ（DIMM）の一般仕様

項　目	仕　様
タイプ	100 ピン -32 ビット出力
CAS レイテンシー	2 または 3
クロック周波数	66MHz 以上
容量	16,32,64,128MB
高さ	35mm 以下
パリティ	なし
DRAM タイプ	SDRAM 4 バンク

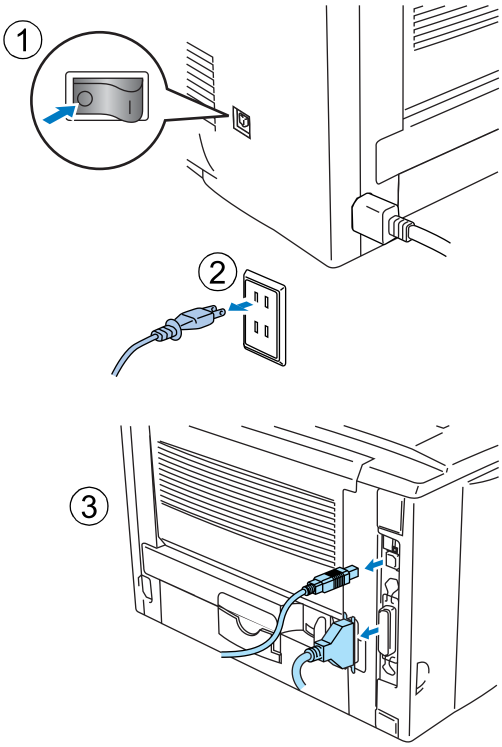
メモ

- ページプロテクト機能を使用する場合は、メモリ（DIMM）を増設してプリンタメモリを拡張する必要があります。
- FTP/IPP プロトコルを使う場合は、メモリ（DIMM）を増設してプリンタメモリを拡張する必要があります。（HL-5070DN）

メモリ（DIMM）の増設方法

1

本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。また、インターフェースケーブルを本機から取り外します。

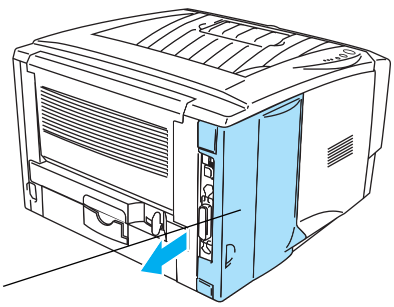


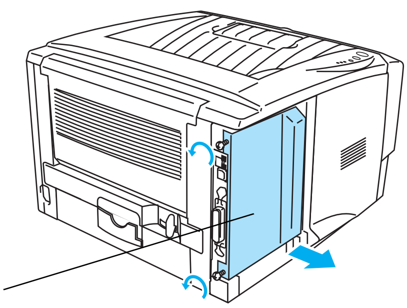
注意

メモリ（DIMM）の取り付けや取り外しをする場合は、必ず事前に本機の電源を切ってください。

2

サイドカバーを開け、10 円玉などの硬貨を使って基板カバーのネジ 2 本を緩めて、基板カバーを取り外します。





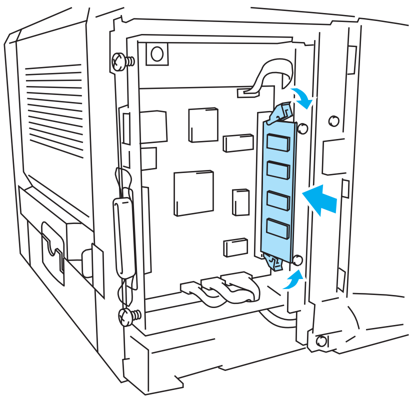
安全
第1章
プリンタ準備
第2章
印刷
第3章
添付ソフト
第4章
オプション
第5章
メンテナンス
第6章
トラブル対応
第7章
付録
索引

3 メモリ（DIMM）を開封します。

注意
- DIMM 基板は、ほんのわずかな静電気によっても損傷する可能性があります。メモリチップや基板の表面には絶対に手を触れないでください。
- メモリ（DIMM）の取り付け、取り外し時には、帯電防止用の手首に付ける革ベルトなどを使って、静電気を除去してください。帯電防止用のベルトを使用しないときは、頻繁にスチール製の机や棚などに触れて、静電気を除去してください。

4 メモリ（DIMM）の両側を端子が下になるように持って、スロットの溝に合わせます。

ストッパーが外側へ開いてあることを確認してください。



5 メモリ（DIMM）の両側にあるストッパーがカチッと音がするまで、メモリ（DIMM）をまっすぐゆっくりと押します。

ストッパーがメモリを固定しているか確認してください。
（メモリ（DIMM）を取り外すときは、ストッパーを外側へ開きます。）

6 基板カバーをもう一度取り付け、2 本のネジで固定します。

7 サイドカバーを閉じます。

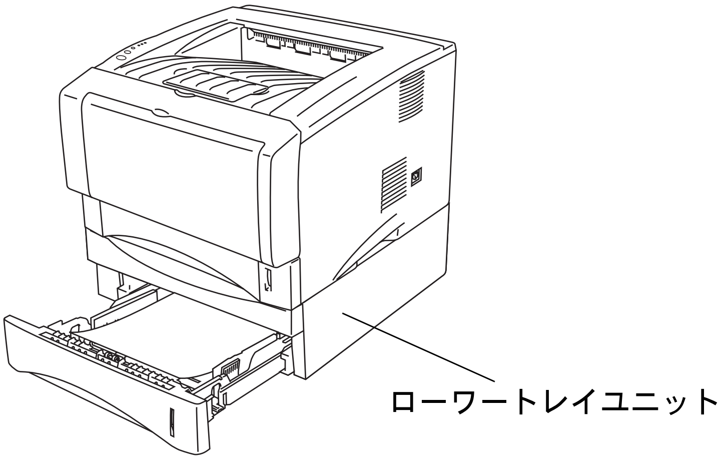
8 本機とパソコンをインターフェースケーブルで接続します。電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

メモ
本機の設定を印刷し、メモリ（DIMM）が正しく取り付けられていることを確認してください。
本機の設定の印刷方法は「プリンタ設定ページの印刷」P.1-11を参照してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ローワートレイユニット(LT-5000)を取り付ける

ローワートレイユニットは、大容量給紙を可能にするオプション品です。普通紙で最大 250 枚（80g/m^2）の給紙ができます。



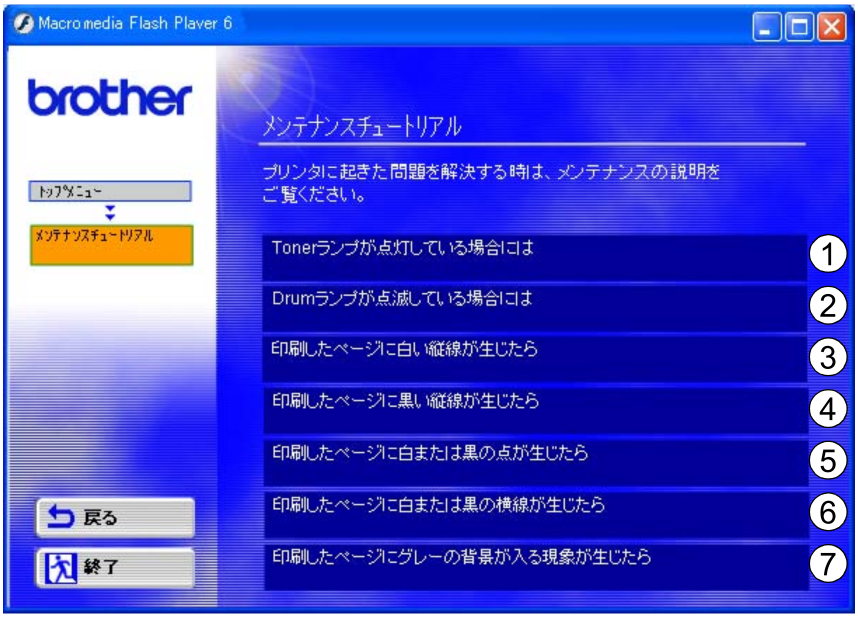
ローワートレイユニットを購入する場合は、本機を購入した販売店にお問い合わせください。
または、ダイレクトクラブでのご購入もできます。
取り付けの詳細は、ローワートレイユニットに付属の説明書を参照してください。

第 5 章

メンテナンス

メンテナンスチュートリアル

本機は定期的に消耗品を交換し、清掃する必要があります。
CD-ROM メニュー上の「メンテナンスチュートリアル」から、本機のメンテナンス方法について、アニメーションにてご覧いただけます。ぜひご利用ください。



①トナーカートリッジの交換方法をアニメでご覧いただけます。
②ドラムユニットの交換方法をアニメでご覧いただけます。
③ドラム内部のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
④ドラムユニット内にあるコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
⑤ドラムユニットの OPC ドラム表面のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
⑥ドラム内部のクリーニング方法とコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
⑦ドラムユニット内にあるコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。

上記の項目については「印刷品質を改善するには」P.6-14でも説明されています。

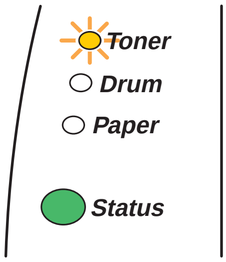
トナーカートリッジ

トナーカートリッジの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、TN-33J では 3,300 枚（標準カートリッジ）、TN-36J では 6,500 枚（大容量カートリッジ）の印刷が可能です。

- トナー消費量は、ページ上の印刷面積比と印刷濃度設定によって異なります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。

トナーカートリッジの状態を確認する

トナー少量メッセージ



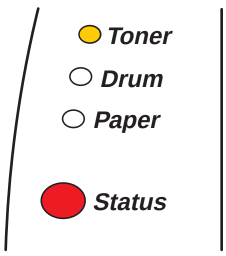
Toner ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返しています。

トナーカートリッジの残量が残り少ないことを示しています。トナーカートリッジが完全になくなる前に、新しいトナーカートリッジを購入してください。「トナーカートリッジを交換する」P.5-4を参照してください。

トナーカートリッジが空になる寸前のときは、Toner ランプは点滅したままです。

トナー切れメッセージ

次のようにランプメッセージが表示された場合は、トナーカートリッジを交換してください。



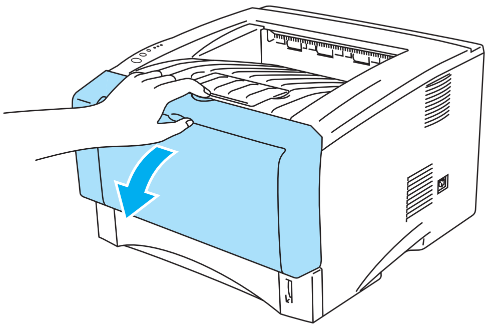
トナーカートリッジを交換する

注意

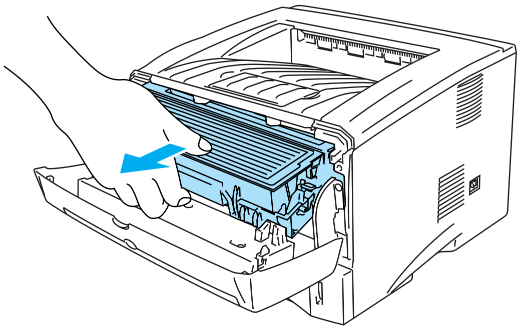
- 純正ブラザー製トナーカートリッジのみを使用してください。純正ブラザー製トナーカートリッジにトナーのみを補充しないでください。トナーが空になった場合は、トナーカートリッジごと純正ブラザー製トナーカートリッジに交換してください。純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、本機自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して発生した故障は保証の対象とはなりません。
  ご使用済みのトナーカートリッジを純正ブラザー製トナーカートリッジに交換された場合のみ、印刷品質や本機自体の品質を保証いたします。
- 純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、ドラムユニットの性能と寿命に重大な損傷をもたらす可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

- 本機または本機の印刷品質を維持するため、必ずブラザー純正のトナーカートリッジをご使用ください。トナーカートリッジを購入する場合は、本機を購入した販売店またはダイレクトクラブにお問い合わせください。
- トナーカートリッジを交換するときは、本機を清掃することをお勧めします。「クリーニング」P.5-12を参照してください。
- トナーカートリッジの交換方法は、CD-ROM メニュー上の「メンテナンスチュートリアル」からアニメーションでもご覧いただけます。

1 **フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。**

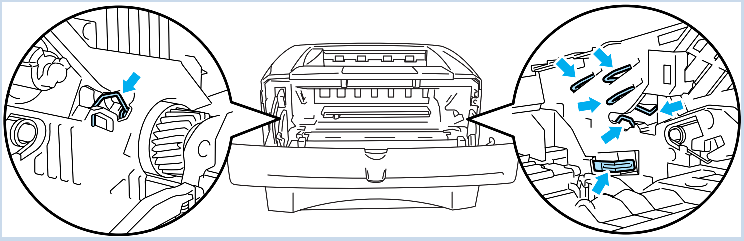


2 **ドラムユニットを取り出します。**

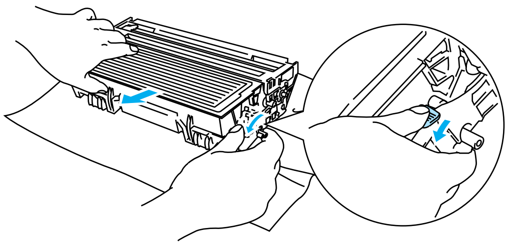


注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。



3 青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

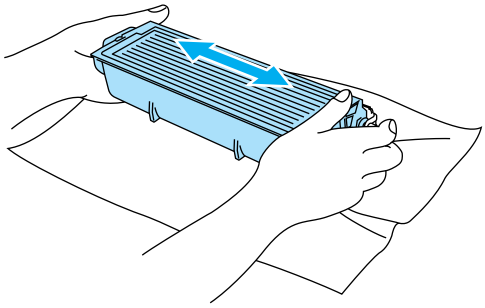


注意

トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。

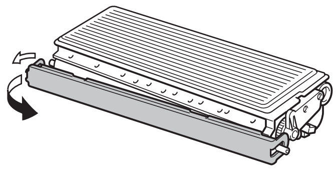
- トナーカートリッジを廃棄するときは、トナー粉が袋からこぼれないように、トナーカートリッジを袋に入れ、袋の口を堅く封印してください。
- トナーカートリッジを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則にしたがって処分してください。ご質問がある場合は、お近くの廃棄物処理センターにお問い合わせください。
- ブラザーでは、環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくはホームページ（http://www.brother.co.jp/jp/printer/recycle/index.html）を参照してください。

4 新しいトナーカートリッジを開封します。トナーが均等になるように、左右に 5 ～ 6 回ゆっくりと振ります。

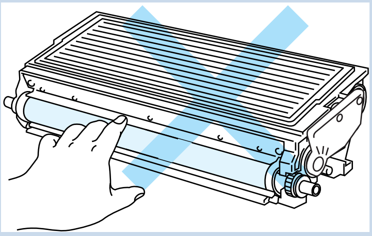


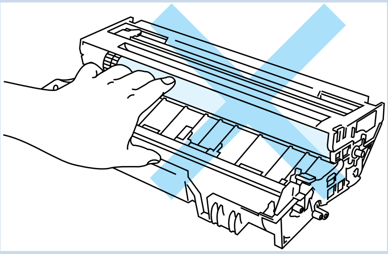
注意
- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。長時間、開封したままで放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- ドラムユニットを開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

5 保護カバーを外します。



注意
保護カバーを外したトナーカートリッジは、すぐにドラムユニットに装着してください。
また、印刷品質の劣化を防止するため、下図で影付の部分には触れないでください。

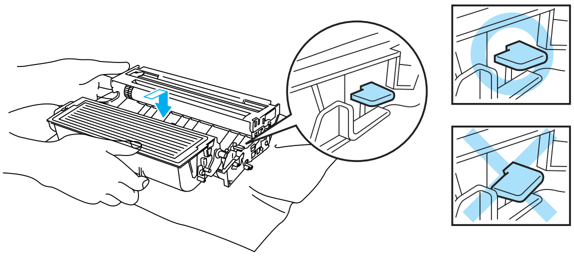




安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

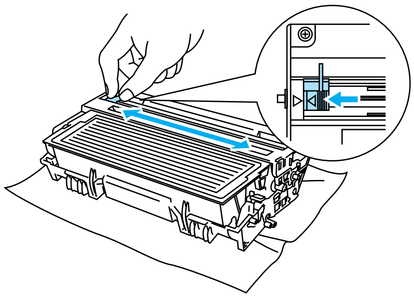
6 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。



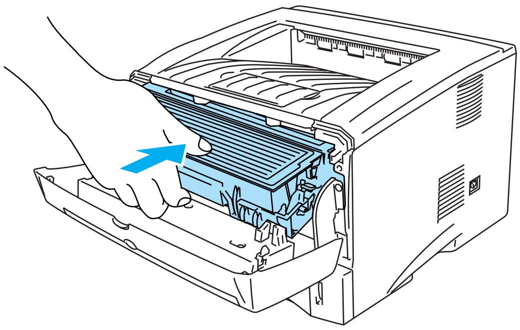
> 注意
> トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

7 ドラムユニットの青色タブを2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。青色のタブを必ず元の位置（▲）に戻してからドラムユニットを本体に戻します。



> 注意
> 青色のタブが元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

8 本機にドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉じます。



安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

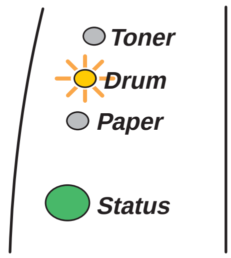
ドラムユニット

ドラムユニットの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、DR-30J では約 20,000 枚の印刷が可能です。

- ドラムユニットの寿命に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニット寿命は約 20,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正トナーだけを使用してください。本機は、清潔で塵埃が発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- 純正以外のドラムユニットを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、本機自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

ドラムユニットの状態を確認する

ドラム寿命メッセージ



ドラムユニットの寿命が少なくなっています。印刷品質が劣化する恐れがあるので、お早めにドラムユニットを交換されることをお勧めします。「ドラムユニットを交換する」P.5-9を参照してください。
Drum ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返しています。

注意

- 内部にトナーが残っている場合があるので、ドラムユニットの取り外しには細心の注意を払ってください。
- ドラムユニットを交換するときは、本機を清掃することをお勧めします。「クリーニング」P.5-12を参照してください。

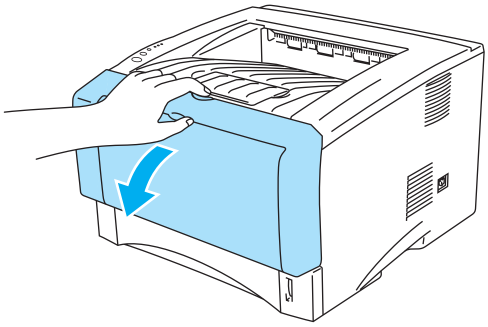
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ドラムユニットを交換する

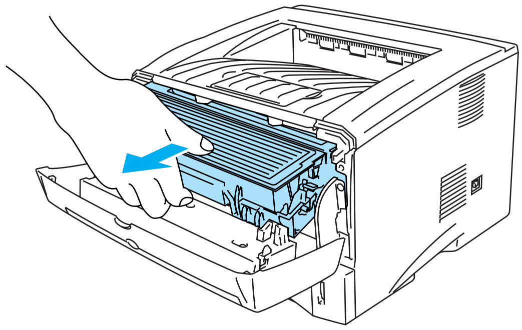
ドラムユニットを交換するときは、本機を清掃することをお勧めします。「クリーニング」P.5-12を参照してください。

ドラムユニットの交換方法は、CD-ROM メニュー上の「メンテナンスチュートリアル」からアニメーションでもご覧いただけます。

1 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

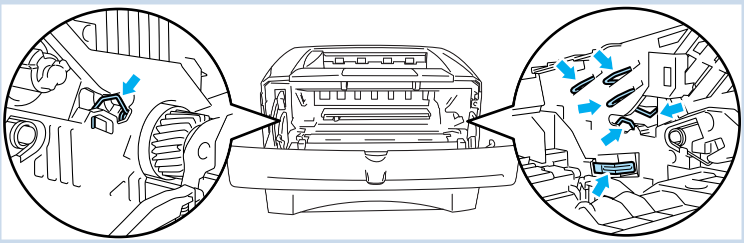


2 ドラムユニットを取り出します。

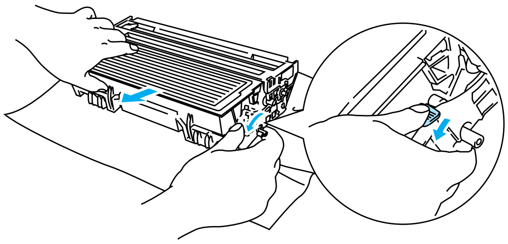


注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。



3 青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。



注意 トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。

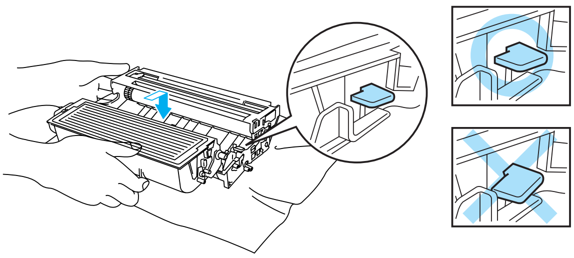
- ドラムユニットを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則にしたがって処分してください。ご質問がある場合は、お近くの廃棄物処理センターにお問い合わせください。
- ブラザーでは、環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくはホームページ（http://www.brother.co.jp/jp/printer/recycle/index.html）を参照してください。

4 ドラムユニットを開封します。

注意 ドラムユニットを本機に取り付ける直前まで開封しないでください。開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

5 トナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

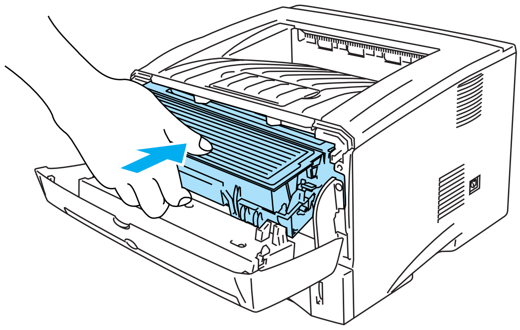


注意 トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

6 本機にドラムユニットを取り付けます。

フロントカバーが開き、本機の電源が入った状態で Status ランプが点灯していることを確認します。



7 新しいドラムユニットに同梱されている説明書を参照しながら、ドラムカウンタをリセットします。

注意
- Drum ランプは、ドラムカウンタをリセットするまで消灯しません。
- トナーカートリッジのみ交換した場合は、ドラムカウンタをリセットしないでください。

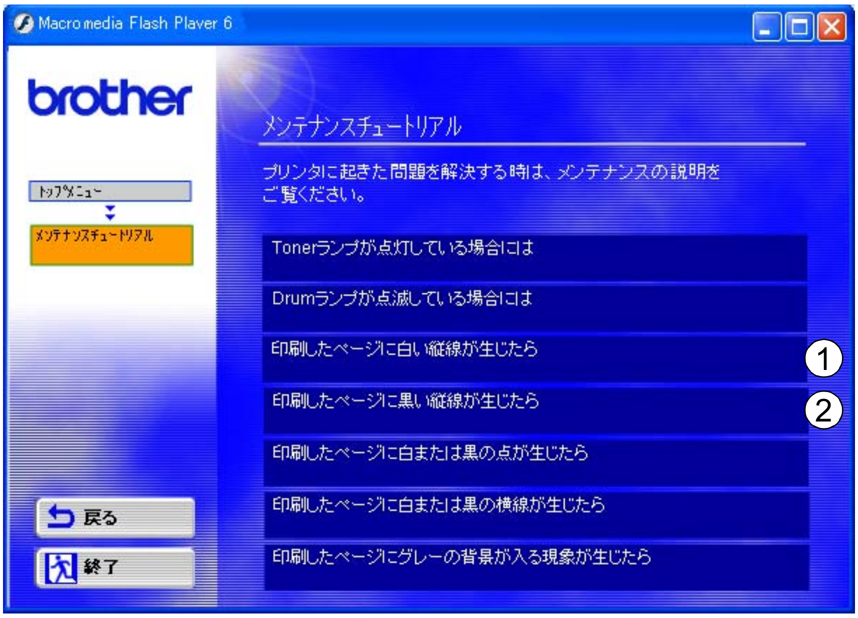
8 フロントカバーを閉じます。

9 Drum ランプが消灯していることを確認します。

クリーニング

乾いた柔らかい布で本機の外部と内部を定期的に清掃してください。トナーカートリッジやドラムユニットを交換したり、印刷した用紙がトナーで汚れている場合には、本機内部とドラムユニットを清掃します。

本機のクリーニング方法は、CD-ROM メニュー上の「メンテナンスチュートリアル」からアニメーションでご覧いただけます。



①ドラム内部のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
②ドラムユニット内にあるコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。

定期保守部品

印刷品質を保持するためには、保守部品を定期的に交換する必要があります。下表に示す枚数を印刷した後、下表の部品を交換することが必要です。

項目	概算寿命	保守部品交換の詳細
定着器	80,000 枚※	コールセンターへお問い合わせください。
分離パッドホルダー	50,000 枚※	
ピックアップローラー	50,000 枚※	

※ 本機の印刷枚数は、プリンタ設定ページで確認できます。
「プリンタ設定ページの印刷」P.1-11を参照してください。
実際の印刷枚数は印刷ジョブの種類や使用する用紙によって異なります。上表の数字は一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 サイズの用紙に片面印刷した場合で算出されています。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

第6章

トラブルシューティング

トラブルの原因を確認する

使用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

それでも問題が解決しないときは、

ブラザーコールセンター 052-824-3378 へご連絡ください。

はじめに下記の項目をご確認ください：

- 電源コードが正しく差し込まれているか、本機に電源が入っているか。
- すべての保護部品が取り除かれているか。
- トナーカートリッジとドラムユニットが正しく装着されているか。
- フロントカバーがしっかり閉まっているか。
- 用紙が用紙カセットに正しく挿入されているか。
- 本機とパソコンがインターフェースケーブルで正しく接続されているか。
- パソコンが正しいプリンタポートに接続されているか。
- 正しいプリンタドライバがインストールされ、選択されているか。

本機が印刷をしない：

上記のチェック項目で問題が解決されない場合は下記の項目の中から関連する事項を見つけて指示にしたがってください。

ランプが点滅している

「コントロールパネルの見かた」を参照してください。........ P.1-5

ステータスモニタにエラーメッセージが表示される

「ステータスモニタのエラーメッセージ」を参照してください。........ P.6-3

エラーメッセージが印刷される

「印刷によるエラーメッセージ」を参照してください。........ P.6-5

用紙のトラブル

「使っている用紙を確認する」を参照してください。........ P.6-6

紙づまり

「使っている用紙を確認する」を参照してください。........ P.6-6
「紙づまりが起きたときは」を参照してください。........ P.6-8

その他のトラブル

「その他のトラブル」を参照してください。........ P.6-13

ページを印刷するが、問題がある：

印字品質を改善したい

「印字品質を改善するには」を参照してください。........ P.6-14

正しく印刷できない

「正しく印刷できないときは」を参照してください。........ P.6-19

その他分からないこと、知りたいことがある：

本機の詳しい仕様が知りたい

「プリンタ仕様」を参照してください。........ P.7-2

用語が分からない

「用語集」を参照してください。........ P.7-6

消耗品を注文したい

「ご注文シート」を印刷してご利用ください。........ 「ご注文シート」

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ステータスモニタのエラーメッセージ

メモ　このセクションは Windows® ユーザー専用です。

ステータスモニタを表示させる

ブラザーの Windows® 用プリンタドライバ を使用している場合は、ステータスモニタで本機で発生したエラー情報などを通知できます。

1 「Brother HL-5070DN（5040） series のプロパティ」ダイアログボックスの［拡張機能］タブで（その他特殊設定）をクリックします。

2 リストから［ステータスモニタ］をクリックし、［オン］を選択します。

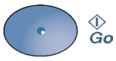
メモ　ステータスモニタは初期設定ではオフになっています。［オン］を選択していないとステータスモニタを表示することはできません。

3 適用(A) または OK をクリックして、選択した設定を確定します。

ステータスモニタのエラーメッセージ一覧

ステータスモニタは本機の問題点を下記の表で示されたように表示されます。表示されたエラーメッセージに対して適切な処置を行ってください。

エラーメッセージ	解決方法
フロントカバーオープン	• フロントカバーを閉じてください。
ジャムクリアカバーオープン	• ジャムクリアカバーを閉じてください。ジャムクリアカバーについてはP.6-11を参照してください。
メモリフル	• Go を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。

エラーメッセージ	解決方法
用紙切れ	• 手差しトレイまたは多目的トレイに用紙が入っていないか、十分な用紙が入っていない場合があります。トレイに新しい用紙を挿入してください。
用紙切れ (紙づまり)	• 用紙カセットまたはローワートレイユニットに用紙が入っていないか、本体内に用紙がつまっている可能性があります。本体内に用紙がつまっていないか確認し、用紙がつまっていたら取り除いてください。用紙切れの場合は、カセットに新しい用紙を補給してください。
給紙ミス	• 用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙が反っている場合は、印字する前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出して、もう一度そろえて用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。
紙づまり	• つまった用紙を取り除きます。「紙づまりが起きたときは」P.6-8 を参照してください。
プリントオーバーラン	•  を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、 を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-25 を参照してください。
解像度調整 （本機は解像度が低下した状態で印刷しています）	• 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3 を参照してください。 • 本機が自動的に解像度を下げないように、作成したデータの複雑さを減らしてください。
トナー切れ	• 「トナーカートリッジを交換する」P.5-4 を参照してください。
トナー少量	• 新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。
サービスコール	• 「サービスコール」P.1-8 を参照してください

印刷によるエラーメッセージ

本機に問題が起こった場合、下記の表に示されたようなエラーメッセージを印刷して知らせます。
本機が知らせるエラーメッセージに対して適切な処置を行ってください。

印刷によるエラーメッセージ一覧

メッセージは英文表記です。

エラーメッセージ	解決方法
メモリフル（MEMORY FULL）	• Go を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。
プリントオーバーラン（PRINT OVERRUN）	• Go を押して本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 • プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-25を参照してください。
自動解像度調整（RESOLUTION REDUCED TO ENABLE PRINTING）（本機は解像度が低下した状態で印刷しています。）	• 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3を参照してください。 • 本機が自動的に解像度を下げないように、作成したデータの複雑さを減らしてください。

使っている用紙を確認する

最初に、ご使用の用紙が用紙規格に合致しているか確認してください。用紙規格については、「使用できる用紙と領域」P.1-13を参照してください。
用紙が原因で起こった下記のトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

用紙が原因のトラブル一覧

トラブル内容	解決方法
給紙しない	• 本体内に用紙がつまっている可能性があります。用紙がつまっている場合は取り除いてください。 • 用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙が反っているときは、印刷をする前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、もう一度そろえて用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • 手差し給紙モードがプリンタドライバで選択されていないか確認してください。
手差しトレイ（HL-5040）から紙を給紙しない	• 確実に 1 枚ずつ用紙を挿入してください。 • プリンタドライバで手差しモードが選択されているか確認してください。
多目的トレイ（HL-5070DN）から用紙を給紙しない	• トレイに用紙が正しく挿入されているか確認してください。 • トレイに挿入されている用紙が多すぎる場合は、用紙枚数を減らしてから再度挿入してください。
封筒を給紙しない	• 使用しているアプリケーションが印字する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
紙づまりが起きる	• つまった用紙を取り除きます。「紙づまりが起きたときは」P.6-8 をご参照いただくか、「インタラクティブヘルプ」P.6-7 を参照してください。
上面排紙トレイに排紙をしない	• 背面排紙カバーを閉じてください。
ローワートレイが正しく給紙しない。（オプションのローワートレイユニット使用時のみ）	• ローワートレイオプションが本機に正しく接続されているか確認してください。 • プリンタドライバで適切なトレイ設定が選択されているか確認してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

インタラクティブヘルプ

インタラクティブヘルプは、トラブル時の解決方法をアニメーションでご覧いただけるソフトウェアです。プリンタドライバをインストールすると、インタラクティブ ヘルプが自動でインストールされます。

インタラクティブヘルプの使用方法

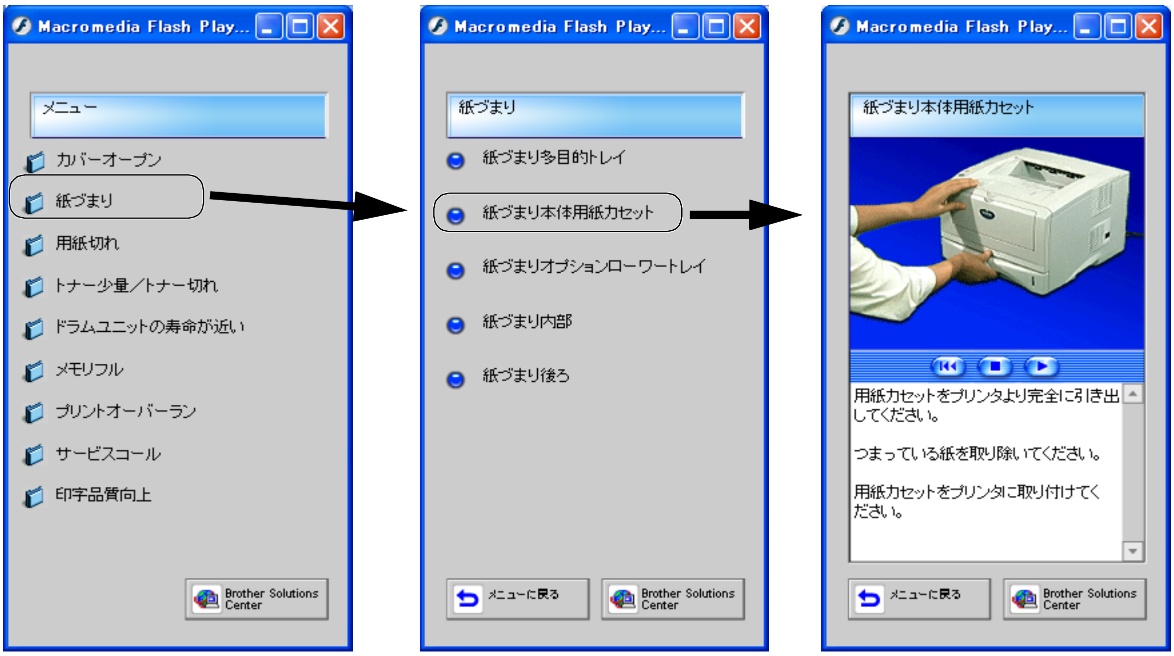
1 デスクトップ上に作成された（HL-5070DN（HL-5040）インタラクティブヘルプ）アイコンをダブルクリックします。

インタラクティブヘルプが起動します。

メモ
［スタート］メニューから起動することもできます。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］ － ［Brother HL-5070DN（HL-5040)］ － ［HL-5070DN（HL-5040）インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。
- Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT®4.0 の場合
  ［スタート］メニューから［プログラム］ － ［Brother HL-5070DN（HL-5040)］ － ［HL-5070DN（HL-5040）インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。

2 ご覧になりたい項目をクリックします。

解決方法がアニメーションでご覧いただけます。。



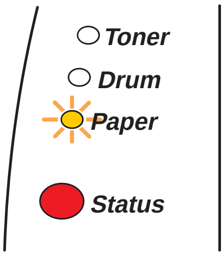
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

紙づまりが起きたときは

紙づまりの解決方法は、インタラクティブヘルプにてご覧いただけます。
「インタラクティブヘルプ」P.6-7を参照してください。

紙づまりメッセージ

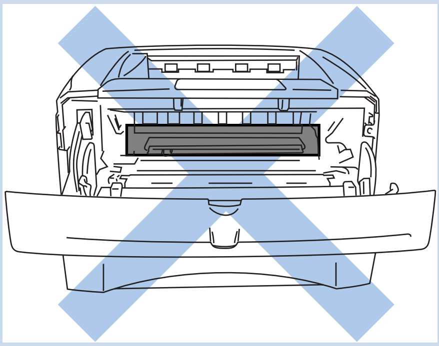
紙づまりが起きた場合、本機のコントロールパネル上のランプが下記のように点滅表示します。

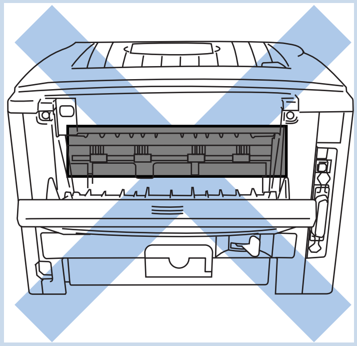


紙づまりの解決方法

注意

本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。



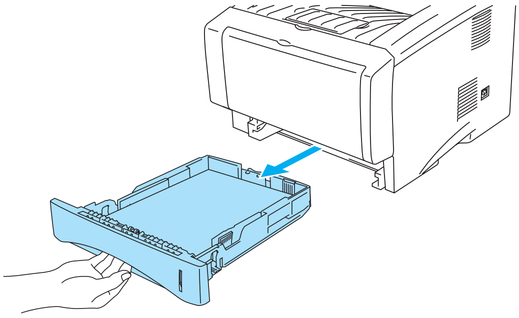


次の手順にしたがって、つまった用紙を完全に取り除き、用紙カセットを挿入してフロントカバーを閉じると、本機は自動的に印刷を再開します。本機が自動的に印刷を再開しない場合は、Go を押してください。それでも本機が印刷を再開しない場合は、つまった用紙がすべて取り除かれているか確認し、もう一度印刷してください。

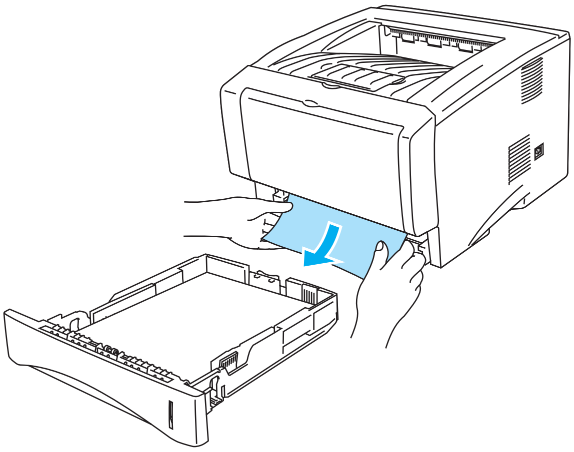
- ローワートレイユニットを使用しているときに紙づまりが発生した場合には、本体の用紙カセットが正しく取り付けられているか確認してください。
- 新しく用紙を足す際には、すべての用紙を用紙カセットから取り除き、まっすぐに伸ばしてください。これは本機が一度に複数枚の用紙を給紙することを防ぎ、紙づまりを防ぎます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

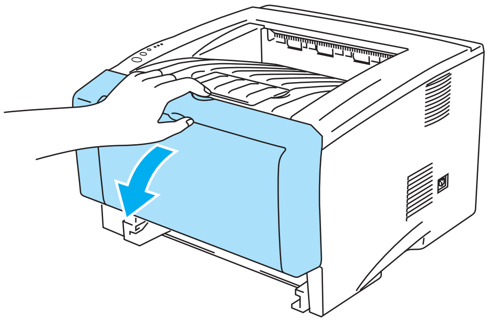
1 本機から用紙カセットを完全に引き出します。



2 つまった用紙を取り出します。

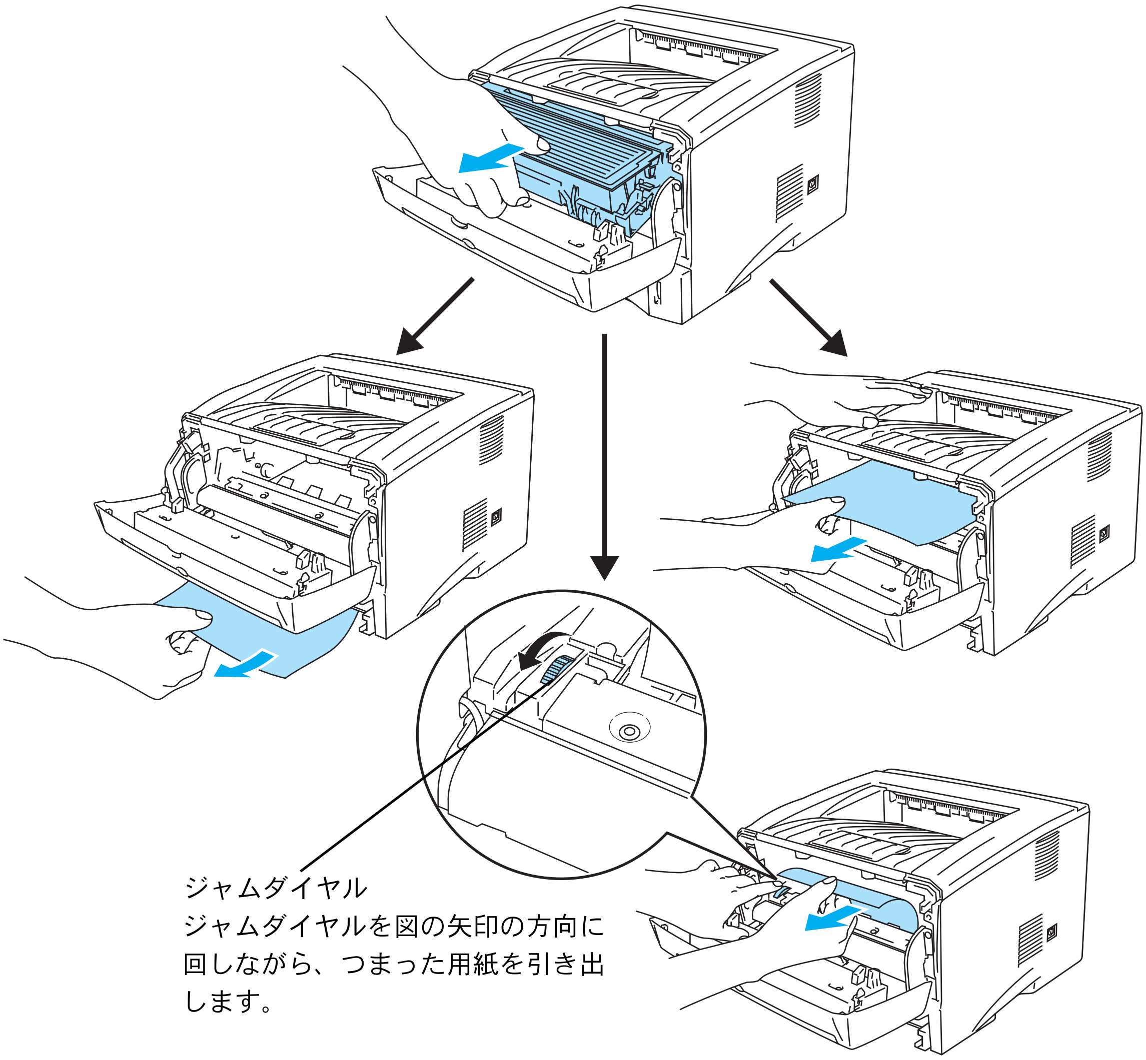


3 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。



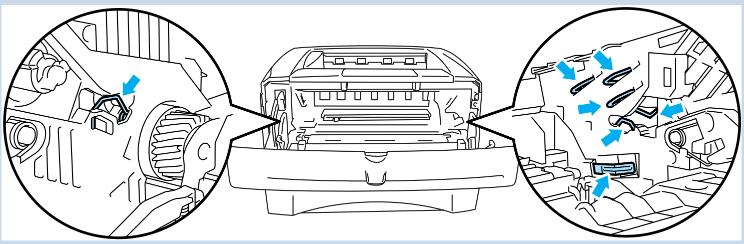
4 ドラムユニットを取り出し、つまった用紙を取り出します。

プリンタ内部から簡単に取り出せない場合は、無理に引っぱらず、つまった用紙の端を用紙カセット側から引き出してください。



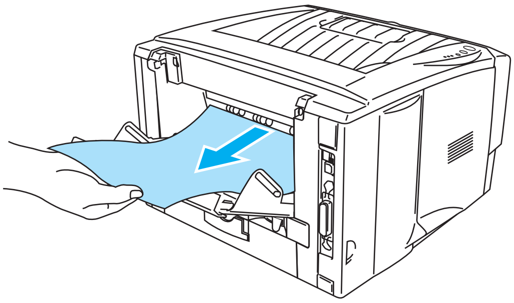
注意

静電気によって本機が損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。



5 背面排紙トレイを開けて、つまった用紙を定着器から引き出します。

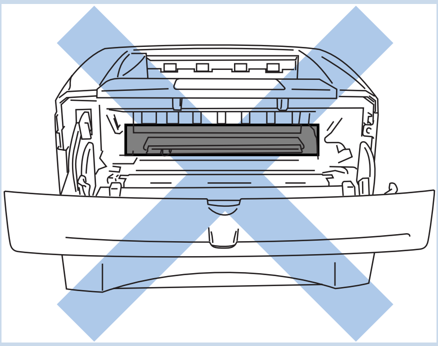
紙づまりが解消されたときは手順 7 に進んでください。

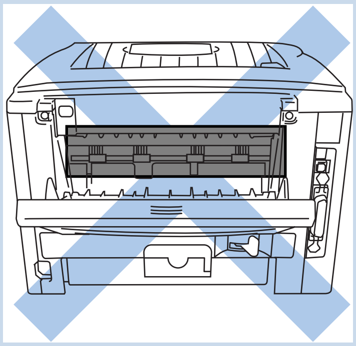


用紙を本機の後方から引き出すときには、トナーが定着器に付着し、次ページ以降が汚れることがあります。「テストページの印刷」P.1-10を参照して、トナーによる汚れがなくなるまで数枚テストページを印刷してください。

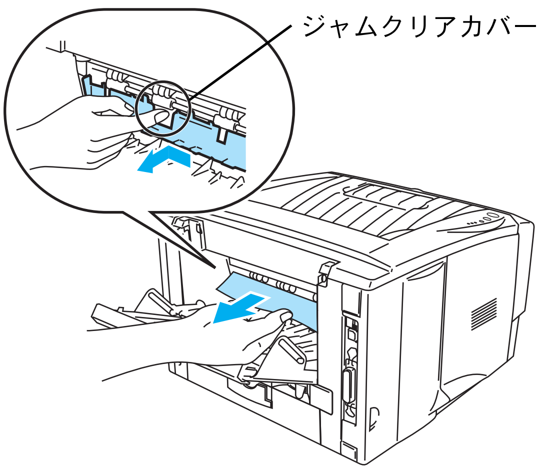
警告

本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。





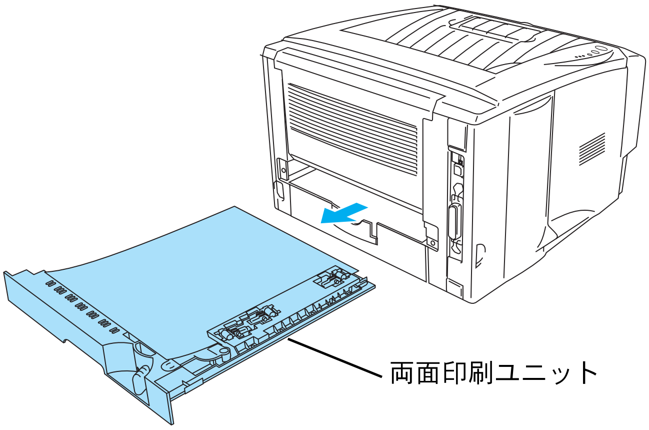
6 ジャムクリアカバーを開けて、つまった用紙を引き出します。



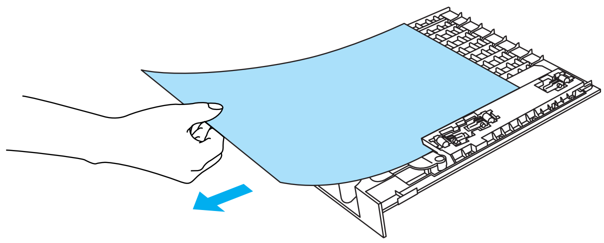
7 ジャムクリアカバーを閉じ、背面排紙トレイを閉じます。

HL-5040 の場合は手順 11 に進んでください。

8 HL-5070DN で両面印刷をしていた場合は、本機から両面印刷ユニットを引き出します。



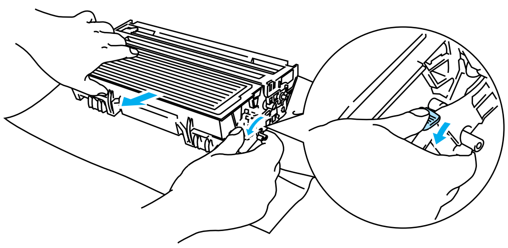
9 つまった用紙を両面ユニットから引き出します。



10 両面印刷ユニットを本機に戻します。

11 手順 4 で取り出したドラムユニットの青色のロックレバーを下に押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

ドラムユニットの内部につまった用紙があるときは取り除いてください。



12 ドラムユニットを本機に装着します。

13 用紙カセットを本機に戻します。

14 フロントカバーを閉じます。

その他のトラブル

問題	解決方法
本機で印字ができない。"There was an error writing to LPT1: (or BRUSB) for the printer." のエラーメッセージがパソコンの画面上に表示される	• プリンタケーブルが破損していないか確認してください。 • ケーブルがプリンタに正しく接続されているか確認してください • パソコンとプリンタの間に切替器等を接続の場合は、切替器を外し、パソコンとプリンタを直接接続してください。 • 2 メートル以下のケーブルをご使用ください。
エラーが発生し正しく印刷できない。 印刷を止めたい。	• パソコンから印刷データを削除します。 ① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。 Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。 ②「Brother HL-5070DN（5040）series」のアイコンをダブルクリックします。 ③ 削除したい印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューから［キャンセル］をクリックします。 • コントロールパネルの を押します。

USB Macintosh® 用トラブル一覧

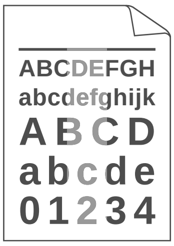
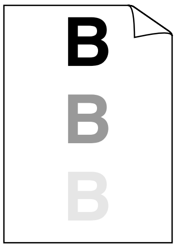
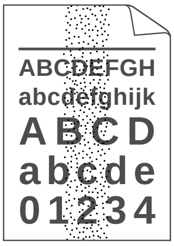
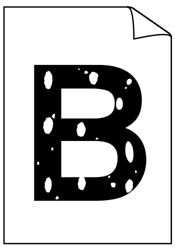
問題	解決方法
HL-5070DN（または HL-5040）がセレクタに現れない	• 本機に電源が入っているか確認してください。 • USB インターフェースが正しく接続されているか確認してください。 • プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。
使用しているアプリケーションソフトから印刷できない	①Mac OS ® 8.6 - 9.2 の場合は、供給されている Macintosh ® のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、[セレクタ] で選択されているかを確認してください。 ②Mac OS ® X の場合は、[Print Center] でプリンタ名を削除し、もう一度追加してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

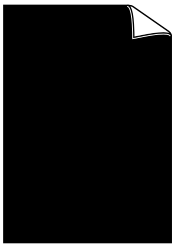
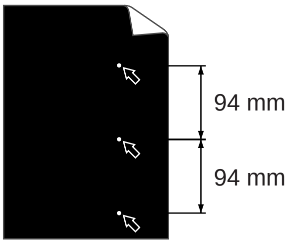
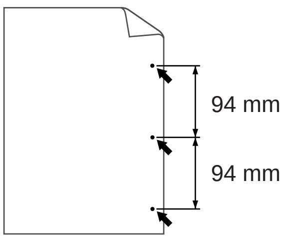
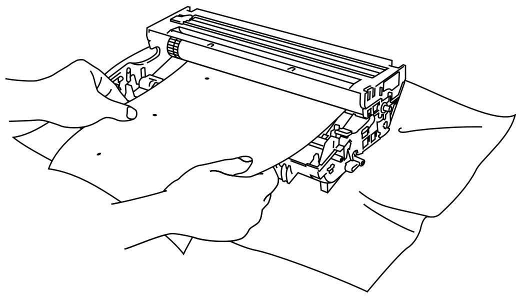
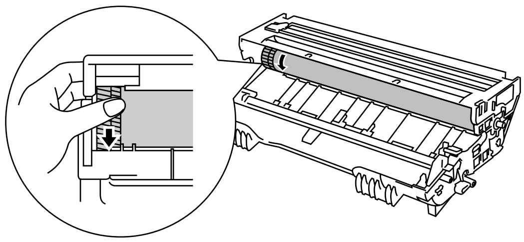
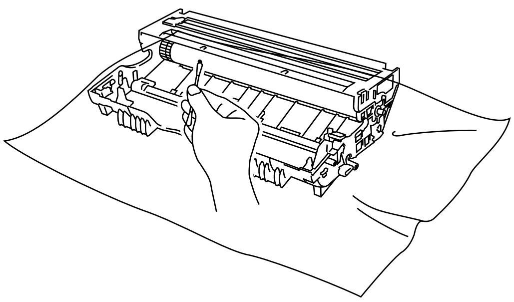
印字品質を改善するには

下記の表に示された印字品質の問題に対して、適切な処置を行ってください。

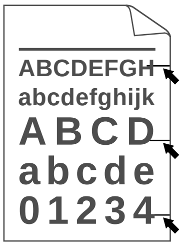
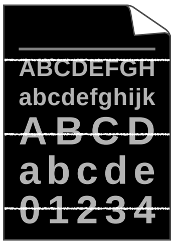
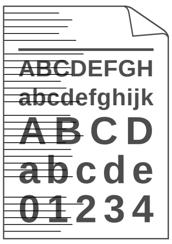
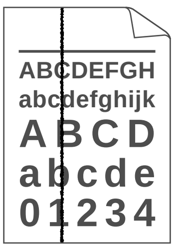
印字品質の改善方法一覧

問題例	解決方法
かすれ 	• 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。 • すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタドライバの［拡張機能］タブで「トナー節約モード」P.2-10 を［オフ］にしてください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.5-4 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
グレーの背景 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.5-4 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
残像 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い紙や、湿気を吸収した紙、厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。「用紙媒体」P.2-7 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
トナー汚れ 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
白い中抜け 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタドライバで厚紙（ハガキ）もしくは超厚紙モードを選択するか、現在ご使用のものより薄い用紙をお使いください。 • 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。

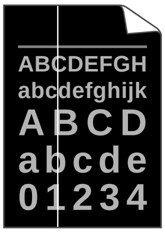
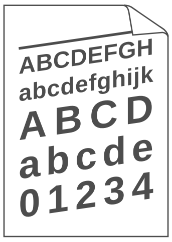
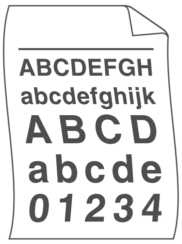
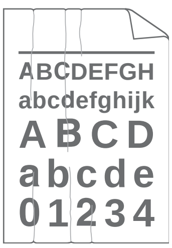
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

問題例	解決方法
真っ黒なページ 	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。青色のタブを 2、3 回往復させてください。青色のタブが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新品のドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
白い点  黒い文章や画像が印刷されたページに 94 ミリ周期で白い点がある 黒い点  印刷されたページに 94 ミリ周期で黒い点がある	数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、汚れや紙粉が感光ドラムに付着していることがあります。 下記の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ① 印字サンプルをドラムユニットの前に置き、点が出る位置を確認します。  ② ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面にのりがついている場所を手前にもってきます。  ③ ドラム上の汚れの場所と、プリントサンプルの点の位置が一致していることが確認できたら、感光ドラムの表面を汚れや紙粉がなくなるまで綿棒で拭き取ります。 
	• 感光ドラムの表面を清掃する際は、ボールペンのような先の尖ったものは使用しないでください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。

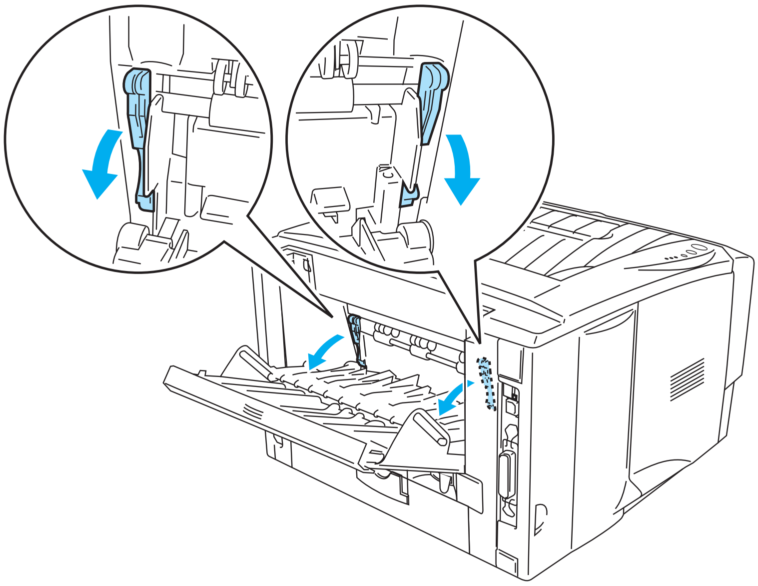
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

問題例	解決方法
黒い汚れが平行に繰り返し発生する  トナーの飛び散りや汚れが印刷されたページ上に出る	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。 • ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着する事があります。ドラムユニットを清掃してください。「クリーニング」P.5-12 を参照してください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた用紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれる事があります。
白い平行な線 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。「用紙媒体」P.2-7 を参照してください。 • この問題は本機が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページ印字してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
平行な線 	• 本機内部とドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「クリーニング」P.5-12 を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。
黒い垂直な線  印刷されたページにトナーの汚れや垂直な線がある	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「クリーニング」P.5-12 を参照してください。 • コロナワイヤーの青色のタブが元の位置（▲）にあるか確認してください。 • ドラムが破損していることがあります。ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.5-9 を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.5-4 を参照してください。 • 定着器が汚れていることがあります。ブラザーコールセンターにご相談ください。「アフターサービスのご案内」を参照してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

問題例	解決方法
白い垂直な線 	• トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.5-4 を参照してください。
ページのゆがみ 	• 紙やその他のメディアが用紙カセットに正しく挿入されているか確認してください。また、ペーパーガイドが紙の大きさに合っているか確認してください。 • 用紙ガイドを正確にセットしてください。ペーパーガイドのツメが溝にしっかりはまっているか確認してください。「用紙カセットから印刷する」P.2-41 を参照してください。 • 手差しトレイ（または多目的トレイ）をご使用の場合は「手差しトレイから印刷する（HL-5040）」P.2-44、「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46 を参照してください。 • 用紙カセット内の紙の枚数が多すぎる場合があります。「用紙カセットから印刷する（HL-5040）」P.2-44、「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46 を参照してください。 • 紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。
反りまたはうねり 	• 紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙の反りが起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • 本機を長時間使用しない場合には、用紙が用紙カセットの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。もしくは新しい用紙をご使用ください。 • 手差し給紙で印字してみてください。「手差しトレイから印刷する（HL5040）」P.2-44、「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46 を参照してください。
しわまたは折り目 	• 用紙が正しく給紙されているか確認してください。「用紙カセットから印刷する」P.2-41 を参照してください。 • 紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • 手差し給紙で印字してみてください。「手差しトレイから印刷する（HL-5040）」P.2-44、「多目的トレイから印刷する（HL-5070DN）」P.2-46 を参照してください。 • トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

問題例	解決方法
しわのある封筒	• 図のように、本機背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。  印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。つまみがリセットされ元の位置に戻ります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

正しく印刷できないときは

下記の表に示されたような正しく印刷できないトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

正しく印刷できないトラブル一覧

トラブル内容	解決方法
印字はするが、パソコン画面上で表示されているものとは違っている	• プリンタケーブルが長すぎないか確認してください。長さが 2 メートル以内のものをお勧めします。 • プリンタケーブルが破損または故障していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、取り外して直接本機と接続して試してみてください。 • 正しいプリンタドライバが「通常使うプリンタに設定」として設定されているか確認してください。 • その他の装置すべてを取り除き、本機のみをポートにつないでください。 • ステータスモニタを OFF にしてください。「ステータスモニタ」P.2-21 を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。" プリントオーバーラン " のエラーメッセージが表示される	• Go を押して、本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 • プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-25 を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。" メモリフル " のエラーメッセージが表示される	• Go を押して、本機内に残っているデータを印刷してください。本機内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.4-3 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。
パソコン画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない	• ほとんどのレーザープリンタには、印字可能範囲が決められています。通常、印字可能な 62 行以外では最初の 2 行と最後の 2 行は印字されません。印字可能範囲内で、ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

第 7 章

付録

プリンタ仕様

エンジン

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
プリント方式		電子写真方式	
印字スピード		最速 18 ppm （A4 サイズで印刷時）※1	
ウォームアップタイム		20 秒以下※1	
ファーストプリントタイム（レディ時）※2		12 秒以下※1	
解像度	Windows® / Macintosh®	HQ1200※3 / 600 dpi / 300 dpi	
	高解像度（HRC）	600 / 300 dpi	

※1　本体用紙カセットからの場合です。用紙サイズまたは高解像度（HRC）を選択したときなど、データ量により遅くなることがあります。

※2　プリンタ始動から 1 ページの排紙完了までの時間

※3　2400 × 600dpi

コントローラ

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
CPU		富士通 SPARClite 133MHz	
対応 OS		Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows® NT 4.0、Mac OS® 対応	
メモリ	標準	8MB	32MB
	オプション	128MB DIMM まで増設可能※4	
インターフェース	標準	IEEE1284 準拠（双方向）、USB 2.0※5	IEEE1284 準拠（双方向）、USB 2.0※5、10BASE-T/100BASE-TX※6
対応プロトコル※5	標準※6	———	TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk、DLC/LCC
管理ツール		———	BRAdmin Professional ※7 ウェブブラウザ管理機能※8
添付フォント（付属 CD-ROM に添付）		True Type™ フォント 9 書体	

※4　HQ1200（2400 x 600 dpi）にて印字を行うには、メモリの増設をお勧めします。また、他の条件においてもメモリの増設が必要となる場合があります。
プリンタに DIMM を増設することにより、最大 136MB（HL-5040）、144MB（HL-5070DN）まで増設できます。

※5　お使いのパソコンが USB 2.0 に対応していれば、最大 480Mbps での転送が可能になります。

※6　HL-5070DN のみ

※7　ブラザーオリジナルの Windows 用ネットワークプリンタ管理ユーティリティ

※8　デバイスの管理には標準的なウェブブラウザを使用

ソフトウェア

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
プリンタドライバ	Windows®	Windows® スタンダードプリンタドライバ（Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®4.0）	
		———	Windows® BR-Script3 プリンタドライバ（Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®4.0）
	Macintosh®	Windows® スタンダードプリンタドライバ（Mac OS® 8.6 ～ 9.2/Mac OS® X 10.1 ～ 10.2）	
		———	Macintosh® BR-Script3 プリンタドライバ（Mac OS® 8.6 ～ 9.2/Mac OS® X 10.1 ～ 10.2）
ユーティリティドライバ		インタラクティブヘルプ[※9, ※10] ステータスモニタ[※10] オートマチックドライバインストーラ[※10, ※11]	

※ 9　問題の解決にアニメーションヘルプを採用
※ 10 Windows® 専用（初期設定はオフ）
※ 11 ウィザード形式でドライバ・ユーティリティのインストールを補助

コントロールパネル

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
コントロールパネル	ランプ	4 つ	
	ボタン	2 つ	

用紙仕様

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
給紙枚数	用紙カセット	250 枚	
	手差しトレイ	1 枚	———
	多目的トレイ	———	50 枚
	ローワートレイユニット（LT-5000）（オプション）	250 枚	
最大給紙枚数		500 枚	550 枚
排紙[※12]	下向き	普通紙：150 枚	
	上向き	1 枚	25 枚
両面印刷		手動	自動

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
用紙の種類	用紙カセット	普通紙、再生紙、官製ハガキ※13、OHP 用紙※14	
	手差しトレイ	普通紙、再生紙、ボンド紙、 厚紙、官製ハガキ、 OHP 用紙、ラベル紙、封筒	―――
	多目的トレイ	―――	普通紙、再生紙、ボンド紙、 厚紙、官製ハガキ、 OHP 用紙、ラベル紙、封筒
	ローワートレイユニット（LT-5000）（オプション）	普通紙、再生紙	
用紙坪量	用紙カセット	60 ～ 105 g/m^2	
	手差しトレイ	60 ～ 161 g/m^2	―――
	多目的トレイ	―――	60 ～ 161 g/m^2
	ローワートレイユニット（LT-5000）（オプション）	60 ～ 105 g/m^2	
対応用紙	用紙カセット	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、官製ハガキ	
	手差しトレイ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、 A5、封筒（洋形 4 号、定型最大 120 x 235 mm）、官製ハガキ 幅　：69.9 ～ 215.9mm 長さ：116 ～ 355.6mm	―――
	多目的トレイ	―――	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、 A5、封筒（洋形 4 号、定型最大 120 x 235 mm）、官製ハガキ 幅　：69.9 ～ 215.9mm 長さ：116 ～ 355.6mm
	ローワートレイユニット（LT-5000）（オプション）	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5	

※ 12　80 g/m^2 用紙で計算
※ 13　給紙枚数は 30 枚まで可能
※ 14　給紙枚数は 10 枚まで可能

消耗品

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
トナーカートリッジ	TN-33J	約 3,300 枚（A4 を印刷密度 5 ％で印刷した場合）※15	
	TN-36J	約 6,500 枚（A4 を印刷密度 5 ％で印刷した場合）※15	
ドラムユニット	DR-30J	約 20,000 枚（A4）※15	

※ 15　印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

外形寸法 / 重量

モデル名	HL-5040	HL-5070DN
外形寸法	382 × 383 × 252 mm	382 × 401 × 252 mm
重量	約 10.5kg （トナー / ドラムを含む）	約 11.9kg （トナー / ドラムを含む）

その他

モデル名		HL-5040	HL-5070DN
消費電力※ 16	印刷時	460 W 以下（25 ℃）	
	ピーク時	840W 以下（25 ℃）	
	スタンバイ時	75 W 以下	
	スリープ	5 W 以下	6W 以下
稼動音	印刷時	平均 50 dB 以下	
	スタンバイ時	30 dB 以下	
省エネ機能	パワーセーブ	有	
	トナーセーブ	有	

※ 16 電源スイッチが OFF でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

用語集

あ

● **アイコン**

パソコンの画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**

ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターフェース**

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**

Windows® 95/98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

た

● **タスクトレイ**

パソコンの画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**

ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

は

● **パラレルケーブル**

複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。パソコンと本機を接続します。

● **プリンタケーブル**

本機とパソコンを接続するケーブルです。

● **プリンタドライバ**

アプリケーションソフトのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

ら

● **レーザープリンタ**

レーザーを使って文字や画像を印刷用のドラムに照射し、トナーを用紙に定着させるタイプのプリンタです。高解像度、高品質、高速、静音といった特長を持っています。

数字

● **2 IN1**

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。

● **4 IN1**

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。

A to Z

● **DPI**

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● **OS**

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● **PC/AT 互換機**

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● **USB ケーブル**

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略で、ハブを経由して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● **Windows® 95/98//Me/2000/XP**

Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）、XP は 01 年に発売されました。

● **Windows NT®**

Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

索　引

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

よ

ら

り

れ